

105
合40
30

竹編式藏風土記稿

多磨郡

三十三
三十四

新篇武藏風土記稿

多磨郡 卷十五之
卷十六

三十三

405
30

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 館書圖京東 | | | | |
| 八 | 二 | 一 | 八 | 門 |
| 冊 | 號 | 架 | 函 | 類 |

明治十八年十

月廿八日

新編武藏風土記稿卷之一百二目錄

多磨郡之十五

由井領

小比企村

宇津貫村

上相原村

下相原村

大船村

上長房村附駒木野宿小佛宿

片倉村

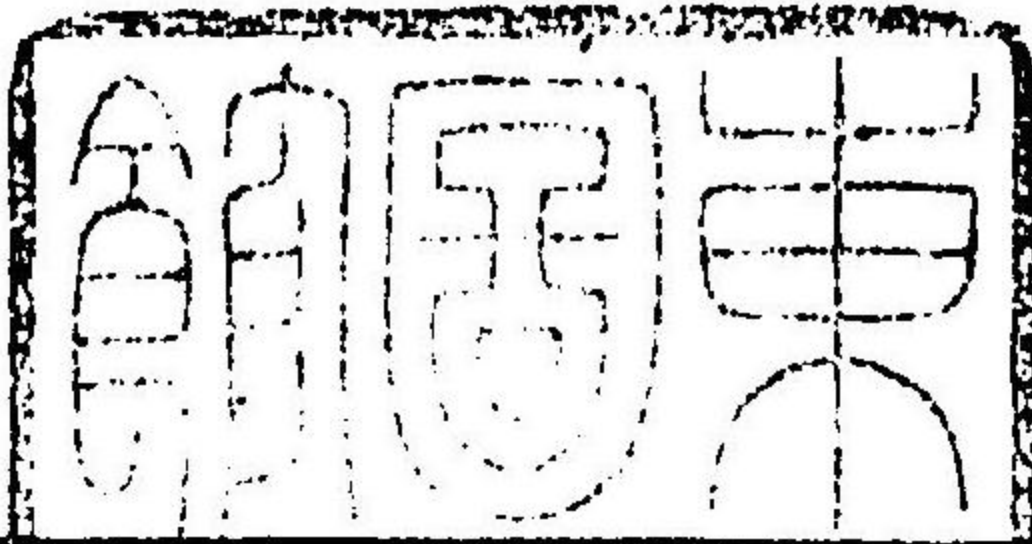
小山村

中相原村

寺田村

館村

下長房村



新編武藏風土記稿卷之一百三

多磨郡之十五

小比企村

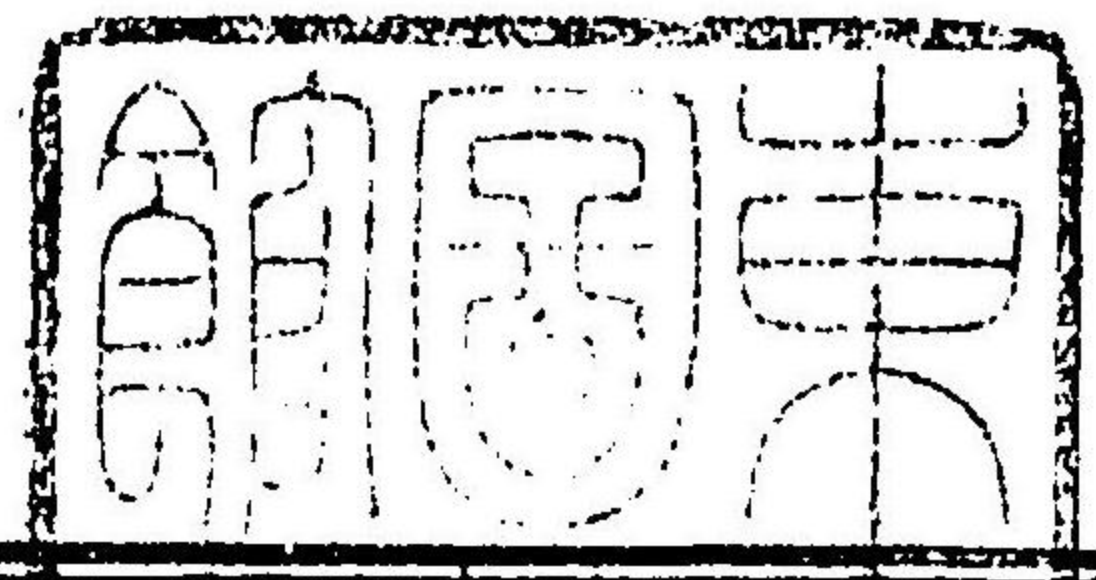
小比企村

小比企村郡ノ南ニアリ或小引ニ作ル横山庄ニ隸セリ東ハ片倉村ニ接シ西ハ柵田散田ノ二村ニ界シ南ハ宇津貫大船ノ二村ニ及ヒ北ハ子安新横山ノ二村ニ隣ル東西凡一里南北七七八町地形低窪ニシテ南北少シク高シ土性ハ眞土野土等ニテ水田少ク陸田多シ土人ノ傳ヘニ往古片倉村ニ城壘アリシ頃ハ此邊ミナ泥沼ナリシト寶永ノ頃迄ハ御領所ニテアリシカ正徳中ニ至テ長澤某ニ賜リ今子孫長澤直次郎資吉知行セリ昔御料ニテ岡上次郎兵衛御代官所ナリシ頃檢知ハ寛文六年竹村綱太郎檢地ス家數百四十軒江戸日本橋マテ行程凡十二里餘

高札場村ノ中程小名

小名

上組 村ノ西ヲ云以下時田ニ 中組 杉ノ下 坂下 中居 竹ノ内 時田 長 作方ノ東北ノ 江田原 村ノ南ニアリ此所ニ大塚アリ上ニ一椽ノ松アリト傳フ



山川

山田川 山田村ヨリシノ、キ村ノ北方ヲ
湯殿川 桐田村ヨリ來リ村中ヲ東流シテ片倉村
橋梁

橋梁

木ノ根橋 山田川ニ架ス字長作ニアリ往古ハ大木ノ根流上ニ屈盤シテオノツカ
月見橋 山田川ニ架セル板橋ナリ此邊ノ字ヲ赤根ト云土人
大橋 湯殿川ニ架ス字内手ニアリ
板橋 是モ湯殿川ニ架ス字稻荷

白山社 除地一段五畝二十歩小社ナリ字中居ノ山邊ニアリ立身ノ木俵長二尺二寸許
石坂ノ下ニ鳥居アリ文書ニ白山免二百文トアレハ古社ナルコト傳シラル北條照長持
天正十五年ニ與ヘシ文書ニ白山免二百文トアレハ古社ナルコト傳シラル北條照長持

神社

稻荷社 除地一段五畝十五歩小名時田ニアリ當社モ鎮座ノ年歴ハ失ヒタレト萬福
荷大明神ノ上屋ニ間ニ拜殿ニ間ニ東向神體長七寸許鳥居アリ柱間一丈稻
鐵守ニテ 末社 二社相殿 本社ニ向テ右ニ祀レリ

八幡社 社地山林ニ畝許村ノ南ニアリ小祠後
鈴鹿社 社地山林ニ畝二十歩許
山王社 社地山林ニ畝廿歩許字山
白旗社 社地山林ニ畝許字上組并セ見ルヘシ

寺院
萬福寺 字長作ニアリ新義具言宗本部八幡村資性寺末摩尼山ト號ス開山僧正清海
半ニ八間モ寺領ノ内也客殿七間 寺寶 毘沙門一軀作ト云ヘリ 北條照長ノ古文
書一通 按ニ照長ハ北條氏直同氏照ナリト云ト文中ニ北條氏ナルコト見ヘサレ
ハ他姓ノ人ナルヲ誤リ傳ヘ
モシルヘカラスソノ文ニ

書出指置之分但目墨帳之ことく候

五百齋

二百齋

二百齋

二百齋

三百齋

いあり免

大秩谷

白山免

阿彌陀免

いあり免

百五十齋

いあり免

三百齋

百姓廿九日まつり

三百齋

百姓中ちも月まつり

合貳貫五十齋

天正拾五亥八月九日

照長花押

萬福寺百姓中

諏訪社 客殿ノ西ノ方ニアリ 當寺開山清海ハ信州ノ産コテ諏訪氏ナリト因テ當社見レハ古社ナルナ 觀音堂ノ客殿ノ手ノ方ニアリ 二間半ニ立身ナルコト見ル

長慶寺 境内除地ニ段三畝十六歩 竹内ニアリ 禪宗臨濟派本郡山田村廣園寺ノ末作ト云 洞山ハ存意玄誠ニ立ナリ

天文十六年ノ建立ナリ

大林寺 境内除地ニ段八畝十歩 字中居ニアリ 禪宗曹洞派本郡館村龍見寺末葉王山ト此人天和三年二月十五日示寂ナルモ 四年ヲ去コト百九十年ニアマリト云ハ中興ノ開山ナルヘシ 客殿ハ七間ニ六間半本尊行基ノツクレルニシテ 藥師ヲ安置スト

地藏堂 一間半ニ二間境内ニアリ 立身ノ

三社相殿 客殿ノ坤ニアリ 小祠天照太神宮春日辨天ヲ合祀ス

舊家

百姓彌八 先祖ハ小坂新兵衛トテ甲州ノ武田家ニ仕ヘシモノナリ 今村内ニ同姓ノ姓大林ハ小坂氏ナルニ古文書ニ通テ所持ス其文下ニ出セリ 按ニ村内大林寺ノ開基ニシテ子孫ノ者再ヒ舊地ニカヘリ 住セシニヤハ新兵衛ハ自ツカラ別家ナルモ又ナルヘカラス

□以去二月十五日信州水内郡葛山地頸壹其方元官源衛門討捕之條戰功之至感候彌可加褒美者也仍如件

弘治三丁巳三月十日

晴信印

小坂新兵衛丞

志村善左衛門どの

此度當表へ相移□□然者住所之儀村山之内立川分被定置候荒野之地ニ而知行開次第其者ニ被下置候早々彼地へ罷移可令居住候御出陣留主□者玉川内ニ者他所之衆不被指置候早々被任置候地へ罷移宿被立諸不入ニ被定置候間心易可令住居候萬一他所へ罷移ニ付而者何方へ罷移候共可被召返候不入之地へ相移

心易可令住居候猶存分達就有之者取納御馬上可申上旨被仰出候也仍如件

天正十三年
壬午十二月廿七日 官谷衆中

小坂新兵衛丞へ

百姓新八氏ヲ糖信ト云同姓ノモノ村内ニ三人アリ此氏ハ先祖某カトキ頼朝ヨリ
ケル所ノ白旗權現是ナリト云家ノ墓所ニ文正應安等ノ石塔アリ土地開
ケルヨリノ民ナリト知ラルサレトシノ傳フル所ハサマカナラスト云

片倉村

片倉村ハ郡ノ南ニアリ横山庄ニテ郷名ヲ失フ江戸日本橋ヨリ行程十二里村ノ四境
東ハ打越村ニ隣リ南ハ山ヲ隔テ相原鍵水ノ二村ニ境ヒ西ハ宇津貫小比企ノ兩村ニ
ツ、キ北ハ子安村ニ及フ東西十五六町南北二十町許地形南北ニ山丘アリテ中央ハ
尤低シ土性ハ野土眞土ナリ陸田多ク水田少シ民家百六十軒所々ニ散住ス桑蠶ノ利
アリ檢地ハ深谷喜右衛門寛文中ニ改メタリト云正保ノ頃ハ御料所ニテ御代官岡
上甚右衛門景親支配セシカ其後何ノ比ヨリカ私領ノ地トナリ今ハ藤澤宮内前田繁
之助二人ノ知行所ナリ其餘住吉ノ社領モ入會ヘリ事ハ神社ノ條ニシルセリ村内ニ
相州へ通スル一條ノ往來アリ南ノ方上相原村ヨリ北ノ方杉山峠ヲ越テ相州橋本村
ニ達ス道幅二間ヨリ三間ニ至ル又鎌倉古街道ト云一條アリ是ハ鍵水峠ヲコヘテ小

山村ノ方へ通セリ中ホトニテハ今ノ相州道ト合セリ

高札場 日向ノ東

小名

川窪 東ノ方 日向 古城跡ノ 只沼 コレモ同 時田 北ニヨリ 釜貫 村ノ南ノ方
所モ同並 車石 臺

山川

杉山峠 登リ十六町ハカリノ
鍵水峠 高ク杉山峠ニ同シ杉山ノ
宇津貫川 村ノ南ヲ流ル幅二間ホト
湯殿川 又時田川トモ云村ノ北ノ方ヲ流ル川幅四五
間流末ハ打越村ニ至リテ淺川ニ合ヘリ

橋梁

板橋ニケ所 一ハ湯殿川ニ架ス小名時田ニアリ長十間アメリ
一ハ小名川窪ニ架ス長サ七間餘是モ湯殿川ニ架ス

水利

清水 字釜貫ト云所ニアリコノ外字時田ト云處ヨリモ流出セリニケ所トモニ村内
氷田 字釜貫ト云所ニアリコノ外字時田ト云處ヨリモ流出セリニケ所トモニ村内
ニツ

神社

住吉社 城山ニアリ村ノ不動守ナリ社ハ五尺ノ宮造ナリ覆屋アリ三間ニ五間本
 城セシモ近キ鎮座ニアラシトモシカハ別ニ神體アリテ古ノ大體ハ備中守親
 モノナルヘシ師親ハ應永ノ比ノ人ナリ祭禮毎年神體アリテ古ノ大體ハ備中守親
 七月十九日慶安年中御朱印七石ノ御祭附アリテ祭禮毎年神體アリテ古ノ大體ハ備中守親
 貫村龍光寺末世尊院金藏坊七石ノ御祭附アリテ祭禮毎年神體アリテ古ノ大體ハ備中守親
 龜ハ大江備中守師親ナリ本堂八間六間南向ナリ開

別當來光寺 熊野社
 熊野社 神體左ノ鎮守ナリ徑七寸



徑六寸二分



六分

武州多西郡横山片倉村

來光寺鎮守

熊野三所大權現

天文廿乙卯四年四月吉日 敬白

白山社 小名釜貫ニアリ

第六天社 小名車石ニアリ

富士淺間社 小名壑ト云

山王社 小名川窪ニアリ

寺院

慈眼寺 小名釜貫ニアリ 禪宗曹洞派 同郡由木村永林寺末白

云本堂十間ニ六間西向ナリ 山門 正面ニ安永三年鑄造ノ鐘アリ

寺領六石ノ御朱印ヲ賜フナリ 山門 正面ニ安永三年鑄造ノ鐘アリ

白山妙理權現社 境内ノ外ニアリ 山門 正面ニ安永三年鑄造ノ鐘アリ

斟珠菴 小名時田ニアリ 禪宗臨濟派 同郡山田村廣園寺末常龍山號ス開山ハ春林西

中御朱印五石ノ地ヲ御寄附アリ 菴室ニ御朱印ヲ賜 辨天社 境内ノ西ノ鎮守ナリ

多麻郡片倉村總圖



中嶋ニアリ九尺ニ間池ノ
 周廻三十間許モアルシ
 高福寺除地二畝八歩小名車石ニアリ
 山ト號ス開山開基詳ナラス本尊
 正觀音本堂七間ニ四間南向ナリ
 寮一宇貫除地凡十五間ニ本尊藥師ヲ安セリ小名釜
 持寺

古蹟

片倉城蹟親在城セリト頃大江備中守師
 ノ三面ハ沼ニシテ西ニハ高キ平地アリ
 ツノ所ハ西ノ屋敷町ナトアリシト云今
 見ル所ハ五六丈ノ片倉村ノ大手中ニ出
 テ高サ五丈ノ山ナリアマノ狭キ所五
 六十間僅カナル芝原ナリ東ノ山ニ住
 六ノ間僅カナル芝原ナリ東ノ山ニ住
 吉ノ社アリ山ノ北ノ際チ小川流ル所
 アリコノ山ノ北ノ際チ小川流ル所
 湯殿川ト呼フ又南ノ小川アリ宇津貫川
 ト云コトニ流フ又南ノ小川アリ宇津貫川
 ツトメスキテオチ合ヘリ小名川足張ノ東
 ザス場ト云所アリ南チユリ山足張ノ東
 狹窄ノ地ニテ昔氷流チユリ山足張ノ東
 ト云カハリゲテ昔氷流チユリ山足張ノ東
 ノシナルヘリコト城蹟ハ城下ハ尤池沼トモナリ

墳墓

古碑五基小名日向ト云所ニアリ何モノ、墓ナルト云コトハ傳ヘサレト應永永徳
 等ノ年號ヲ彫タレハ古キモノナリ共ニ長二尺ハカリコノ碑ハ城山ヨリ堀出
 五輪ノ碑アリ是モ事實ハ詳ナラス

宇津貫村

宇津貫村ハ郡ノ中央ニアリ郷庄ノ唱ヲ失ヘリ江戸日本橋ヨリ行程十三里村ノ四境
 東ヨリ北ヘメクリテ片倉村ニ堺ヒ南ハ山ヲ越テ下相原村ニ及ヒ西ハ大船村ニ隣レ
 リ東西十三町南北モ同シ地形西南北ニ山丘アリテ東ハ平地ナリ水田陸田トモニ等
 分ニテ土性ハ眞土ナリ民家八十軒處々ニ散住ス檢地ハ寛文七年深谷喜右衛門改ム
 今平岡仁右衛門カ知行所ナリ賜ハリシ年代ハ傳ヘス

小名

高札場小名勝負谷戸
 綿打谷戸南ノ方 芝ノ上村ノ中央 勝負谷戸北ヨリ 官田東ノ方 君田西方
 下谷戸東ヨリ 閑道谷戸南ノ方 中村中ホト 堂ノ上程ヲ云

山川

杉山峠村ノ巽ノ方ニアリ登リ十四町許
 杉山峠ハテ過テ相原村ニ出ル一路アリ

七國峠 村ノ南ノ方相原村ノカタヘ出ル小徑ナリ峠ノ高サ杉山峠ト同シコノ峠ニシテ武藏相摸伊豆下野安房駿河常陸等ノ國々見ユルニヨリテコノ名アルヘシ

水利

用水 村内ノ山間ヨリ清水出ツ

神社

第六天社 除地凡一段三畝歩小

山王社 除地二畝餘小名堂ノ上ニアリ是モ本社ナリ側ニ三間ノ寮アリテ本尊ニ付

稻荷社 除地四坪許小名君

山神社 除地四坪許小名綿打

寺院

福昌寺 除地二段小名綿打谷戸ニアリ禪宗臨濟派同郡山田村廣園寺末律澤山ト號

氏ニ仕ヘシ密師ニテ正二年ノ示寂ナルヘシ開基ハ後藤將監尉治ト云テ小田原北條

ヨリ寺號山號ヲ許サレシナル處室ナリシカ元祿十五年ニ至リ始テ一寺トナリ本山

室ヲ草創セシ人々ヲ開山開基トナラヘ稱スルハ甚タ疑シモシクハカノ後藤某ハ是

當寺ノイマタ庵室ニテアリシ比廢シタヘシテ再遺セシコトハ始ク其マハテ記スマ

本尊十一面觀音木ノ坐像ニシテ今考證トナスヘキモノナケレハ始ク其マハテ記スマ

六年ニ鑄シモノナリ 藥師堂 境内ニイリテ右ノ方 鐘樓 藥師堂ノ側ニ

舊蹟

後藤將監宅蹟 其所ヲ殿ノ臺ト云村ノ中央ニ少シ高キ

小山村

小山村ハ郡ノ南ニテ武相ノ國界ニアリ横山庄ト唱フ江戸日本橋ヨリ行程十二里許

リ村ノ四境東ハ小山田村ニ隣リ南ハ武相ノ境川ヲ限リ川ノ向ヒハ相州高座郡小山

村ナリ是ヲ日陰小山ト云西ハ相原村ニツ、キ北ハ鑪水大澤小山田ノ三村ニ接ス東

西二十四町餘南北九町餘地形北ノ方ニ山丘アリテ南ノ方ハ境川ニツヘル平地ナリ

民家ハ三百二十軒北之方ニ散住ス水田少ク陸田多シ土性ハ眞土黒土ナリ秣場西ノ

方ニアリテ大澤村ト入會ノ地ナリ檢地ハ寛文六年深谷喜右衛門タ、セリ正保ノ頃

ハ御料所ニテ御代官高室喜三郎支配セシカ元祿十一年村内ヲサヒテ松平次郎右衛

門清親神保新五左衛門長治ヘ分テ賜ヒ又寶永二年十二月殘ル御料ノ地ヲ多賀主税

尚國ヘ賜ヘリ此多賀カ知行ハソノ後故アリテ上地トナリ享保ノ頃ハ御代官石川傳

兵衛アツカリ奉リ同キ五年ヨリ江川太郎左衛門支配セシテ同八年松平九郎左衛門ノ御預地トナリ明ル九年日野小左衛門カ御代官所トナリシニ享保十九年再ヒ高井兵部少輔信房ニ賜ヒシヨリ今モカノ子孫ノ輩高井但馬守常房神保喜内長通松平龜五郎善實三人ノ知行所ナリ

高札場三ヶ所 共ニ村ノ東ノ方

小名

堂ヶ谷 村ノ西ノ方アリ以下片所ニ至ルマナ
田端 上ヶ谷 岡田ヶ谷 町有 高ヶ谷 片所 高ヶ谷 土人 或ハ重忠屋敷トモ云
リ側ニ古鎌倉ヨリ秩父ヘカヨヒシト云古街道ノ跡アリ今ハ所々中絶シテ定カ
ナラスコノ芝地ヨリ賣曆年中村民佐右衛門ナルモノ古キ矢根五木ヲ掘出セリ
トテ今モ村民源内ト云モノソノ一本ヲ持傳ヘリ柳葉ノ形ニテ片面ニ重ノ字
面ニ次ノ字ヲ錫セリ最古色ニハミユレト重忠カ時代ノモノナルヤ詳ナラス以
上ノ地ハ松平龜五郎カ知 御嶽堂 片所ノ東 沼 善八カ墓所ニ至リ三ノ所
ル所ニハ古碑アリ何モハ碑ナルコトハ傳ヘス以上ノ 中村 沼 馬場 村
ニケ所ハ古碑アリ何モハ碑ナルコトハ傳ヘス以上ノ 中村 沼 馬場 村
ト又東ノ方ニ神保喜内カ食地ナリト

山川

境川 上村ノ南ノ方武相ノ國界ヲ流ル川幅四間ヨリ五間ニ至ル水源ハ桐郡
上相原ヨリ湧出スト云村内二十四町四十間ヲ徑テ小山田村ニ達ス

神社

札次明神社 社地五百二十一坪許小名町有ニアリ小社ニテ覆屋アリ三間ニ六間南
祭七月二日 神樂堂 社ニ向テ左ノ方ニ

御嶽社 社地二千七百坪餘字御嶽堂ト云所ニアリ小社ニテ四間四方ノ覆屋ヲ建ツ
ホトニ木ノ鳥居ヲ建祭例七月十七日下郷ノ鎮守ナリ以

飯綱權現社 社地無年貢地四百九十坪小名御嶽堂ニアリ小社ニテ二間ニ三間ノ覆
テ尋ルニ往昔別當神明寺ノ開祖三藏坊ハ上州新田郡鵜屋村ニ住居セシカ故テ

テモ古色ニ見ユ社 末社 三座相殿 稻荷愛宕天神合祀スリ ヨダ子石向本社ニ
テ方ニアリ鳥居アリ尺五寸許是 別當神明寺 本山修驗同郡木曾村覺園坊ノ立像長二

尺五寸本堂ハ五 間半ニ四間半 山王社 小名三ツ目ニアリ小社ニテ覆屋二間ニ三間南向ナリ神
居アリ 末社 天王社 方ニ向ヒ左ノ 金毘羅秋葉相社 小社ニテ覆屋アリ南向ニ

神樂殿 本社ニ向ヒ左ノ方 御嶽社 除地一畝六歩小名荒ヶ谷ニアリ石ノ祠ナリ南向ニテ地ニミタラ
持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

持寺ノ

神明社 社地百八十五坪小名町有ニアリ村ノ持ナリ

寺院

寶泉寺 小名三ツ目ニアリ寺領九石ノ内ナリ禪宗臨濟派同郡芝崎村普濟寺末開山
 本堂六間七尺三寸許 鐘樓 本堂前ニアリ一鐘ナリ 觀音堂 本堂向テ左ニ
 本堂六間七尺三寸許 三社相殿 本堂前ニアリ神ヲ祀レリ境内ノ鎮守也
 寸運慶ノ作ナリト云 正源寺 當寺ハ前ニ記スル寶泉寺領ノ内ニアリ別ニ除地モナク且同寺ノ末寺ナ
 南向是寺モト村内小名荒ケ谷ニアリ 御嶽社 客殿ニ向テ左ニ
 シカ寶曆中ニ今ノ地ニ移レリト云 福生寺 小名片所ニアリ新義真言宗同郡寺方村寶生寺末施彌山慈眼院ト號ス開山
 南向ナリ慶應天和三年四月示寂ス本尊觀音木ノ坐像長六尺許本堂七間半ニ號ス開山
 何ノ比賜ヒシト云コト詳セズ 長泉寺 境内千七百五十一坪字沼ト云所ニアリ禪宗曹洞派同郡抽木村永林寺末
 八間半ニ號ス開山照室惠鑑天正年中示寂ス木像釋迦木ノ坐像長一尺許本堂
 餘御朱印ヲ賜ヘリ慶安中ノ事也 鐘樓 年中ノ鐘銘アリコト眞草 藥師堂 門テ
 八寸ハカリ三間四方藥師ハ木ノ坐像長 衆寮 門テ入テ左ノ方ニ
 正明院 除地一段下ニテ小名中村コアリ小郷山ト號ス當寺モ本山修驗木曾村覺
 阿彌陀堂 二間四方南向彌陀ハ銅ノ立像長二尺ハカリ背後
 願ハ彌陀ノ淨くれねかふへ清々ハかれ外ありかどて

文永二年乙丑三月十七日

應觀方阿闍梨永秀花押

井芳綠清聚女

相模國小津郷

本覺院 除地一段十歩小名中村コアリ小郷山ト號ス當寺モ本山修驗木曾村覺
 千日堂 除地六畝二十歩小名上郷コアリ五間ニ四間ノ堂コナ南向ナリ往古何モノ
 本尊彌陀木ノ立像長五尺許又 古牌 一基 堂ノ傍ニアリ文明十七
 十五ノ像ヲ安ス百姓彌十郎持 古牌 一基 堂ノ傍ニアリ文明十七
 地藏堂 階少シアリ本尊地藏木ノ坐像長一尺二寸許寶泉寺持

上相原村

上相原村ハ郡ノ南ニテ武相ノ國界ニアリ郷庄ノ唱ヘハ傳ヘサレト中相原下相原ト
 モニ相原郷横山庄ト唱フレハ當村モ恐クハ同シトナヘアリシナラン村名ノ起リモ
 詳ニセス土人或ハ大戸村トモ呼フコレ古名ト云ニモアラス又ソノ大戸トヨソ義モ
 詳ナラスト云正保ノ頃マテハ上中下ノ三村ヲ通シテタ、相原トノミ唱ヘシヨシソ
 ノ比ノモノニミユレハ分村セシハ近キ世ノコトナリト覺ユ江戸日本橋ヨリ行程十
 三里許村ノ四境東ハ中相原村西ハ上桐田村ニツ、キ南ハ武相ノ境川ヲ限リトシ北

ハスヘテ山ツ、キニシテ館寺田大船ノ三村ニ接ス民家三十軒村内ニ散住セリソノ
 中西ノ方ヘヨリテハ前後トモニ山高ク聳ヘタレハ谷アヒノコトクニテ冬ノ頃ハ朝
 夕ノ日ササヘ見ルコトヲ得スト云民家ノウシロハ山丘ニシテ前ハウナ開ケタル平
 地ナリ土性ハ眞土ニテ水田少ク陸田多シ水旱トモニ患ナシ秣場ハ村ノ西ノ方ヲオ
 ナ澤ト云ニアリコノ邊上中下相原入會ノ地ナリ又東北ノ方中相原村ト宇津貫村ト
 ノ中間ニモアリテ上中下相原及宇津貫大船五ヶ村ノ入會ナリ當村古ノコトハスヘ
 テ傳ヘス御入國ノ後正保ノ頃ハ高室喜三郎カ御代官所ナリ檢地ハ寛文七年坪井次
 右衛門カ承ハリニテタ、シアリソノ後イツノ頃ヨリカ私領所トナリ今ハ久松忠治
 郎カ采地ナリ村内三條ノ往還アリ一ハ村ノ中央南ヨリ北ヘ達シテ高良谷ヘカ、リ
 甲州街道駒木野宿ヘ向フ道幅一間ヨリ二間ニ至ル一ハ村ノ東龍ノ谷ヘカ、リテ南
 北ヘノ往來ナリ則チ甲州道中八王子エノ道ナリ山道ニシテ狹キニ至テワツカニ獨
 歩スヘキホトノ小徑ナリ又西ヨリ東スルノ一路アリ是ハ村内通用ノ道ニシテ東行
 シテ中相原村ニ出其餘相州ヘノ通路北ヨリ南スルノ四筋アリ一ハ村ノ西一ハ村ノ
 中央一ハ村ノ東ヨリ一ハ村ノ東ニアリ村ノ東西十丁南北五丁ハカリ
 高札場村ノ中程

小名

段木村ノ西 牛田谷 龍ノ前 高良谷 内坪 春日谷ノ上方ノ西 子ノ神谷
 秦良谷 鍛冶屋村 柿木谷何レモ東ヘヨリテ 六本松 湯ノ入セシトソ今ハ
 シナ 水口 武藏國 屋敷谷 龍ノ谷 川島イッレモ東 砂東ノ方境川 土谷
 北
 アリ

山川

境川 村ノ南ヲナカレ川幅凡三間武相ノ境界トナレル川ナレハタハナニソノ名ト
 涌出シ村内ヲ經ルコト凡三十町許東流シテ中相原村ニ
 至ルコノ間字牛田谷ト川嶋トノ北側ニ水車ニケ所アリ

神社

若宮八幡社 除地永田三畝二十七步字段木ニアリ小祠入口ニ石階三十三級アリテ
 祭レリ 其上ニ柱間九尺ハカリナル鳥居ヲ立例祭七月廿九日熊野社ト隔年ニ
 村持
 熊野社 除地陸田九畝十步字瀧ノ前ニアリ
 藏王權現社 除地水田四畝五步陸田四畝字高良谷ニアリ小祠石階三
 八幡社 除地畑一段五畝十八步在柄ノ八幡ト云字
 春日社 字春日谷ニアリ小祠村持此邊ノ鎮守ナリ
 春日社 字春日谷ニアリ小祠村持

子神社 廿八日 神谷ニアリ 祭禮七月

第六天社 六日 水口ニアリ 祭禮七月廿

山王社 六日 本松ニアリ 祭禮八月十日

天王社 六日 本松ニアリ 祭禮八月十日

八幡社 除地 水田一段 二步 陸田一畝 十八步 武藏岡ニ

御嶽社 除地 陸田五畝 廿六日 此邊ノ鎮守ナリ 小祠

神明社 除地 陸田六畝 二十步 水田三畝 八

寺院

觀音堂 除地 陸田一段 二十二步 字 龍ノ前ニアリ 三間 四方 南向 本尊 正觀音坐像ニ

菴 觀音堂ノ側ニアリ 祐照菴 鐘樓 堂ノ正面ニアリ 九尺 四方 享 六角堂ノ

觀音堂 除地 陸田五畝 十步 字 秦瓦谷ニアリ

圓林寺 除地 陸田三畝 七畝 十二步 字 屋敷谷ニアリ 天台宗 高月村 圓通寺ノ門徒ナリ

阿彌陀堂 彌陀ハ木ノ坐像長二尺ハカリ

中相原村

中相原村ハ郡ノ南ニテ武相ノ國界ニアリ 相原郷横山庄ニ屬ス 江戸日本橋ヨリ行程

凡十三里 村ノ四境東ハ下相原村ニ續キ 西ハ上相原村ニ隣リ 南ハ武藏相摸ノ境川ニ

テ向ハ相州川尻村ナリ 北ハ大船宇津貫ノ二村ニ接セリ 東西二十町許 南北ハ十

五町ニスキス 地形南ノ方ハ平ニシテ 北ノ方ハ山ナリ 村内ノ南ヨリ北ヘ通ル 往來一

條アリ ヲ道七國峠エモ通シ 又相州ヨリ八王子エノ往來ニモ ヲ道ニヨレリ 民家

七十五軒 處々ニ散在ス 土性ハ眞土ニシテ 陸田多ク 水田少シ 檢地ハ寛文七年 坪井次

右衛門アラタメテ 貢米ノ數ヲ定ム 其頃ノ御代官ハ高室四郎兵衛ナリ 其後享保十九

年 高井兵部少輔信房ニ給リ 今モカノ子孫 但馬守常房カ知ル所ナリ

小名

三堂谷 村ノ西ノ 根岸 三堂谷ノ 馬込 根岸ノ北 松谷 村ノ中程 八段 松谷ノ

境川ノ縁 丸山 村ノ東

山川

境川 村ノ南境ヲ流ル 上相原村ヨリ來リ 登村ニツヒテ 流ルハコト 凡二十町許 東ノ

北岸ニ水碓ニケテ 所アリ 一ハ村ノ東 宇八段ニアリ

神社

諏訪明神社 除地廿間三三間字丸山コアリ入口コ石階二十四級テ設ク小社コテ
守ナリシカ今ハ字八段丸山ノ鎮守ト
ス例祭七月廿日村内本山修驗高岳院持
山王社 見拾地一畝二歩字三堂谷コアリ
御嶽社 見拾地三畝十歩村ノ中央ニアリ入口コ
御嶽社 見拾地三畝十歩村ノ中央ニアリ入口コ

寺院

行昌寺 除地二段六畝字三堂谷コアリ禪宗曹洞派同郡上栢田村高乘寺末地藏山ト
月九日示寂セリト
長福寺 宇丸山コアリ禪宗曹洞派郡中小山田村大泉寺末國山ト號ス本堂九間半
日示寂ス此寺ノ境内ハ末ニ出セ
高岳院 除地一段八畝十三歩字三堂谷コアリ本山修驗コテ郡中木曾村覺圓坊ノ配
大佛ノ作レハ拜スルコトタユルコトハ
秘佛ナレハ拜スルコトタユルコトハ
覺王院 除地四百坪字三堂谷コアリ七國山清眼寺ト號ス本山修驗コテ
觀音堂 長福寺ノ持コト本尊不動木ノ坐像長一尺八寸許開山ヲ傳ヘス
シ村内ニテ御寄附アリ此堂ハ山中腹ニ置テ守ラシム長福寺持
鐘樓觀

大日堂 除地四畝二十歩村ノ北ナル山中腹ニアリ堂九尺四
下相原村 坐像長二尺許ナルヲ安セリ覺王院ノ持ナリ

下相原村

下相原村ハ郡、南武相ノ國界ニアリ相原郷横山庄ニ屬ス江戸日本橋マテ行程十三
里餘村ノ四境東ハ鏡水片倉小山ノ三村ニ接シ西ハ中相原村ニ續キ南ハ境川ヲ限リ
トシテ相州相原橋本ノ二村ニ隣リ北ハ山丘ニテ同郡宇津貫村ニサカヘリ地形東西
十五町許南北十二町北ニ山ヲ負ヒ南ハ平地ナリ土性ハナヘテ眞土ニテ水田少ク陸
田多シ民戸九十軒村内ニ散住ス農業ノ外女ハ蠶桑ヲ專ラトシテ太織ナトヲ織テワ
ツカニ生産ノ助トス檢地ハ寶文七年坪井次右衛門某タ、セリ當村古ノコトハスヘ
テ傳ヘス御入國ノ後ハ御料所トナリ正保ノ頃ハ高室喜三郎カ御代官所ナリシヨシ
物ニ見エタリ其後元祿ノ比建部六右衛門某ニ賜リシヨリ今モ其子孫六右衛門孝哉
知行セリ

高札場 村ノ東ノ方小
名坂下コアリ

小名

用旧谷 村ノ中 官ノ前方ナリ 西ノ 吉川 宮ノ前ノ 中谷 吉川ノ 橋本 中谷ノ
村ノ中 官ノ前方ナリ 西ノ 吉川 東チ云 中谷 東チ云 橋本 東チ云

坂下 橋本ノ境 坂下ノ東 森久保村ノ西南境

山川

境川 村ノ南境ヲ流ル名義ハ上村ノ條下ニ記セリ東流シ

寺院

清水寺 除地畑合ニ段八畝二十歩字坂下ニアリ禪宗臨濟派京都妙心寺ノ末ナリ

觀音堂 境内西ノ方ニアリ正觀音ヲ安ス木

寺田村

寺田村ハ郡ノ中程ヨリ南ノ方ニアリ横山庄ニ屬ス江戸日本橋ヨリ行程十三里村ノ四境東ハ小比企大船ノ二村ニツ、キ西ハ館村ニ隣リ南ハ上相原村北ハ下柵田村ノ内大牧ニマシハレリ東西廿八町許南北廿町東ノ方ノミ平衍ノ地ナリユヘニ山林高抵多ク陸山ハ水山ヨリ少シ土性ハ眞土野土相半ス民家五十六軒大低南西北ノ山ニヨリテ住セリ是村古キコトハスヘテ傳ヘス御入國ノ後ハ御料所ニテ慶長四年角田將監玉勢儀右衛門ト云モノ檢地セシト云ソノ後正保ノ頃ハ御代官岡上甚右衛門カ支配所ニシテ寛文六年竹村彌太郎檢地セリソノ後寶永三年村内ヲサキテ長澤某ニ賜ハリソノ餘ノ地ハ江川太郎左衛門支配セシヲソレモ同五年ニ武田某ニ賜ヒシヨ

リ今モ二人カ子孫相傳ヘテ武田藤右衛門長澤直次郎カ知ル所ナリ

高札場 二ヶ所 一ハ村ノ中央小名金山内手ニ

小名

臺屋 村ノ西 西在家 村ノ中ホ 金山 村ノ中ホ 内手 村ノ中ホ 小金澤 東南ノ谷

水利

清水 村内所々ノ谷間ヨリ流出ソノ末一條ノ川トナレリソノ東流シ小比企

堰 梓高凡一丈幅三間

神社

榛名社 見捨地十間ニ百間許字内手ニアリ入口ニ鳥居アリ榛名山ノ三字ヲ榜スソ

三問 四方ノ覆屋アリ當社勸請ノ年代ハ傳ヘサレト榛名神社ニ至ル社ハ宮造ニシテ

御嶽社 見捨地百坪許字鐘ヶ澤

金山社 見捨地百坪許字金山内手ニアリ石階十

稻荷社 見捨地廿五坪字臺屋ノ山腹ニ

寺院

妙智菴 除地一段二畝廿步字内手ヨアリ二間ニ五間本尊十一面觀音長一尺許ナル
雪山宗憲ト云僧ノ開關ニテ此僧 山王社 除地ノ内西ニ天満社 同シ邊ヨアリト
藥師堂 石階二十五級ヲ上リテ堂アリ三間半四方

舊蹟

松山寺蹟 村ノ中程ヨリ南ノ方字津ケ谷ト云處ヨアリ八畝廿六步ノ除地アリ是
シアリテ松山寺ト改メシカ
イクホトナク廢寺トナレリ

舊家

百姓政藏 澤田氏ナリ先祖ハ今川家ノ浪士ニテ澤田外記ト云ヘリ遠江國澤田ト云
サレト宅地一反八歩ハ村高外ノ地ト號セテ檢
地ノトキモ除カルト云ハユヘアル者成ヘ

大船村

大船村ハ郡ノ中程ヨリ南ニアリ横山庄ニテ郷名ハ傳ヘス江戸日本橋ヨリ行程十三
里村名ノ起リハ昔片倉村ニ大江備中守師親カ居城アリシ頃ヨ、ノ邊ハナヘテ沼ナ
レハ便宜ノタメニ舟橋ヲ造リシヨリノナ、リ近村柵田村ノ小名ニ船橋ト云所アル
モソノ遺名ナルヘシト土人等イヘリ村ノ四境東北ノ方ハ小比企村ニヨリ南ハ相原

宇津貫ノ二村ニ及ヒ西ハ寺田村ニ隣リテ東西五六町南北二十町許地形東南西ニ山
ヲウケテ北ノ方ノミ平地ナリ水田陸田等分ニテ旱損ノ患アリ土性ハ黒真土ナリ民
家四十六軒處々ニ散住ス檢地ハ寛文六年深谷喜右衛門タ、セリ御入國ノ後ハ御料
所ニシテ正保ノ頃ハ御代官高室喜三郎支配セシヨシモノニミエタリ其後寶永年中
建部六右衛門某ニ賜リ今モカノ子孫六右衛門孝職カ知ル所ナリ

高札場 村ノ中ホ

小名

上方 村ノ南ノ
中居 村ノ中ホ
下 北ノ方ナ

用水

用水 山間ノ清水オナ合テ一條ノ小渠トナリ隣村小比企村
用方ノ方ヘ流ルコノ水ヲ所々ヨリ引テ水田ニソ、イケリ

神社

春日社 除地二百坪小名下ノ東ノ方山ノ半腹ニアリ村ノ鎮守ナリ
天満宮 八幡宮合殿ニ見捨地七間四方小名下ノ北山丘
辨天社 除地凡廿間四方石ノ祠ナリ其由來ハ傳ヘス
寺院

安樂院 除地八畝十二歩小名下ノ西ノ方ナル山丘ニ有テ禪宗臨濟派同郡山田村廣ノコトハ詳ニモス所ニ正長安等ノ古碑アリハ古キ寺院トハ
寶勝寺 除地一段一畝廿歩村ノ北小名栲羅山ト號ス本尊釋迦木ノ坐像長八寸許本堂五間
 東堂永正元年六月六日寂セリ
常光院 除地三畝二十歩小名上ニアリ本山修驗同郡木曾村覺園坊ノ配下ナリ大給末期ニ形刻スル所ナリト云其後大師弟子元興ト云僧相州鎌倉ノ地ニ移セリト云ルノミヨテ其傳ヲ詳ニセテ後又義宗ト云入故アリテ當所ニ持來レリ義宗ハ源義家ノ遠裔ナリト云傳ヘリ義宗ノ子攝津守義里ナルモノ父ヲ慕ヒテアリテ當院ヲ草創セリ是永元元年ノ事ナリト云マタ其詳ナル説ヲ聞ス

館村

館村ハ郡ノ南ニアリ郷庄ノ唱ヲ失フ江戸日本橋ヨリ行程十三里村ノ四境東ハ柵川村ニツ、キ南ハ寺田相原ノ二村ニ隣リ西ハ上柵田村北ハ下柵田村ナリ東西一里半ハカリ南北七十八町地形西南ハ山丘ニシテ北モスコシク高シ東ハ平地ナリ水利便ナラス湯殿川殿入ナト云流ニワツカノ堰俸ヲ設ケテ用水ヲヒク故ニ水田少ク陸田多シ山林モアリ土性ハ眞土黒土等ナリ民家百軒アマリ農耕ノ外蠶桑ノ餘業アリ檢地ハ寛文六年曾根五郎左衛門繼ナリ正保ノコロハ御料所ニテ御代官岡上甚右衛門

支配シ其後村内ナサキテ田安殿ニ賜リ又御旗本ノ士久松某ニ賜リ今モ舊ニヨリテ田安殿ノ領地ト久松忠次郎某カ知行入會ノ村ナリ久松某ニ賜リタルハ寶永二年ナリト云村ノ東ニ古ノ鎌倉街道トテ一條ノ往來アリソノミナニハ切通ナト云所モアリ

高札場 村ノ中ホト小名

小名

古歌場 西ノ方ニアリ其由來ヲ傳ヘスナリト近キ邊宇西谷戸ト云處コ大鼓ケ聲カ
四ツ谷 中ホト **和田** 是モ中ホト **日向田** 東ノ方 **日影田** 中ノ方
 入日影田中ノ西ニアリ此奥ノ方ニ池ノ澤ト云所アリシコニ釜トヨフ池

山川

湯殿川 村ノ西ノ方柵田村ノ方ヨリ流レ來レリ川ノ幅二間アマリ又字殿入ト云所セリト

橋梁

板橋 四ヶ所アリ共ニ湯殿川ニ架ス一ハ小名西谷戸ニアリ一ハ四ツ谷一ハ新開ニアリ何レモ長サ五間コノ餘ノ小橋ツクハクアリ

神社

山王社 無年貢地二十一坪字古歌
天滿社 無年貢地小祠百姓持
稻荷社 無年貢地小祠百姓持

寺院

寶泉寺 除地二石六升餘小名和田ニアリ
淨泉寺 御小名四ツ谷ノ慶安ノ方山丘ニアリ
年十月七日野州開基ノ近藤出羽守助實ナリ
カ旗下ニテ又野州法證トスレハ是出羽守カ
コシノルセリ又同シテ去帳コ白録院殿淨
昌大姉トアリ又同シテ去帳コ白録院殿淨
妙昌ハ出羽守カ妻ニテモアリ本母釋迦木ノ
向ナリ東寺寶

制札

右淨泉寺御構前後左右之山可被爲立候下草成共取者有之ニ付而者見合ニ被
爲擲捕此方ニ可有御注進候但將示之事東者龍見寺屋鋪之上西者大津階道迄南
者戸之入之谷奎と大津階道ヲ切而北者御靈官川勝示ニ可有御改道者也仍如件
天正九年辛巳正月十七日

出羽守花押

按ニ近處出羽守ナルヘレ

淨泉寺御納所

鐘樓 本堂ノ前ノ寶永ニ御靈社ハ境内ノ北ナル川岸コアリ村ノ鎮守ナリ
サレトノ像古ヘ八王子ナル御靈現ノ神體ニテアリシナハ後年コハ宮川傍示云々
コハ天正九年ノ頃ハミエテ前ニ出セル文書ニ北ハ御靈宮川傍示云々
龍見寺 字殿入コアリ神宗曹洞派野州郡富田村大寺末光輝山ト號ス古ハ
藤寛永十一年九月十七日示寂當寺モ古ヨリ此地ニ住シトヤ詳ニセテ開山ト
尊釋迦木ノ坐像長八寸本堂ハ正嘉和ニ興開山ナルカ本大日堂キ本堂ノ側ナリ
今ノ堂前ノ畑方ノ堂ナリ小塚ノ上ニ造立セリ今ノ地ニ移シテ年餘シテ其始ハ
寺コナルニハ別當寺ナリ中ノ大日堂ノ御朱印ヲ御寄附アリトイフモアリトイフ
辨天堂 大日堂ノ前ノ中嶋ニアリ階下ニカナル池也 鐘樓 年ニ鑄タルモノアリ
不動堂 村ノ東ノ不動坂五寸許傳云武田信玄此像ヲ今福某ノ授ケテカノ今本

観音堂 小名日影田中百姓次左衛門カ屋敷ノ内ニアリ
二間四方本尊ハ正観音立像ニテ長七八寸許
地藏堂 小名古歌場百姓甚右衛門カヤシキノ内ニアリ
梅元庵ト號ス本尊地藏ハ弘法大師ノ作ナリ

橋本庵 無年貢地小名古歌場ノ東ニアリ
二間ニ三間ノ庵ナリ百姓持
積善菴 無年貢地小名殿入ニアリ三間ニ五間本尊不動ヲ持
龍見寺ニ世源海カ造立スル所ナリ龍見寺ノ持
鏡叟菴 年貢地小名古歌場ニアリ三間ニ
五間本尊大日ヲ安ス村ノ名主持

古蹟

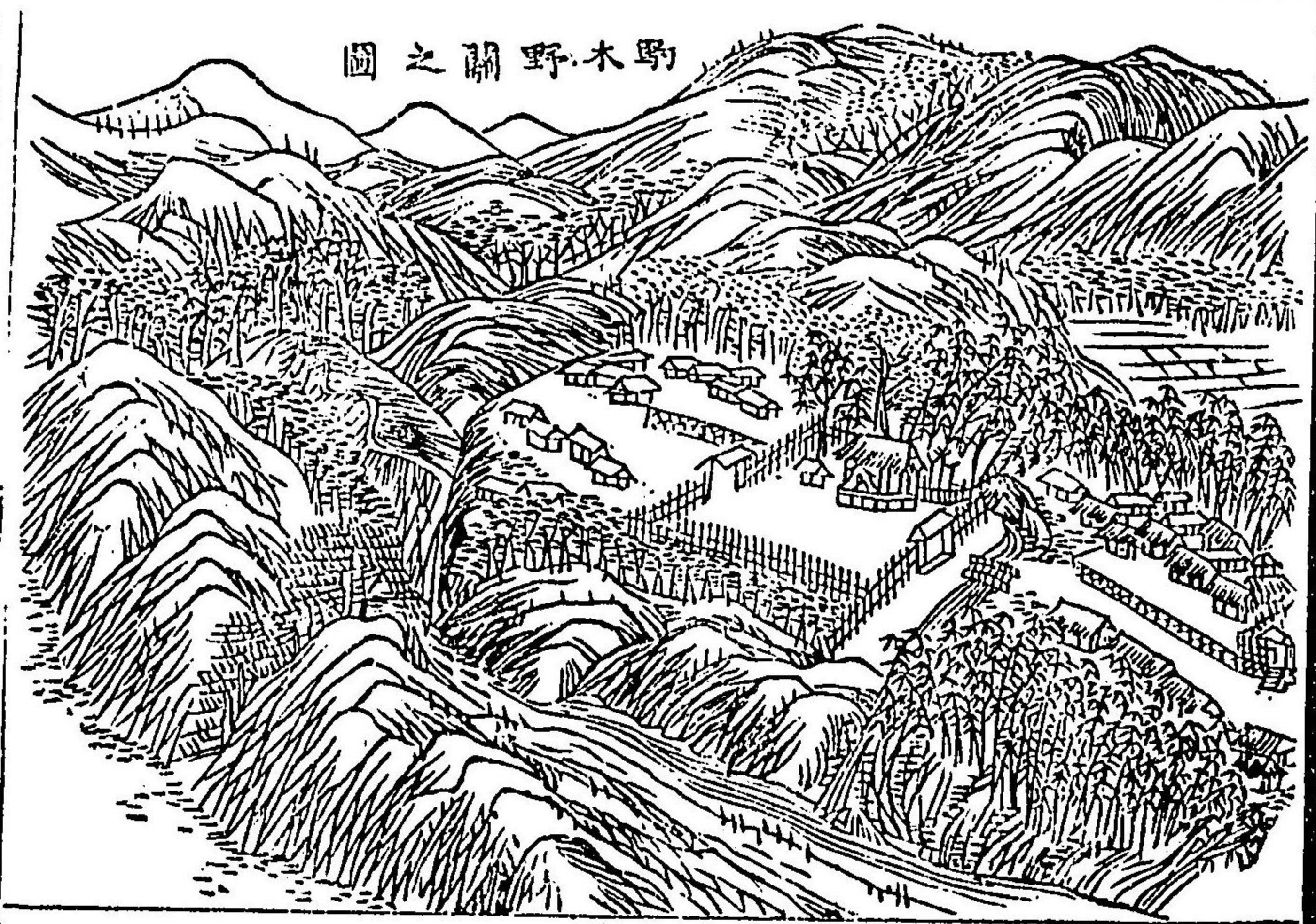
近藤出羽守屋舖蹟 小名四ツ谷コアリソノ搦ノ廣狹ハ詳ナラス近キ邊小名和田ニ
ヘシ按ニ小田原記ニ天正十八年六月廿二日八王子ノ城ニ押寄ス此城ハ氏政ノ舍
弟北條陸奥守氏照居城ナリ氏照ハ小田原ニマシマシ本城ニ横地監物ニ丸ニ中山
勸解由狩野一庵近藤出羽守籠リシト結城ノ晴朝先陣ニテ是モ不日ニ責落ストアリ
ナリ榎本ニハ近藤出羽守籠リシト結城ノ晴朝先陣ニテ是モ不日ニ責落ストアリ
即コノ出羽守ノ家ハトナル守ヘシサレト榎本ノ城代ハ出羽守ニシテ討死セシコトハ論
ナシカ
ナカ
堂屋敷蹟 小名西谷戸ノ奥ニアリコノ山田村廣園寺ノ開山峻翁令山和
高山 村ノ東南字長窪ト云所ニテ二町許モ登ル丘上ナリ下ニスコシノ喰達土手ア
高山ノ南ノ谷間ニ巴ノ池ト云アリ三方ヨリ山ノ裾出合ヒテ
消氷落合ソノ形ノ巴ノ字ニ似タリモツトモ影勝ノ地ナリ

上長房村附駒木野宿 小佛宿

上長房村ハ郡ノ西南相州ノ界ニアリ横山庄ニ屬シテ甲州道中ノ宿驛ナリ江戸日本
橋ヨリ行程十二里村名ノ起リハ傳ヘス土人云當村古ハ上下ノ村ヲ通シテ一村ナリ
シトサレトソレモ古キコトニヤ正保ノ頃已ニ上長房町下長房町ト分ナテ高室喜三
郎カ御代官所ナリシ由シルセリ村ノ四境東ハ小佛川ニ限リテ河ヲヘタテ、向ヒハ
上柵田村ノ内河原宿ナリ南ハ高尾山ノ峯ヲ境トシ西ハ相州津久井縣ノ内千木良村
ノ峯ニツ、キ北ハ上下恩方元八王子ノ三村ニ接ス良ノ方ハ下長房村ナリ東西一里
十五町南北山ニカ、リテ二町ヨリ四五町ニ至ル民家ハ小名古名字ト云所ニ二十七
軒駒野木ノ内ニ二十七軒新井ニ二十六軒小名摺差ニ三十二軒小佛ニ二十八軒合セ
テ百三十五戸アリ以上ノ小名ト云モノ他ノ村ニ比スレハヤカテ一村トスヘキホト
ノ地ナリスヘテ民屋ハ道ノ左右ニ軒ヲ並ヘテタナツ、ケリ江戸ノ方ヨリハ横山宿
ヲ歷テ駒木野宿小佛宿ト次第ニ馬次アリ村内スヘテ高低山林多ク其中ニモ小佛ノ
方ハ高キ峠ニシテ小佛宿ヨリ峠ノ上マテハ凡十七町ホトモアルヘシ絶頂ニ民家四
五軒アリコノ所ハスナハチ武相ノ堺ナリ土性ハ眞土ニシテ畑七分田三分ナリ山林
ニハ松杉桑ノ類多シ御林五ヶ所一ハ字木下澤ニアリ是ハ雜木ノ林ナリ一ハ唐澤一
ハ大久保一ハシナシ澤一ハ榎澤ニアリ共ニ松ノ木タテリ又木下澤山トテ百姓持ノ



小佛宿圖



野木野關之圖

林アリ是ハ木下澤御林ノツ、キニテ雜木ノ林ナリ此ハ村民持ノ林八十餘ヶ所アリ皆ワツカハカリナル雜木ノ林ナリ又村民ノ餘業ハ炭ヲ燒キ薪ヲトリ鳥獸ヲトリテ生産ノ助トス寛文七年坪井次右衛門檢地セリ前ニ云如ク昔ヨリ御料所ニテ御代官カワルカワル支配シ今モ御代官小野田三郎右衛門カ支配ニ屬セリ

高札場小佛宿アリ

小名

小佛 街道ノ内村ノ西ナリ小佛ト云
摺差 小佛ヨリ又東ヘ
駒木野 新井ヨリ東
タ云此地ニ金南寺アリユヘヨコソナ
ンシト云テ略シテコナシト云ナルヘ
シ文字ハ假借ナリコノ唱慈根寺ナシ
コト唱フル類ナリ以上ノ小名ハ他

山川

小佛峠 甲州道中武相ノ境ニアリ峠ノ頂
ルナラシク或ハ云コノ地ノ大日堂本尊モ
トノ像ハ土中出現ノモノコトナリ
シカハ此地名オコリシトイフカ是ナ
リヤ古記録ニヨルニ永祿十二年武田信
玄小田原ヘ發向ノ時此道ニカヘリタ
レハ古ヨリ開ケタル大路ナルヘシ
景信山 小佛峠ヨリ乾ニ當リ七八町ヲ登
十四五間ノ平地アリ眺望甚タ景信
人ノ話ニ照八王子城ニ住セシ頃景信
アリトイフサレトソノ人ノ姓氏モツタ
スヘ

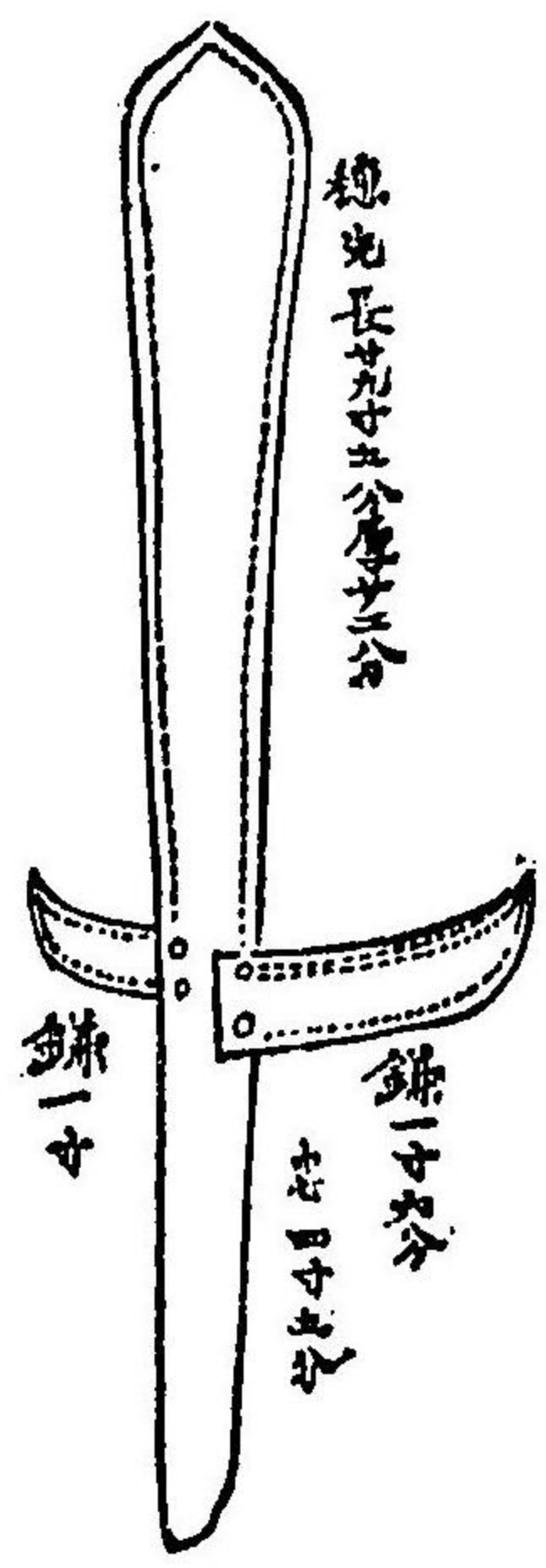
上ノ田坂 小佛ノ内ニ在
年中坂 街道ノ内ニ在
小佛川 小佛ノ谷々ヨリ涌出シテ木下澤

川ト合シ街道ノ南ウヲテ流レテ又小名古名字ヲ上村ヨリ出ル案内川ト合シトナリ下長房村ニ達ス下流ヲ淺川ト唱フ砂利川ナリ平常ノ深サ二三尺幅二間

木下澤川ノ村内木下澤ノ下ヨリ涌出シ屈曲シテ流ルハ凡二里ハカリ村

關梁

駒木野關 小名駒木野ニアリ初今ノ所ニ移セリト云ナリコノモト古ハ小佛ノ頂ニ四年制札ノ文ニシテ天正ノ初今ノ所ニ移セリト云ナリコノモト古ハ小佛ノ頂ニ院文書ノ内ニシテ佛谷關所越堅停止云云ノ文アリコレ又燈トスヘシ全ハ八代官ノ手代カハルカハルコト關ヲ守リヘシカ寛永十八年四月其後故アツテ一人減ラレ各屋敷地ヲ免除セラレテ世々此處ニ土着メテ今三人トナレリスヘテ御代官小野田



總光長サカサニ分厚サニ分

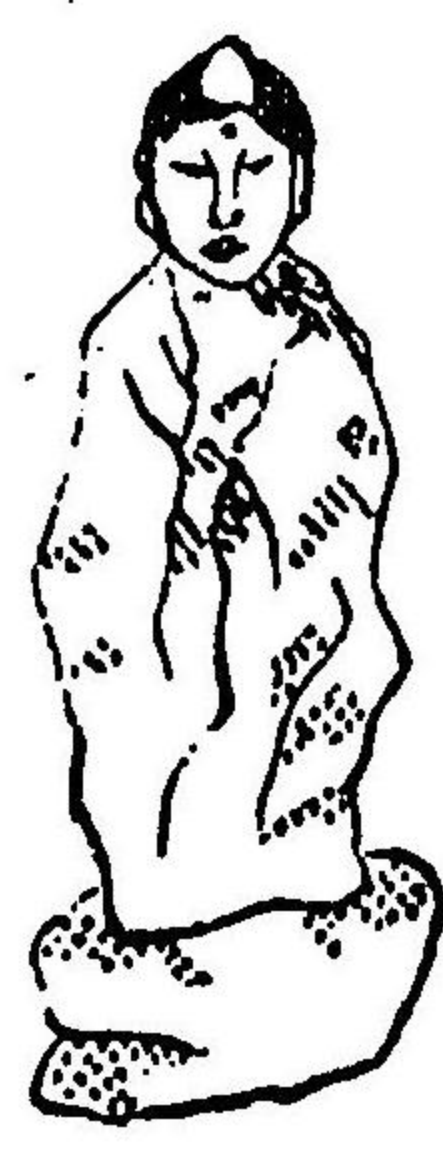
鎌一サ

三郎右衛門指麿セリト云テ御代官小野田門ノ中間ヨリ南ヲ東ニ御門ニケテ所向道コソコソナリ街 御關所高札所ニ在 成敗場 小名字橋ノ傍ニ成敗場ナルヘシ板橋 關所前ニ架ス御普請所ナリ木下澤橋 小名字橋ノ幅二間長六間甲州街道ノ架内小名字橋 甲州街道ノ内小名字ニアリ

水利

用水堰三ヶ所一ハ字辻ケ浦一ハ字橋ナ小佛川ヲセキイレン

神社



稻荷社 除地一畝一歩字森ノ下ニ

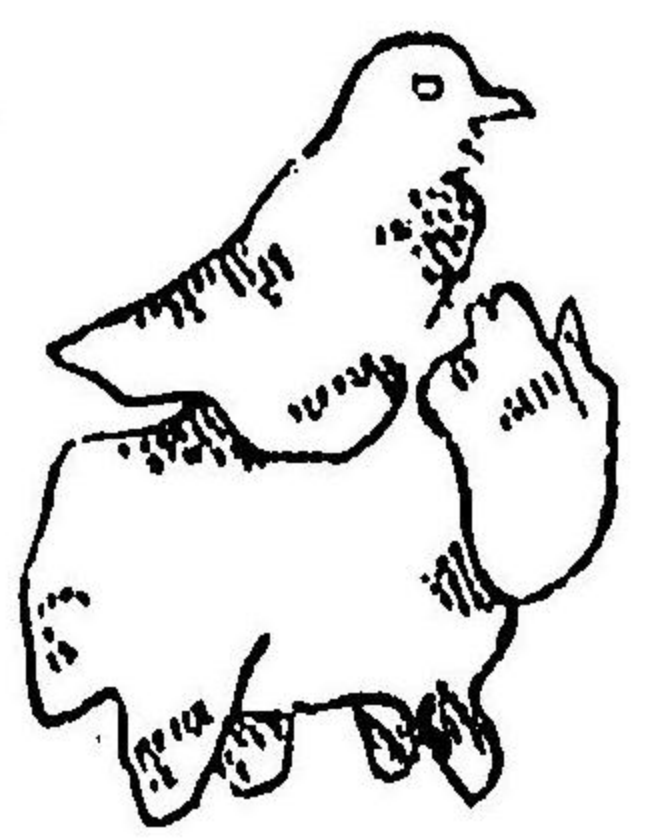
神明社 除地五畝字森ノ前

第六天社 除地二畝十歩下新井持

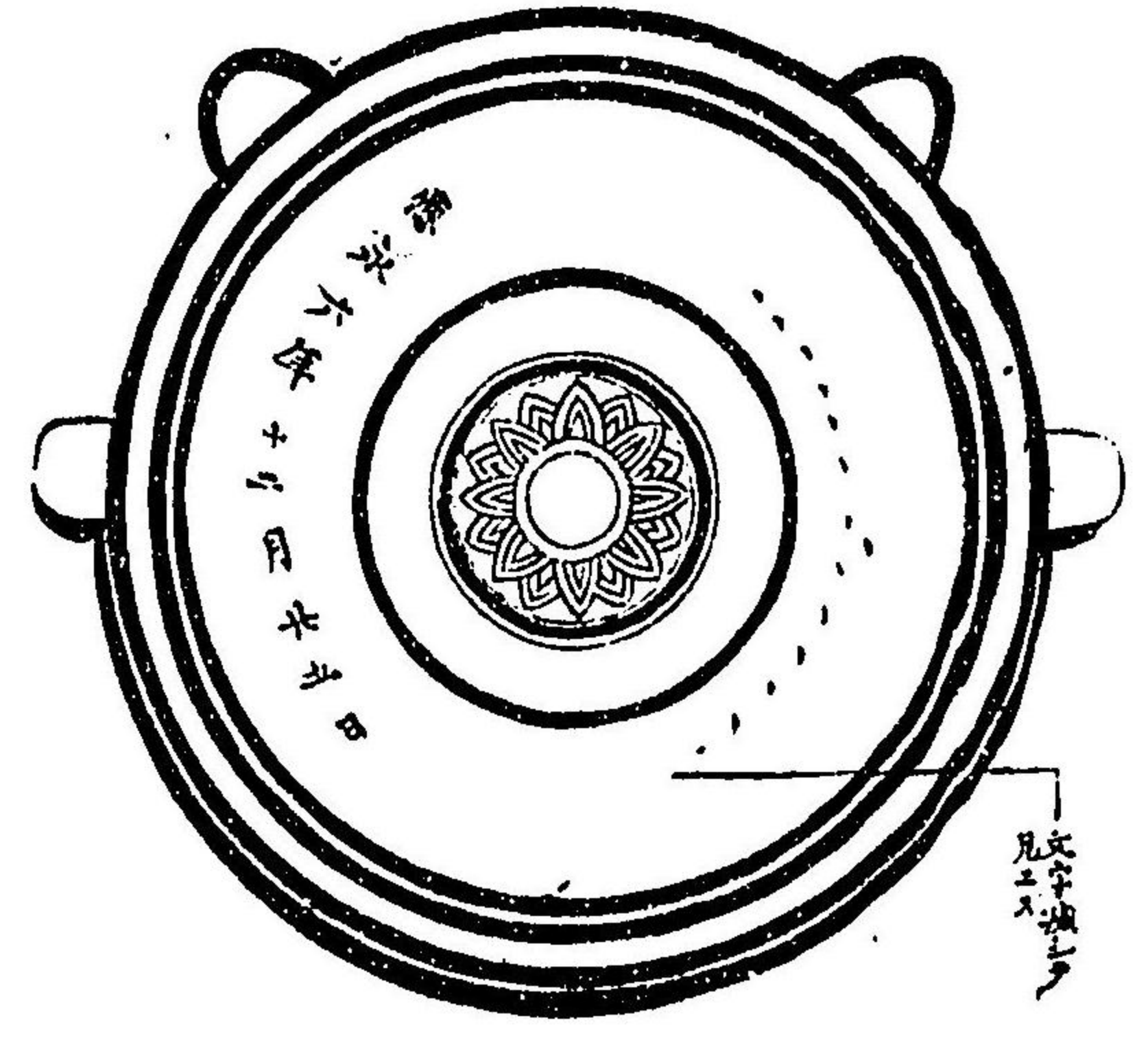
第六天社 除地一畝十歩中新井持

八幡社 除地一畝二十歩上井持

小山明神社 除地一畝六歩半三歩差ノ



熊野社 除地一畝五歩字西開ナリ



白岩權現社 除地三畝二十步小佛ノ代アリ
傳ヘス神體ハ銅像ニテ長一寸八分ハカ
リ本地佛聖觀音ノ像モ同ク銅像ナリ
長三寸許前ノ榮リテ此ノ二像ハ實曆ノ頃
村民某靈夢ヲ蒙リテ社ノ堀出セシ所
ナリトイヘリ今ノ時應永ノ寶物トナセ
中ヨリ得シトナシ今ニ當社ノ寶物トナセ
ノ其圖上

子ノ權現社 除地二畝小佛ノ内大日堂ノ
淺間社 除地四畝小佛ノ相州境ニアリ
體ハ木ノ立像長一尺五寸前ニ鳥居ヲ
ツ勤請ノ年歴ヲ傳ヘス安永年中野火ヲ
爲ニ燒亡セシユヘ古キ書物ハウシナヒ
アリト云富士牛玉ト稱スル木板アリ元
ハ社内ニモサメシカタル今當社ノ火災ニ
リテ其板モ半ハ燒タル今當社ノ火災ニ
取

トテ村民彌次兵衛彌兵衛ノ二人コテ預レリ又
レヲツ、ミタル紙コシルセル文アリ左ノコトシ

延暦十九年粟聚山炎燒改富士山

關東高間ヶ原者行基菩薩山居之邊也

富士淺間兩山遙拜有靈石也

后號富士野關復改小佛之關天台也

道命法師有山居跡同所安置山也

宮也即富士山牛王者行基菩薩之真也

筆也雖然度度依野火愁印刻也欲磨滅近頃大

檀那之某納小佛山依也

秘在寶篋者也

此記ハモトヨリ信用スヘキモノトモミエサレト山號及ヒ關
名ノ改リタルコトナトミユレハントモミエサレト山號及ヒ關

寺院

金南寺 境内除地四畝二十一歩外ニ除地一段二畝十四歩村ノ東ノ方ニアリ新義具
音木ノ坐像長四尺許行基菩薩ノ
作ト云ヘリ客殿八間半ニ七間

常林寺 除地二畝九畝二十六歩摺差ニアリ禪宗曹洞派上村高乘寺末白雲山本
尊釋迦木ノ立像長七寸ハカリ本
堂五間半ニ六間ニシテ南向ナリ

寶珠寺 除地二畝四畝十八歩小佛山ニアリ禪宗臨濟派同郡山田村廣園寺末小佛山
翁天閣承元年正月十二日寂ス本尊釋迦木ノ坐像長一尺二寸惠心ノ作ナリト云
地藏ノ像一軀アリ木ノ立身ニテ長三寸五分萬米上人作ト云ヘリ中年寺内ヨリ延
慶三年十二月何人ノ碑ナル古碑一基ヲ掘出セシ

不動院 除地十歩小佛ニアリ新義真言宗同郡下恩方村常福寺末瀧本山ト號ス開
山開基詳ナラス本尊不動木ノ立像長一尺八寸許本堂二間四方南向ナリ

大日堂 除地二十歩小佛コアリ一間半四方ニテ南向ナリ勸請ノ年歴ハ詳ナラサレ

堂チイトナミテ安置セシ後年當所コ引移セシナリト一説ニ當所小佛ノ地名ハ

全クコノ像ノ出現ヨリオコリナリト云ハ古キ世ノコトトハ見エタリサレト其

始出現セリコノ像ハ何ノ頃カ失ナヘリト云ハ今ハソノ摸刻ノ像

ヲ安置セリコノ像ハ以下ノ堂ハ何レモ村民ノ進退スル所ナリ

觀音堂 除地二畝十歩字開口ニアリ堂ハ二間四方觀

阿彌陀堂 除地六畝九歩小佛コアリ堂ハ

十王堂 駒木野

下長房村 下長房村ハ上長房村ノ東ニツケリ横山庄ニテ郷名ハ傳ヘス江戸日本橋ヨリ行程

十二里村ノ廣サ東西一里ハカリ南北十四五町東ハ新横山村ノ飛地ニマシハリ南ハ

淺川ニ限リテ上柵田散田ノ二村ニ隣リ西ハト長房村北ハ横川元八王子ノ兩村ノ御

林山ノ峰通リテ境トス民家百六軒所々ニ散住ス村内山林多ク水田ハ陸田ニ比スレ

ハ少シ土性ハ野土眞土打マシレリ農業ノイトマニハ家々蠶桑ノ利アリ檢地ハ寛文

七年坪井次右衛門ノ後新墾ノ檢地ハ享保十八年寛播磨守ナリト云村内御林三ヶ

所アリ一ハ字船田一ハ字白山一ハ字河原ニアリ共ニ松ノ林ナリ村内甲州ヘノ街道

アリ西ノ方上長房村ヨリ入り東ノ方新横山村ニ達スコノ外字船田ト云所ニ古録倉

道也ト云一條ノ往來アリ今ハ道ノ幅セハマリテ僅ニ六尺ハカリナリ此村御入國

ノ頃ヨリ御料所ニテ正保ノコロハ御代官高室喜三郎カ支配セシヨシモノニミエタ

リ其後シハシハ御代官ノ遷替アリテ今ハ小野田三郎右衛門支配セリ

高札場 村ノ中程

小名 中郷 村ノ中程ナリコハ鍛冶屋敷ト唱ヘテ古ヨリ三軒在家村ノ東北ノ

方ノ東北ノ 水崎 村ノ東 十々里 村ノ西南ノアリ十々里合戦 船田

山川 土人此邊ヲ吉田川ト云又水無川トモ呼ヘリ石川ナリ村内小名中郷ヨリ下流

間五六 淺川 土人此邊ヲ吉田川ト云又水無川トモ呼ヘリ石川ナリ村内小名中郷ヨリ下流

谷川 渠ナリサレトコレヲ用水トナス

隱穴 字菊谷畑ノ内ニアリ入口ノ徑リハ四五尺由來ハツマヒヲカナラス

神社 白山社 村ノ西ニ寄リテアリ御朱印十四石餘ヲ附セラル村内ノ鎮守ナリ一ノ鳥居

階三十二級ヲ登リテ別當寺アリソコヨリ又石階二十級ヲ登リテ又磯巖ヲ攀登ルコ

ト三町ハカリ徑ノ左右老樹多ク生茂レリソレヨリ數百歩ノ平地アリテ社前ヨイ

タル本社ハ一間ニ二間上屋三間ニ四間拜殿一間半ニ二間前ニ木ノ鳥居アリス
テ南向ナリ神體ハ木ノ立身ニテ長一尺七寸殊勝ナル古像ナリ本地十一面觀音
ハ青石ノ碑面ニ彫出セシ像ナリ側ニ文永十二年卯月八日阿闍梨禪仁ノ頃鈴木
アノレハ古キ勸請ナルコトモ推テ知ラル又古キ棟札アリ是ニヨレハ明應ノ頃鈴木
大藏入道ナルモノ修理セリ加ヘ天文ニ至リテ大
石源左衛門純周又造營セリ其棟札左ニ至リテ大
奥院登本社ヨリ一町餘也

別當々々

上尊明應七年庚午歲二月吉日 鈴木大藏入道

大工 小松六郎次郎

文字 ミエカク

敬禮

于時享祿三年

別當 藤原 大工

奉造營當社白山妙理大權現者仍別當權大僧都
大阿闍梨珍慶列殊別而

關東武藏國多西郡長房安樂寺別當天峰修行
行者智泉阿闍梨

同大工小松番匠秋間六郎次郎藤原氏重秀
于時天文廿二年甚寒吉日

末社六社 本社ノ後ニアリ 別當安樂寺 新義真言宗高尾山藥王院ノ末良廣山ト號
二尺五寸許客殿 神樂殿 客殿ノ前ニアリ 天滿宮 寺後ニアリ 鐘樓 客殿ノ後ニアリ
五間ニ八間ナリ 鐘造ヒ餘延寶五年

日光權現社 除地一段十三步村ノ中程ニアリ小社ニテ上屋ヲタツ勸請ノ年ハ詳
コノ説大ニアヤマレリ元和ノ後ノコトナルハ論ナシサレト正三ハ明曆元ノ年ニ卒
セシ人ナレハツノ年代ハテシテハ社地ニ推ノ大木七八椽アリ明祭元ノ年ニ卒
十七日寶末社 天滿宮 社西向本
藏寺ノ持

茂澤明神社 除地五段四畝村ノ中程ニアリ小社ニテ上屋アリ前
御嶽社 除地一段六畝村ノ中央ニアリ小祠ニテ上屋アリ前
御嶽社 除地九段十八歩小名鳥取ニアリモ百姓持

御嶽社 除地九段十八歩小名鳥取ニアリモ百姓持

御嶽社 除地九段十八歩小名鳥取ニアリモ百姓持

山王社 除地一段五畝十六步畑二反八畝廿

山王社 除地九畝六步小名船田

寺院

長泉寺 境內御朱印地内一萬六千二百坪程小名中郷ユアリ禪宗臨濟派同郡山田村

慈眼寺 除地四段六畝十四步小名三軒在家ユアリ禪宗曹洞派上栲田村高樂寺末福

龍泉寺 除地七段四畝二十步小名水崎ニアリ淨土宗瀧山大善寺末桃源山ト號ス開

寶藏寺 除地六段九畝廿四步小名中郷ユアリ新義其首宗高尾山藥王院末日光山

阿難堂 本堂ノ西ノ方ニアリ二間四方

東照寺 除地四段四畝八步小名柳臥ニアリ禪宗曹洞派上栲田村高樂寺ノ末長房山

清心菴 除地六畝二十步小名十々里ユアリ三間半ユ二間

堅叔菴 除地二畝十五步小名中郷ユアリ萬松山ト號ス菴ハ六間半ユ三間南向本尊

仰惟石平道人者。天正七年己卯生三州賀茂郡定助邑。父鈴木重次。

母栗生氏女。俗姓穗積號鈴木九大夫。諱正三奉事東照。台君雙公。

關原大坂于兩陣先驅軍穀日戰功超群也。春秋四十載之後。爲入道。

而法名則稱正然道人。自然通佛意而著七部書典。云云

地藏堂 除地堂地許小名船田ニアリ九

大名屋舖蹟 小名船田ノ御林ノ内ユアリ二三町四方ノ所ナリ其内ユの場ナトヨヘ

出羽山 近藤出羽守カ舊跡トテアリ又彼カ開基ノ寺ナトモアレハ此處モ出羽守カ

勘解由屋舖 小名鳥取ユアリ小田原北條家ノ家人中山

十々里原古戰場 或ハ高取トモカケリ村ノ西南ナリコノ地頗ル要害ノ所ナレハ甲

勤ノトキ信玄ハ碓氷峠ヨリ出馬セリ郡内ノ小山田兵衛手勢二百騎雜兵トモ九百

許ノ人数ニテ小佛峠ヲコヘテオシキタリケルコト氏照ノ家人布施出羽橫地監物等

新編武藏風土記卷之十五

二十三



下長房村

新編武藏風土記稿卷之一百四目錄

多磨郡之十六

由井領

元八王子村

上恩方村

寺方村

下恩方村

當所へ出張野村源兵衛ナト云照ノ
侍金指平左衛門野村源兵衛ナト云照ノ
ヲハルコノ地ナリ今ノ跡ハ大古
變ノ頃ハカケテ積穀樹ナト植マハシ
地ノ頃ハカケテ積穀樹ナト植マハシ
要害ノ設アリシ積穀樹ナト植マハシ
トモイヘリ

塚

首塚三二小名中郷ノ東北間ニアリ其ハ
トソノ二ハ又頗ル小ナリ何モノ首
理ミクニト云コトハ傳ヘサレト忍クハ
永祿十二年討死セシ者ノ
首ヲ理ミ塚ナレハサレト其並ヒシマ
塚七首人ハ傳ヘサレト其並ヒシマ
カコモ旗塚ナリ思
ハコモ旗塚ナリ思
供養塚コレモ少シク北ノ方ニアリ三
椽アリ山來ハカリノ塚ナリ椽上ニ
詳ナラス

新編武藏風土記稿卷之一百三終

新編武藏風土記稿卷之一百四

多磨郡之十六

由井領

元八王子村

元八王子村ハ古神宮寺村ト云ユレハ延喜ノ頃華嚴菩薩此地ヘ八王子觀現ヲ勸請シ別當寺ヲ起シテ神護寺ト號スコノ寺號ヲ或ハ神宮寺トモカキツイニ村名トセリト云後神護寺ハ廢シケルニタママ村中ノ西明寺ヲ慈根山ト號スルニヨリ又假借シテ後ニハ慈根寺トカケリ然ルニ天正ノ初北條陸奥守氏照瀧山ヨリ城ヲ移シアリツル八王子權現ヲ鎮守トシテソノ城ヲ八王子ノ城ト號シケル故ツイニ地名トナリ八王子村トヨヘリコレヨリシゴジノ名ハ失ケリ御入國ノ後千人組ノトモカラチコノ地ニ置レシカ文祿二年ノ春今ノ横山ノ地ニ移サレテカノ地ヘソノ地名チウツシ八王子ト號スルニヨリコ、ニハ元ノ字チ加ヘテ唱チワカテリサレト土人ハ今モ常ニ元八王子トハイハスシテ慈根寺ト呼ヘルハ古ノ唱チ失ハサルナリ其地ハ郡ノ西ノ方ニアリテ江戸日本橋ヨリ十三里ノ行程ナリ東ハ横川村ニ隣リ南ヨリ西ハ上下長房村ニチスヘテ山中ニ界アリ北モマタ山ヲ越テ下恩方二分方ノ二村ナリ東西一里

半南北五六町南西北ハスヘテ山ナリ故ニ水田ハワツカニアリ土性ハ眞土野土ナリ
 寛文七年三月坪井次右衛門檢地ス古ヨリ御料所ニシテ正保ノ頃ハ高室喜三郎御代
 官所ナリソレヨリコノカタ伊奈半十郎カ家ニテ支配セシカ今ハ小野田三郎右衛門
 カ支配所ナリ當所北條家在城ノコロヨリツイテ千人組在住ノトキハニキハヘル地
 ナリシカ千人組横山ヘウツリシ時城下ノ商人等モ從テカシユヘウツリシニヨリ今
 ハ戸數モ昔ニ減シテ二百三十軒アリ

高札場小名八幡宿アリ

小名

龍原東ノ方 八幡宿同邊 中井中程 峰ヶ谷北ノ方 道場根コレモ同
 原ヶ谷八幡ノ下 鍛冶屋村コレモ同 河原ヶ谷南ノ方 鳥居場八幡ノ 内出
中程ヨリ少ク 前村コレモ八幡 五靈谷中宿ノ南 中宿西ノ方 梶原谷中
北ノ方ナリ 方ナリ

山川

城山下ノ古跡 出セリ

左谷

大嵐山

南谷

五靈谷

向新城

祭神山以上ノ山々官

川水無川 御林ナリ 永上ナリ 川幅二三間 城山

神社

八幡社小名八幡宿 鎮守アリ 社領十石ノ御朱印ヲ賜ハルコレ天正十九年十一月ナリ
 カ岡ノ八幡ヲコハコ勸請セシナリト云今ニソノ時ノ棟札存セリ其文ハ下ノコノ残
 ツレヨリ子孫モ連綿タリト見ユ且此神社ヲ尊奉セシカハ造營等アリテ棟札モ残
 レリ本社二間コ三間南向拜殿マタハスヘテ左ノ杉ノ古木茂リタリニシテ鳥居ヲタツ
 両柱ノ間二間茲ヨリ拜殿マタハスヘテ左ノ杉ノ古木茂リタリニシテ鳥居ヲタツ
 十五日古棟札
 文左ニノセリ

二尺一寸

奉勸請相州鶴岡 當社別當覺正

奉勸請八幡宮大檀那梶原平三景時

建久二辛亥年六月十五日 大工左衛門五郎

寸 四

當社別當東光坊聖宗

奉造營八幡宮大檀那梶原修理亮入道賢

文明十七年乙巳十月十六日

六七字消
寸四

裏ニ筆者民部卿永海書畢

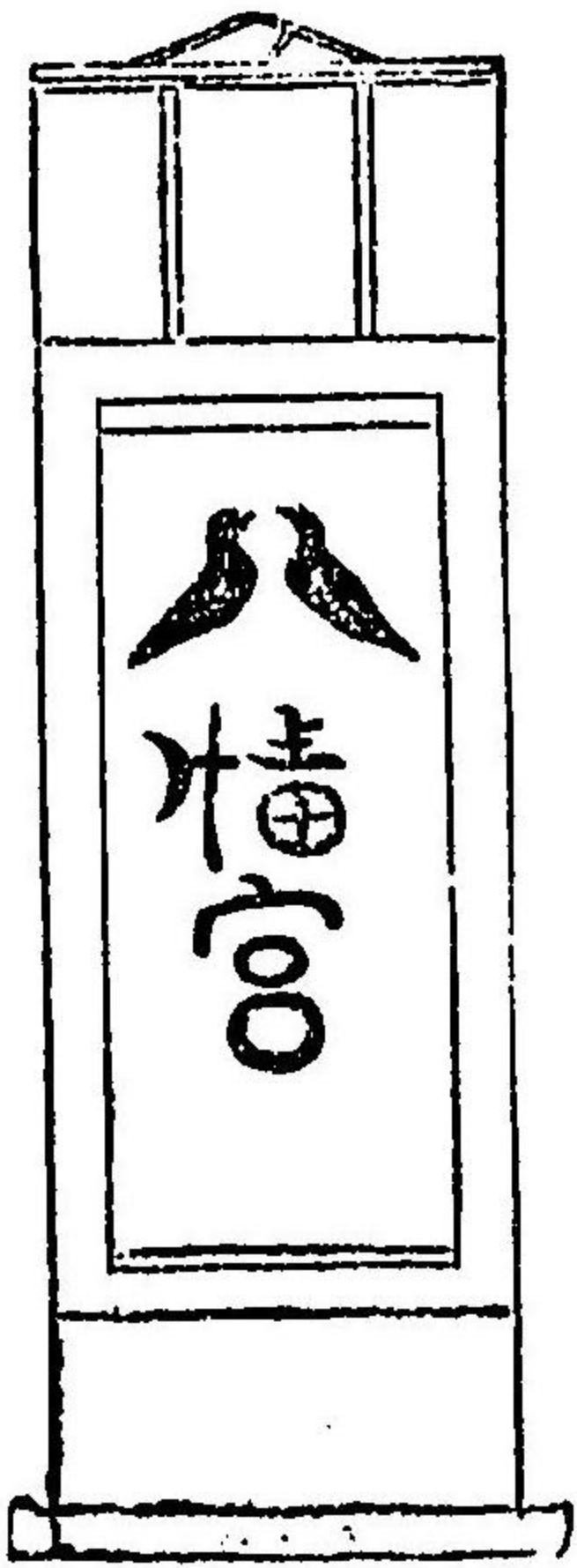
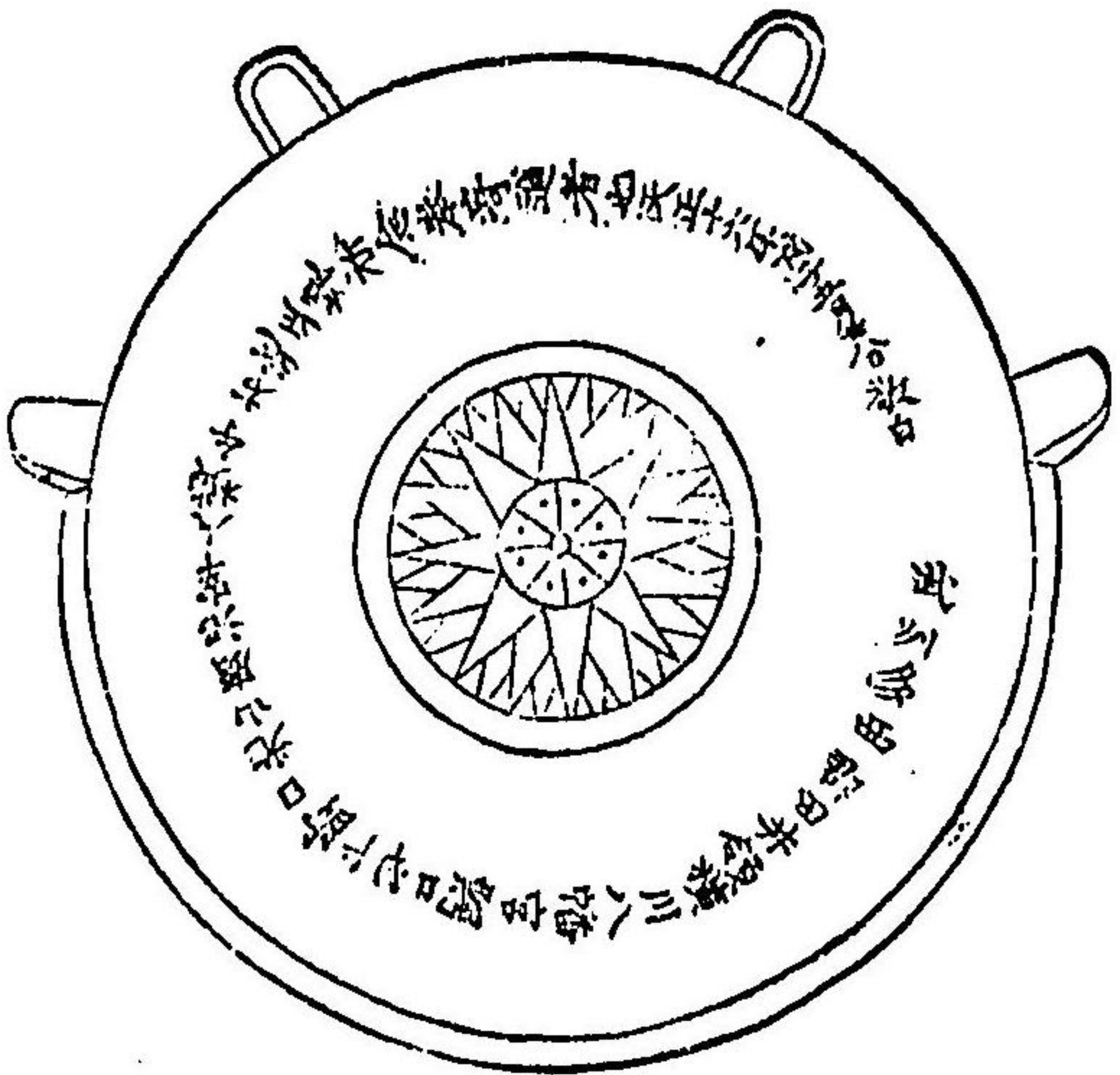
當社別當因幡律師宗濟 大工左衛門五郎

奉造營八幡宮大檀那梶原修理亮家景

時寬正龍集癸未十月廿又一日

裏ニ勸進沙門東福權僧都聖範

又掛ル所ノ鯛口ハ天正十六年コ作リシモノナリシノ國上ノコトモトコトノ刻文ハ
 横川八幡宮ト云トキハ古ヘコノ地横川村ノ内ニ屬セシカ又今モ隣村横川村ニハ
 橋社アレハカノ社ノ鯛口チ戰國ノマキ 鐘樓拜殿ノ東ニアリ九尺四方ニ
 レコトハヘウツセモ鯛口ハカラス 鐘樓拜殿ノ東ニアリ九尺四方ニ
 杉二根アリ社ノ脇ニ表ノ方ニハ巳ニ枯槁セリサレトモ周リモ有ヘシ 阿彌陀堂ニ
 四尺五寸許ナリ棟ノハ表ノ方ニアリコトハ二丈四尺廻リモ有ヘシ 阿彌陀堂ニ
 ナリ別ニ除地三石ヲ附ラル 四座合殿社 天本社ノ西ノ方ニアリ天満宮牛頭 別當



西明寺 新義具言宗寺方村實生寺ノ末寺
 ト號スルコトモ當寺ヨリ起ルナリト
 云開山大僧都元果ハ正曆三年二月入寂
 スト過去帳ニノセミユタレハ至テ古キ
 寺ナリ又寺傳ニ治承二年二月廿七日草
 創ト云ルハ中興セシナルニ其僧ノ名
 ハ傳ヘスト云本堂五間ニ七間南向ナリ
 ナ安置ス 寺寶 藥師像一軀 厨子ニ納
 分北條氏直寄進ニシテ長七寸五 彌陀畫
 像一軸 宋徽宗帝ノ筆ナリ 弘法大師筆
 一軸 八幡宮ノ三ノ字ナリ 其字様上ニ載ス
 八王子權現社 除地島六段ニ麓ニ華嚴ノ中
 谷ト云所アリ相傳フ邊深澤山ノ麓ニ秋華
 嚴菩薩妙行和尚ノ遺澤山ノ麓ニ秋華
 王八王子權現ノ入テ勤行ニシテ同十六年頭三
 月十五日當社ヲ勤請シテ永シクノ地ノ鎮
 守トシテ寺ヲ起シテ勤請シテ永シクノ地ノ鎮
 號通シテ邊ノ地名トナリカキシト後ツヒ
 照ルト云コノ後天正六年北條陸奥守氏
 城ノ山ノ守城ヲコノ後天正六年北條陸奥守氏
 城ノ山ノ守城ヲコノ後天正六年北條陸奥守氏

僅今泉ノ人カヲノミ建テ廢セサルハカリノアリサマナリシカ年ヘテ後元祿年中勢
州今泉ノ人カヲノミ建テ廢セサルハカリノアリサマナリシカ年ヘテ後元祿年中勢
前立セモ今ノ社ナリト云本社ハ六尺四方モナリテ猿墓無心ノ南ニアリ相傳フ
イカナル故ニカ一匹ノ猿アリコトモ西明寺ノモナリテ猿墓無心ノ南ニアリ相傳フ
カリシケル一日來テサリシヨリ日々來リテ消息ナカリケレハ無心イフカリト山
リシ石ニケルニウレテ死テ有テカケハレミテ埋ミシマロトソ

山王社 除地一段ナル社ナリ西光院ノ持

稻荷社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

神明社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

稻荷社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

山王社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

荒神社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

稻荷社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

御靈社 除地一段ナル社ナリ西明寺ノ持

寺ノ持ナリ 庚申堂 六尺四方ナリ

西念寺 小名堂場根ニアリ寺領三石ノ御朱印ヲ賜ハル境內ハ則寺領ノ草創スル所

南光院 除地六段長二畝二十歩小名堂場根ニアリ正觀音ヲ本尊トス本堂ハ五間六間

妙觀寺 除地水田八畝八歩陸田四畝八歩小名島居場コアリコトモ天文三年寂セリ本

宗關寺 小名中宿ノ西ニアリ禪宗曹洞派下恩方村心源院末ナリ朝遊山ト號ス寺領

建立古昔ハ今ノ所ヨリ三町ハカリ開關ニシテ朱雀院ノ勅願所ナリ昔コト星霜ヲ

寺ト云古刹アリコレハ華嚴菩薩ノ開關ニシテ朱雀院ノ勅願所ナリ昔コト星霜ヲ

歴ヲ衰廢セリ佛國普照禪師ヲ開關ニシテ朱雀院ノ勅願所ナリ昔コト星霜ヲ

ル再興セテ佛國普照禪師ヲ開關ニシテ朱雀院ノ勅願所ナリ昔コト星霜ヲ

コシテ天正十八年慈眼寺城没落ノナリフシ由云傳フカハル繁榮モツツガノホト

ノ跡ヘ別ニ寺ヲ建シ見ユ當寺ニ傳ハレハ唐僧トモ長一尺四寸安阿彌ノ作ナ

筆ニテ堂九間半ニ七間ヲ宗關寺ノ三大字ヲ扁ス唐僧トモ長一尺四寸安阿彌ノ作ナ

照ノ法證ニシレニヨリ寺號宗關ハ氏 觀音堂 境內物道ニ朝遊山ト號ス氏照

七寸ナルツタス惠心僧都ノ作ナリトイヒ傳フ 扁ス黃葉山照室ノ守本尊ノ寺寶 正觀音

一 驅患心守本尊ノ作ナリトイヒ傳フ 扁ス黃葉山照室ノ守本尊ノ寺寶 正觀音

略ニ左ノ文ノ 扁ス黃葉山照室ノ守本尊ノ寺寶 正觀音

古記録 寛永年中悅隨翁ト山ノテ詳ニシルセリ

寺寶 正觀音

寺寶 正觀音

寺寶 正觀音

寺寶 正觀音

寺寶 正觀音

新編武蔵風土記 四

佛國普照禪師卜山大和尚

第二世 碧山瑞泉禪師。姓源氏。武州由井城主大石左金吾江守定久

英巖居士道俊。自稱心子木曾義仲後裔。母帶刀先生藤常治之女。月

嶂大姊慧輪定光院殿也。少敏捷。尤精弓馬。常見定久與天叟傑山諸

老。玄譚酬唱。慕宗門之猶宿習。尋常好跌坐。一日庭際習射。忽猛省。即

擲弓矢曰。此世間術耳。何如求無上法乎。咸罔不疑怪。師密啓意。堅求

出家。定久知其緣熟。投心源玉田和尚。鬢度時二十五歲也。執侍之十

年。亦遊諸方。歷參自山于乾晨。一種于永林。既飽。再回心源。時佛國爲

鑑院。師因以從前所得。述之。咸蒙許可矣。永祿甲子。入郡之牛頭山。乃

牛頭天王八王子鎮座靈蹤。而

朱雀皇帝勅賜之所也。有廢寺曰神護。曾尊嚴菩薩創之。師愛其幽勝。

居之未幾。道俗歸嚮。戶履日滿。太守北條氏照。命其臣勘解由。修治殿

堂。師革教爲禪。曰宗關神護禪寺。有詔賜額。既而請佛國禪師爲第一

世。自獲助化。天正元年九月。大守勸請。編席宗關。上堂脫體現成。築書

碓。著鳥行空魚遊水。咸音已前增一毫也。不得咸音已後減一毫也。不

得所以道衆賢大車。皆本然之物。長者大宅。即固有之家。雖然。恁麼只

有個木。上座掉頭不肯還。有委悉也。無卓杖曰。謹白參玄人。光陰勿虛

度。居九載。上聞道聲。敕號定慧圓明禪師。晚退休華嚴院。十四年丙

戌二月二十一日坐脫。壽六十六。臘四十二。

透嶽宗關居士者。北條氏照也。資性勇敢。兼信佛乘。初爲大石氏定久

繼嗣。稱由井源三。弘治初年爲奧州大守。據武之高築城。永祿五年移

居八王子城。先是到心源訪佛國。居鑑院。咨問道要。國付以狗子話。從

此極力參究。一日忽有省。急趨陳禮。國曰。士何所見而作禮。士曰。今日

始不疑和尚舌頭。國曰。作麼生。是不疑底。士曰。直透萬里關。不留青霄

裏。國曰。已被趙州捉敗了也。士便拂袖而出。國喚回付衣法。賜今號。仍

執弟子禮。爲外護。九年丙寅起牛頭廢迎佛國開法。八王子城內。構朝

遊軒爲宴坐之所。招諸名宿。一味心醉禪談。天正十八年庚寅。秀吉公

大兵圍小田原。士往援之。逼不能免。書辭世偈云。寶匣未闢。截斷虛空。

電卷雷走。編界沒蹤。乃命刀逝。是年七月十一日也。春秋四十九。

之傳者單取於牛頭室中所秘在之古記。敢不加私意也。思之。
第三世 舜宗堯靜禪師。野州大川氏佛國師為師。後至山下與定光院而居。天正九年三月受 詔。蒞吉領次補神護弘闡宗要。又往遠之龍門山築廬以休。十八年庚寅八月三日示寂。壽六十一。

第四世 訖州達翁禪師。武州產。乃片倉城主大炊允常貞安藤氏子。了髻而侍佛國。十四祝髮。天正十五年應越山之招。移牛頭。十八年寺罹兵燹。於是師移作山東莊園。再造殿宇。畧復舊觀。十九年退庵江府。自以大隱稱焉。寬永十五年戊寅孟冬初五示寂。

月宵峰暉窓祐晃尼庵主。諱阿豐。出武州。源姓大石氏。牛頭定慧禪師之妹也。早為氏照之室。而少染欲留心真乘。外作別殿常請佛國。一種桂巖諸知識稟教。在深閨習坐禪。曾疑父母未生前之語。久泊豐臣公陷州郡。親族逃散。偕侍輩數人。遁抵秩父郡。語侍輩曰。吾不有如是窘苦。爭得遂宿志。因除髮為尼。身心增精勤。一夜聞風雨吹倒扉。豁然徹個面目。謁佛國於牛頭。陳所解國可之辭。至邑之月宵峰。在八王子邑東南之隅結茅自稱庵主。一日掃地次徹禪客到。便問作家臨機如何相見。尼曰。

破了也。徹曰。作麼生。尼拈帚子打。一僧到。茶話之次。尼舉盞曰。是死句。是活句。僧無對。尼乃取鐵火筋曰。衲子氣脈何處在。便打趁出。一庵破壞。雨漏風侵。無意興作。舊臣等議舉其廢。尼叱之曰。夢宅何管改造耶。遂不從。文祿三年八月二十三日坐脫。于此壽四十八。曾利心道人寫尼公肖像。需贊。建長天叟禪師題曰。身現婦女。心叶天真。窮未山頂。轉鐵磨輪。艸菴。磐結無蹤跡。處。又那屯。

中山氏勘解由。少仕北條氏照家。武之八王子城裏。天資勇英。志慕宗門。氏照嘗重與牛頭山寺。請佛國為住持。勘解由自役土木。竭力允勤矣。因就求要路。國舉不思善惡話授之。注心研究。雖軍務之暇。不馳數呈見解。國不許。博陸公秀吉討北條門族。圍相陽小田原城。氏照引兵援之。中山留守八王子。一日出戰。會敵箭當額。忽然猛省。即遁重圍入寺。見國和尚。述所悟。國點首。便付以金襴安陀衣。頂禮懸鎧上。徑歸城。召川越某氏。出累代諸系法衣。囑之曰。汝將箇物贈我子孫。吾以頭為若德。便劈腹滴血書偈曰。提起吹毛劍。凡聖齊潛蹤。清風拂明月。明月拂清風。安然逝。天正十八年六月廿三日也。

正親町院御繪旨之寫

牛頭山寺者世依爲

敕願上刹特有旨賜

法紹隆宜奉祈

皇家再興者

天氣如此仍執達如件

永祿十二年六月廿四日 右大辨在判

佛國普照禪師之室

氏照禁制證文之寫

禁制

牛頭山寺界內東限橫地堤并大木戶口南限勘解由橋大道西限
篠原小路泊華嚴谷之峰連北限大澤塘左右之峰

右當寺者

朱雀帝敕願之上刹而

今上特賜繪旨開山乃華嚴菩薩世紹隆三寶祈國家再興牛頭八王

子神護之道場也自今已後於是境固禁止殺害生類斬伐草木等之
致諸狼藉輩若違此旨則不問貴賤可處嚴科仍爲後證制狀如件

元龜二年辛未六月十五日

氏照判

都寺華嚴院

定慧圓明禪師碧山和尚

開山華嚴院菩薩妙行和尚記并序

原夫華嚴菩薩本朝弘教之大法師而福慧德臘巍巍卓冠乎當時
唯恨行業家譜之不傳于世也是故元亨之間關師撰釋書以不免
踈脫豈無遺憾哉今春余訪故舊武野偶詣牛頭山八王子之神廟
因遊神護寺神護者乃師之棠陰也寺主出迎懇懇留令一宿入夜
對談數泊師事則寺主乞口之行由不忍峻拒探古篋尋斷簡彼此
考勘僅得履歷之彷彿也仍不揣愚昧筆記大槩以應其需云

師諱妙行姓大伴氏洛陽人幼歲離家年十三從貞觀寺真雅僧正得
度博究經論學法華于元慶寺遍昭三論于元興寺願曉又謁東大寺
玄榮法師稟華嚴益得與旨禪唱義理獨步當時從此專好修練名山

靈幅。足迹遍印。延喜十三年癸酉秋遊武州。偶適深澤山中。結茅。今之華嚴谷也。未幾有志之士繼繼相集。師厭煩冗。深入山頂。巖房其地也。峰巒秀異。塵緣迥絕。俄至夜闌。風雷動山。種種妖怪爲群作隊。師乃端坐移時。倏然即沒。厥後月下誦經。大蛇自巖上降。周匝而望師前。少頃就眠。師以如意打頭曰。汝須醒覺。蛇忽不見。朝有神人領八童子出來曰。弟子眷屬今服德化。願大士止此行道。我隨護法師。問其姓名。則曰。吾是牛頭天王。相伴者八王子也。又問何時住此山。答吾住山海變見三。師諾而神隱形矣。既而學徒尋影追臻。相與守枯淡。木食澗飲。純修道業。是以贈禮道俗。如百川漸于海。十六年丙子暮春十有五。師相天王嶺并八王峰。廼建祠祭焉。而構華嚴院。自開講席。翌年山南深澤之源。地平泉清處。創一字名曰。蓮華藏院。自刻毘盧遮那并知識五十三尊等安之側。造大藏令。諸徒繕寫。又建塔於本堂西嶺。置百二十部華嚴經。天慶二年己亥秋。

朱雀帝開師道譽。遠降鳳詔慰問。特賜食邑并扁額。改牛頭山神護寺。又舉爲官寺。於是弟子行海智定妙忍等。相繼世演其宗。明德初年律

師淨純居之。郡之片倉城主備中守大江師親篤崇之。文明中。法師弘圓學台教。雖然廢頽已極矣。永祿之初。太守氏照就此山築八王子城。七年與嗣法小師泉長老胥議。欽爲檀護。移寺基於城之東北。鼎新伽藍。九年春三月望。請老僧任開法第一世。時平大藩主氏康。迎吾受戒特奏。闕降紫衣佛國普照之號。兼爲宗關神護寺。又氏照分國中相並心源領僧綱。然則賦古今國家崇敬地。而非加私意也。是故雖開法以來。實爲心源之門流。至今數代不問境之興衰。內外回首出門流寺院之例。後來悉知之。相互保護。就中勿論勢利。爲大方見指目也。且川口龍正橫山信松泊天正亂後。老僧隨緣寓齋。良泉雲龍與嶽寶珠寺院菴。共屬神護世輔弼焉。

又曰。兩山主人。護持一派。一寺院荷負兩山非法。是整如法。是護切須。傳靈山少林曹谿洞山永平。總持佛陀石雲之嚴風於盡未來際之志願尤堅固矣。

上來件件專折約佛祖垂範。永鎮于心源宗關之兩室。內用遺兒孫。即是老僧真身也。奉重莫怠。違者非吾徒。囑囑囑。

維時大歲寬永乙丑中夏念日。長年一百十九關。武閑道人悅隨翁卜
山手書。

此外ニモ古書一軸アレトモ文字磨滅シテヨムヘ
カラスト山ノ位牌アリ背面ニ記スル所左ノ如ク

師。本郡奈良原邑農族。年十三出家於山田。十四禮寂巖守法禪師。
祝髮受戒。遍參洞濟名師。緣契心源。玉田存麟和尚。永祿甲子領主
北條氏照。與碧山泉公胥議。重移華嚴菩薩舊趾於本山東北之隅。
爲禪窟。丙寅三月望日。請師開法。平大藩主氏康公受大戒。奏關賜
紫衣并扁額等。天正改元遷心源。十七年蒞石雲。翌年正月退歸。茲
山。後寺罹兵燹。隨緣化導。開寺院六。日寶珠暉窓。與嶽雲龍良泉信
松。寬永三年丙寅十月廿六日。寺中夜書偈。卒于當寺瑞聖室。壽百
二十。臘百有七。奉全身藏于本所塔。曰真際。嗣法十七人。受業并得
戒弟子。凡三萬七千餘人。

法衣 金剛ニテ製セリ慈眼寺落城ノトキ中山勘解由左衛門家範手負テ來リ。住
月廿八日舜悅首 鐘樓 本堂ノ前ニアリ二間四方鐘ノ圓徑二尺五寸ハカリ
座トセルセリ 宗關寺新鑄鐘銘并叙

蓋開鐘者爲法海之權衡。亦祇林之柱石。鎗鋪延催。遍于大千。幽而明
聞而悟。至於月夜風傳。曉天雲和。不自明而明矣。不自悟而悟矣。夫識
從聲生。猶聲而聞。聞則同聲而有聲。相希乎。微乎。惟聖人而則之。乃破
幽暗之智珠。實燭三途之慧炬者也。爰據武藏國多麻郡八王子神宮
寺村。朝遊山宗關寺開山舜悅和尚。始創伏冀爲北條氏照公。追謚青
霄院透岳宗關大居士之所建。爾于茲已已歲當百年之期。今屆中山
氏從五位下前備前守道軒信治。竭誠鑄造洪鐘一。專伸奉薦。北條
氏照公。追謚青霄院透岳宗關大居士。以佐百歲冥禱。冀祈北條氏先
遠一派。宗親悉伏。良因俱臻。善果承斯。附薦祖考家範。乘此勝緣。咸霑
利樂者。維己巳孟春。東阜心越撰序。而識其事。兼綴之。銘曰。

猗歟華鐘 切資九有 晨和夕擊 如鯨而吼
圓音空寂 體用雙彰 或希或微 以悠以揚
洪聲落落 梵韻徐徐 豎窮三際 周編六虛
其闢以悟 其幽以明 既明既悟 隨處現成
無勝善現 自在解脫 止趣安住 堅固妙德

梶原館跡 村ノ中央ヨリ北ニユリテアリ山間ニテ濶サ二町四方形ノ地ナリ昔梶原

勘解由屋鋪跡 宗廟寺ノ南ノ方ナリ中山勘解由家範カスヨシ所ナルヘシ又コノ所

横地堤 宗廟寺ノ北ノ方ニアリ横地監

花駕籠 宗廟寺ノ西ノ方ニ谷川ノ地名ナルヘシ

華嚴寺舊蹟 宗廟寺ノ西南ノ方ニ華嚴寺ノ遺蹟アリ

千人頭屋敷跡 天正十八年北條氏照落去ノミキリ御用心向トシテ同年秋ヨリ千人

ノ後文祿二年ノ春甲州口押ヘノタメ今ノ如ク千人ハ八橋社ノ東ニ其舊宅ノアリテ今

アリコレ原刑部胤從カ屋敷ノアトナリ又中宿ノ内ニ助丞谷戸ト云所アリ窪田助

之丞正勝カ地ナリト云又御靈谷ノ奥ニ廣瀬郷八ト云モノ屋敷跡ト云所アリ窪田助

ノ郷八ハ甲州ノ士廣瀬郷右衛門カ弟ナリシトノ郷右衛門ハ高天神城貴

ノトキ東照宮ヘ官葉ヲ奉リ大剛ノ勇士ナリ今郷八カ子孫ハ断絶セリ

八王子宿跡 八幡社頭ノ森ノ東ノ原ニ横山八日市ナト云所アリ今ノ横山宿ノ舊跡

サレシトキ又今ノ八王子ノ地ニウツリシトナリ

大善極樂二寺跡 同ノ所ニ八幡森ノ東ナリ宿ト云

鳳岩寺跡 長山ト號セシト除地今ニ二段一畝二十歩アリ

雲光院跡 同ノ所ヨリ上ノ方川村ヘノ往來ニアリ同末ニテ

石見屋敷 八幡森ノ東ノ方ナリ北條氏照ノ家臣嶋村

舊家

鍛冶藤吾藤太 小名鍛冶屋村ニ住セリ除地九段五畝十六歩ヲ賜ハル先祖ヲ周重ト

造スシハシハ東照宮ノ御用ヲ勤メシヨリ屋敷地ヲ賜リシト云三傳目半十郎弟金

左衛門トトモニ水戸義公ノ鎗ヲ鍛ヒシコトアリコノユヘニ兄半十郎目半十郎弟金

國弟金左衛門ハ武藏太郎安國ト名ヲ賜ハリシト云ソノ後有徳院殿御刀ヲ命セラ

レ濱御殿ニ出テ鍛チナセシコトヨリ御紋付ノ茶色ノ御羽織ヲ賜ハリテ今ニ至ルマ

テソノ子孫ノ家ニ繼セリ

安國後ニト號セリ

鑄物師某 小名澁原ト云所ニ住ヒリ除地屋敷五畝十歩ヲ賜ハル昔芝増

百姓清左衛門 小名中宿ニ住セリ先祖ヲ志村將監ト云北

西川幸七 宗廟寺ノ門前ニ住スル醫師ナリト云

寺方村

寺方村ハ昔ハ大幡ト唱ヘシ地ナリト云土人ハタ、由井領トノミイヘリ又永祿十年

北條氏照カ寶生寺ヘ與ヘシ文書ニモ大幡寶生寺トシルシテアレハ小田原分國ノ頃

モ猶昔ニカハラサリシコトシラル今大幡ト云ハ總ニ小名ニ殘レリ又寺方ト唱フル

モカ、ル古刹ノアリテソノカミノ寺領モコ、ニアレハナルヘシ當村ハ江戸日本橋

斤而七或凡...

禁制

武州之内一ふか九比下地

大はた村

和田村

八日市村

一當軍勢濫妨狼藉事

一放火之事

一對地下人非分申懸之事 并遷住之事

以上

右條々於令違有候速可處嚴科者也仍如件

天正十八年六月廿四日

常陸介花押

孫四郎花押

定

一殺生禁斷之事

一甲乙之人馬乘通行之事

一境内山林竹木猥以截採事

以上

右條々堅可相守候若於令違犯者速可處嚴科者也依如件

天正十八年六月廿四日

常陸介花押

孫四郎花押

覺

一東者調へ道際境

一南者川原面道際境

一北者川口村之散在峰道際境

一西者山入村ト神谷峰道際境

右之内田畑山林不殘如先規之寶生寺領御繩面ニ付申候處無子細條書付進申候
以上

寅十一月十二日

信康花押

野々山左五兵衛
内藤角右衛門

猶々先日者早々得貴意于今御殘多奉存候何成とも御用之儀御座候ハ、可被
仰下候少も疏意不存候何事も貴面ニテ萬々可申述候條不具以上
一簡致啓上候然者寶生寺様御繩面之場如何程ニ付申候哉御聞被成度由安御事
ニ御坐候則一書ニ付致進上仕候此段可被仰上候恐惶謹言

霜月十二日

信康花押

野々山左五兵衛

内藤角右衛門

當福院憐人々御中

惣門 本堂跡ノ正面一丁餘ヲ隔テアリ東向ニテ四足門壹葺一丈四方當寺創建ノ時
本等イト古色ナレハ舊キ 中門 惣門ノ正 鐘樓 中門ヲ入テ左ノ方ニテアリ七尺四
世ノ創建ナルヘシト云 鐘樓 中門ヲ入テ左ノ方ニテアリ七尺四寸許貞享年中
鐘造ノ 觀音堂 五間四方觀音ノ立像長一尺二寸行基菩薩ノ作ト云コノ堂ハ前
鏡ナリ 觀音堂 五間四方觀音ノ立像長一尺二寸行基菩薩ノ作ト云コノ堂ハ前
立ナルヘシト云

立ナルヘシト云

觀栖寺 小名小野ニアリ補陀山ト號ス禪宗曹洞派下恩方村心源院ノ末開山天
寂ノ慶安二年八月廿四日村内ニテ御朱印八石一斗ノ地ヲ賜ヘリサレトコノ御宗
印ニ觀音堂額トアレハ境内ニアル觀音堂ニ賜ヒレナラシ客殿六間半ニテ六間本尊
釋迦立像長二尺 觀音堂 境内ニアル觀音堂ニ賜ヒレナラシ客殿六間半ニテ六間本尊
ナルヲ安セリ 觀音堂 境内ニアル觀音堂ニ賜ヒレナラシ客殿六間半ニテ六間本尊

靈照菴 年貢地一段歩具言宗律派江戸湯嶋靈雲院ノ末村内寶生寺ノ第十八世靈照
比丘元文中起立セリト云庵ハ五間ニ八間本尊大日坐像長一尺五寸ナル
ヲ安置セリ

慶叶寺 除地四段一畝十歩小名紙屋ニアリ新義具言宗村内寶生寺ノ末寺ニテ寶光
院ト號ス開山及ヒ起立ノ年歴等ヲ傳ヘス本堂五間ニ七間本尊大日ヲ安置
セリ

眞法寺 除地二段二畝七歩小名小田野ニアリ下恩方村心源院ノ
末寺ナリノカ近キ年廢院トナリアイマタ再建コ及ハス

上恩方村

上恩方村ハ郡ノ西南ニアリテ相州津久井縣ニ接セリ村名ノ起リハ傳ヘサレト村内
ノ小名ニ案下ト云所アリ近郷ノモノ案下村ト呼ナセルモ案下峠ナトアリテ其地名
ノ廣キヨリノコトナルヘシサレト元ヨリ私ニ唱フルコトナレハ公ニハ用ヒス江戸
日本橋ヘハ行程十五里許村ノ四境東ハ下恩方村ニツ、キ西ハ相模國津久井縣佐野

川村ニ接シ南ハ本郡ノ上長房村及ヒ相摸國津久井縣與瀨村ニ隣リ北ハ乙津檜原ノ二村ニ跨レリ東西ヘ二里半南北一里許ノ處モアレト其廣狹ハ境ノ犬牙セルヲモテ詳ニ辨シカタシ民戸二百五十軒檢地ハ寛文七年坪井次右衛門糺セリ當村舊領ハ傳ヘサント正保ノ比ハ岡上甚右衛門カ御代官所ニシテ其後シハシハ遷替アリ今ハ小野田三郎右衛門支配セリ土性ハ眞土石交ニシテ水田ハ陸田ノ十分ノ一ナリ

高札場一ヶ所小名狐塚

小名

上案下 村ノ西ノ方峠ノ下案下 上案下ノ調六下案下ノ河井野ノ東ニハ調六
醍醐 村ノ西北谷通リ 降宿 西谷ノ東ニハ森久保降宿ノ東ニハ高留野ノ東ニハ力石ノ宮
此所ニ關所アリモ云々 官ノ下 高留野ノ東ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
テ又關所トモ云々 官ノ下 高留野ノ東ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
下ノ東ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
ハ尾長ト云々 尾長 狐塚 山崎 黒沼田 尾崎 駒木野 東ニハ力石ノ宮
リ北ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
ハ左ノ駒木野ヨリ 板當 下恩方村ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
リハ 左ノ駒木野ヨリ 板當 下恩方村ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮

山川

案下川 氷元一小名高留トイフ所ニハ二流合シ東ノ方下恩方村ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮

五間 村ノ西ノ方峠ノ下案下 上案下ノ調六下案下ノ河井野ノ東ニハ調六

案下峠 井縣佐野川村ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮

眞峰嶺 北谷ノ小名森久保ト降

愛敬坂 小名宮ノ下ト高

板當山 御林山ノ内ナリ

朽細城 村ノ南ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮

關梁

口留番所 一ヶ所小名高留ト云所ニハ番屋ヲ設ク甲州ヘノ脇往選ナリ東ノ方下恩方
津久井 縣ノ邊ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
小名醍醐 縣ノ邊ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮

神社

淺間社 案下峠ノ絶頂ニハ相摸國ノ接界ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
熊野社 除地ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
祭ハ九月九日ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
ル文書モアレハ古社ナルコトハ疑フヘクモ神サヒタル宮居ニハ力石ノ宮ニハ力石ノ宮
則稱宜小澤石見カス

安下熊野宮之禰宜役并貳百文屋敷於末代不可有相違者也仍如件

同高茶野丁

天文廿壹年八月十九日

彌宜彦次郎

花押

安那澤船野天神

山神社 除地一段別詳ナラス小名下
 住吉社 除地六百坪小名河井野ニ
 山神社 是年貢地四百坪小名河井野ニ
 住吉社 除地六百坪小名河井野ニ
 山神社 是年貢地四百坪小名河井野ニ

稻荷社 除地百坪許コレモ河井野ニ
 山王社 除地十坪許コレモ河井野ニ
 龍藏權現 除地四方東向ナリ石燈籠一間半ニ
 許神體船ノ帆柱ニ龍ノ卷レル石像ナリ船ノ長サ二尺帆柱ナリ

住吉社 除地二段ニ社ハ三十一歩四方ニ坐像ナリ
 住吉社 除地一段ニ社ハ三十一歩四方ニ坐像ナリ
 住吉社 除地一段ニ社ハ三十一歩四方ニ坐像ナリ

神明社 除地二畝二小祠ナリ小名森久
 御嶽社 除地四坪許小名高留ニ丈ハカリ小祠南向ニ持ナリ
 將門明神社 除地四十坪許小名力石ニ又イカナル故コテ登リ上ニ祭ルコトモ傳
 八幡社 除地三百坪許小名板當ニ持ナリ
 住吉社 除地四畝廿歩小名愛敬坂ニ持ナリ
 伊勢宮 除地七畝十歩小名愛敬坂ノ上ニ持ナリ
 八幡社 除地三十坪許小名力石ニ持ナリ
 稻荷社 除地四百坪許小名狐塚ニ持ナリ
 六天祠 瘡瘡神祠 兩社トモ本社ニ向
 天神社 除地千坪小名黒沼ニ向ナリ
 社 稻荷山神祠 左ノ方ニ向ナリ
 山土社 除地三間ニ立ツ真泉寺ノ持ナリ

稻荷社 除地百五十坪小名駒木野ニアリ石階九級ヲ登リ小祠ヲ置ク覆屋一
牛頭天王祠 本社ニ向テ右
御嶽社 除地百六十坪小名左戸ニアリ石階四十二級ヲ登リテ小社ヲ立ツ覆屋
諏訪社 除地四十坪小名板當ニアリ
寺院

福源寺 除地一段二畝五歩小名上案下ニアリ禪宗臨濟派同郡山田村廣園寺末永輪
開山桃溪天
文二年寂ス
朝雲寺 除地一畝一步小名下案下ニアリ觀音木ノ坐像長一尺八寸ナルヲ安メ開山機山
宗順文正
元年寂ス

三光寺 除地二畝五間乾向本尊觀音木ノ坐像長一尺許開山信徹永心弘治元年示
寂
山神祠 本堂ニ向ヒテ右ノ方ニ
地藏堂 除地四方本尊ハ木ノ立像長一尺村民ノ持ナリ

西光寺 除地七畝二級四歩小名醍醐ニアリ禪宗臨濟派村內龍泉寺末日東山ト號ス
尺開山別山壽傳
天文四年寂ス

龍泉寺 除地三段五畝二一歩小名森久保ニアリ瑞雲山ト號ス同郡山田村廣園寺
末木堂八間半ニ六間巽ノ方ニ向テ本尊藥師木ノ坐像長二寸五分運慶ノ作

觀音堂 本堂ニ向ヒテ左ニアリ二間半四方
長一尺五寸傍ニ木ニテ
造ノル白馬アリ長五寸

興慶寺 除地三段許小名狐塚ニアリ萬藏山ト號ス禪宗開山ハ法圓禪師ナリト
云ニ融カコトハ本山廣園寺ノ條ニ詳
ナリ後寺領高十石ノ御朱印ヲ賜フ詳
長一尺 鐘樓 尺三寸高サ三尺七寸方ニアリ三間ノ堂ニテ南向ニ立ツ藥師ハ木
長泉寺 除地一段二畝小名黒沼田ニアリ釋迦木ノ坐像長七寸脇士文殊普賢木ノ坐像
長五寸開山隆翁舜悅寛永三年寂ス

佼月院 境内ニ末堂九間ニ八間南向ナリ本尊釋迦木ノ坐像長一尺脇士文殊普賢木
ノ坐像各長八寸開山玉田存麟天正四年寂ストイヘト月日ヲ詳ニセズ

藥師堂 除地七坪小名板當ニアリ長八寸方ノ堂
藥師堂 除地八坪小名河野ニアリ長八寸方ノ堂
阿彌陀堂 向テ東
阿彌陀堂 向テ東

金照菴 除地百坪小名高留ニアリ長八寸方ノ堂
寂スト云

傳ヘリ

阿彌陀堂 向テ東

阿彌陀堂 向テ東

阿彌陀堂 向テ東

阿彌陀堂 向テ東

樂師堂 除地三段一畝二十九步小名宮ノ下ニアリ二間ニ三間ノ堂ヲ
臨川菴 除地百五十坪小名宮ノ下ニアリ醫王山ト號スコレモ興慶寺ノ末本堂ハ五
十二年示寂
向林庵 無年實地百二十坪小名力石ニアリ無量山ト號スコレモ同寺ノ持本堂六間
地藏堂 除地五十四坪小名孤塚ニアリ堂ハ三間半ニ三間
大寂

下恩方村ハ郡ノ西南ニヨレリ江戸日本橋ヨリノ行程十四里村ノ四境東ノ方ハ淺川
ヲ限リトシテ寺方大樂寺ノ二村ニ對シ西ハ上恩方村ニツ、キ南ハ元八王子川村ノ
二村ニマシハリ北ハ小津山入ノ二村ナリ東西ノ徑リ三十町南北二十町東ノ方ハ打
開ケタル平地ナレトヤウヤク西ニヨルニ隨ヒ南北ハ山ニソヒテ平行ナラス民家二
百軒大抵淺川ニ邊シテ住セリ土性ハ眞土或ハ黒土ニシテ陸田多ク水田ハ十分ノ一
ナリ檢地ハ寛文七年坪井次右衛門岡上次郎兵衛二人ノ承リニテ租米ノ數ヲ定メタ
リシカツノ後田安殿ノ領地ニタマハソリ

高札場 小名河原
小名

大久保 村ノ西ニ 澤口 南コレモ西ノ方ニ少ク
河原宿 松嶽ノ東ニ 上宿 河原宿ノ 下原 河原宿ノ 上ノ原 下原ノ
リニア 元木 村ノ東ノ

山川
案下川 上恩方村ヨリ流レ來リ東流シテ寺方村ニ達ス當村ニカハルコト
橋梁
橋五ヶ所 一ハ小名大久保トイフ所ニ案下川ニ架セリ長十間幅五尺一ハ松嶽ニ
原宿ニ架セリ長五間幅三尺
尺何モ案下川ニ架セリ

神社
稻荷社 除地一段一畝九步大久保ニテ長七寸入口ニ木鳥居一基アリ例祭二月初
午淨福
稻荷社 社地凡二百六十坪無年實地外除地八畝二十步小名松嶽ニアリ例祭二月初
眞幅寺ノ

熊野社 除地十八步澤口ニアリ則ツノ所ノ鎮守ナリ
社ニシテ二間四方ノ上屋ヲ立ツ村民ノ持

山王社 除地一畝五步 真福寺ノ持

飯綱社 無年貢地 三間半四方同寺ノ持ナリ

山神社 除地八段一畝 二十步同邊

天神社 除地四方ノ上 二步小名元木アリコレモ社ニテ三間

山王社 除地四畝七步 立ツ前ニ鳥居アリコレモ社ニテ三間

地神社 年貢地近郷ニハ稀ナル大木ナリコレモ社ニテ三間

淨福寺 境内除地一萬三千九百一坪半 松嶽ノ開山チ廣惠大師ノ門院ト云當寺來由記ノ略

寺院

淨福寺 宗内除地一萬三千九百一坪半 松嶽ノ開山チ廣惠大師ノ門院ト云當寺來由記ノ略

某ノ時ニ至リハ朝會氏ノ先世々和州ニ住シテ信スルトコロノ千手觀音ニ詣テノ故

子テ罪ヲカフコトヲ親子ト新誓セシメ其後一子ニ配流セラレコトハ師ナリ然レモ故

廣惠トヨリヤムコトヲ及ヒテ其母師ヲ具シテ夢ニ異人來テ告テ曰汝靈像ヲ得テ手觀

音ハ信仰スルコト名刹ヲ順行スヘシト夢ニ異人來テ告テ曰汝靈像ヲ得テ手觀

來リシコトノ由ニ尋ルカ昔天平ノ頃行基大士遊テ彫刻ノ常ニ置クコトヲ

トナリメ主翁トノ思ハシカハ一字ヲ靈夢ニテ安置セリナリト云永某年ナリ地ニ近郷

人氏コノ由チキハヨリツト信仰スルモノ多キレハ不日ニ大石源左衛門尉

入道俊ト云モノ當所ニ居テ比羅ノ子ヲ産スルコトハ源四郎憲重也後ニ石見守

ト改名セリカハハル靈驗ヲ得テ道俊感喜之餘リ十月十四日ノ夜上杉憲政襲ヒ來リテ

郭ヲ放火セシ時堂僧坊モ片時ノ間ニ鳥有ト申レリ大石父子ハ利ヲ再ヒテ

小田原ナル北條氏康ニ投シケルカ翌年二月中旬氏康カ羽翼ニ移リテ住シテ

歸リ來リテ大石父子ハ更ニ地ニ然ルコトヲ城隘ニ立テ移リテ住シテ

蘇年ノ記ニ外郭等ノ跡今ハ是ナリ昔ノ城跡ハ本堂ノ後背上リテ四丁餘ニ

正石ノ形本丸郭等ノ跡今ハ是ナリ昔ノ城跡ハ本堂ノ後背上リテ四丁餘ニ

内眞福寺ノ住僧計ヒヨリテ寺中不領安塔ノ免狀ヲサツカリ打續キテ

十石及寺中不入ノ御朱印ヲ賜ハリシトコトイヘリ本堂門ニ六間半本尊大日

坐像長一尺五寸ナル御朱印ヲ賜ハリシトコトイヘリ本堂門ニ六間半本尊大日

セト長一尺五寸ナル御朱印ヲ賜ハリシトコトイヘリ本堂門ニ六間半本尊大日

寸寛保四年鑄造ノ鐘ナリ銘云九尺鐘ノ圓徑二尺三寸長三尺六寸 中門本堂ノ前

惣門二間四方境内 觀音堂 本堂ノ西三百間 阿彌佛ノ作ナリト云傳フ

本像ニシテ彩色ヲ用ヒスイト古キ棟札ヲ持傳フソノ文左ノ如シ

厥以曼荼羅之春花。發三密加持苑。六大無量秋月輝瑜伽行之鄉。云

云當大士尊者。千手千眼拔苦與樂之尊容也。尋建立昔行基菩薩作

廣惠大師草創也。依末世濁亂猥驢。精舍佛像共令燒失畢。然處金資

長尊。因前世世善苗不思議。遂當尊立成宮殿建立。大檀那源朝臣道
俊。并子息憲重深志運送。致成就眼前。將亦法主爲堂舍。造立祈願奉
講讀仁王般若經三千部。奉備一切三寶法樂師檀同誇。千秋萬歲之
榮花。國家靜謐鄉內安穩。子孫繁昌如意滿足。乃至法界平等利益。
大檀那大石源左衛門入道道俊并子息憲重當別當當權少僧都
長尊

大永五年十二月十三日

小工清水宗八
大工瀬沼左衛門允

武州吉見岩殿山光明寺息障院。長義大和尚。附法受同。當寺千手山
城福寺中與開基本願權少僧都長尊。
東寺意教之御流也。
爲末世濁亂之世。至興隆佛法也。
仰願父母師匠一佛淨土之無疑者也。

大永五年乙酉十二月十三日 金資長尊

又古キ給馬二枚アリ左ノノス何レ
モ長二尺二分幅一尺三寸三分アリ

天文二十五年丙辰正月廿八日

此所ニ牛若丸ノ畫像アリ

奉納千手觀音御寶前番像一對

奉納千手觀音御寶前番像一對 甲州住人原次郎四郎虎城書之

此所辨慶ノ畫像アリ

天文二十五年丙辰正月廿八日

白山社 本堂ニ向テ左ノコアリ小 天神社 同モシ邊コアリコ
心源院 境內五千六百七十五坪御朱印寺領ノ内ニテ河原宿ニ
ト基ハ大石遠江守ニテ法證ヲ英岩道俊トイフ則石見守憲重カ父ニテ初メ源左衛
門ト稱セシ人ナリコノ道俊カトハ淨 本堂アリ二間ニ七間半山門ヲ入テ正
福寺及ヒ瀧山ノ條ニモシカセルナリ 本堂アリ二間ニ七間半山門ヲ入テ正
ス安 開山堂 本堂ノ四間ニ三間 鐘樓ノ九尺四方本堂ニ向テ右ニ五尺三寸高
僧寮 本堂ニ向テ左ノ方ニ 山門 聖觀音ニ及十六羅漢ノ像ヲ安ス 惣門 四方間 黒門

境内ノ入口ニアリ 辨天社 惣門ノ西ニ坐像ニアリ小社ニテ長五寸左右ニテ四方ノ上屋ヲ立ッ神體

白山社 境内ノ鎮守トスルトコロ也 秋葉社 本堂ニ向テ左ノ山上ニ拜殿ヲ建ッ本社ハ

隨心寺 境内ノ除地ニ段七畝ニテ外田一畝三歩小名松嶽ニテ禪宗曹洞派ニ

右衛門 寺近キ年マテ堂宇以下衰廢シ住僧モナキカ境内ヲナリシニ寛政四年八月日寂

三十四兩餘ヲ賜ハリシト由公ニ云モノアリテ境内ニハヤカテ文字ニ吹カヘテ

門モ實ノモトナレハ一モ己カ所ハカソトモノナレハ不幸ニ寄附シテ更ニ

十月二日病ヲ死セリトナレハ一モ己カ所ハカソトモノナレハ不幸ニ寄附シテ更ニ

醫王寺 境内ノ六間半ニテ外田一畝三歩小名松嶽ニテ禪宗曹洞派ニ

輝窓寺 境内ノ本尊釋迦ノ木像ヲ安リ客殿ハ五間半ニテ三問ナリ

龍安寺 境内ノ末ノ地ニ山號モ河原宿ニテ今廢寺トナレリ

東福寺 境内ノ除地ニ八畝ニテ末ノ地ニ山號モ河原宿ニテ今廢寺トナレリ

正覺寺 境内ノ除地ニ三畝六畝十四歩小名上宿ニテ禪宗曹洞派ニ

真福寺 境内ノ除地ニ四段一畝六歩小名松嶽ニテ禪宗曹洞派ニ

松竹院 境内ノ除地ニ三畝一畝五歩小名大久保ニテ禪宗曹洞派ニ

城光院 境内ノ除地ニ二畝二間ニテ三間本尊彌陀ノ坐像長一尺四寸ナルヲ安置ス開基大

源正院 境内ノ除地ニ一段九畝十一歩小名上宿ニテ禪宗曹洞派ニ

鍛冶山本内記康重 鍛冶山本外記康照 鍛冶山本左司馬國重 以上三家ハ昔ヨリ四町八段ノ除地ヲ賜ハリテ世々下原ニ住

没落セシノナヘ終ニ民間ニ下リシヨリ當村ニ土着セシト云コノ太右衛門カ家ニ
 傳ッル東照宮御文書ヲ藏セリ又北條氏直ノ威狀コノ外ニ四半指物同出シノ類ナ
 ルモノト唐ノカヅラニラツシル采ナトヲモテリ其ウツシ後ニ
 ノセナリ來由ハ詳ニセサントモトニカク昔々家ナルコトハ知ル

設樂神三郎

急度申入候依來廿日有子細拙者□□山中筋へ罷立候然者摸樣石河伯者へ申付
 候其儀次第乍御太儀御人數被相動候て可給懸入候爲其如此候恐々謹言
 七月十七日

家康花押

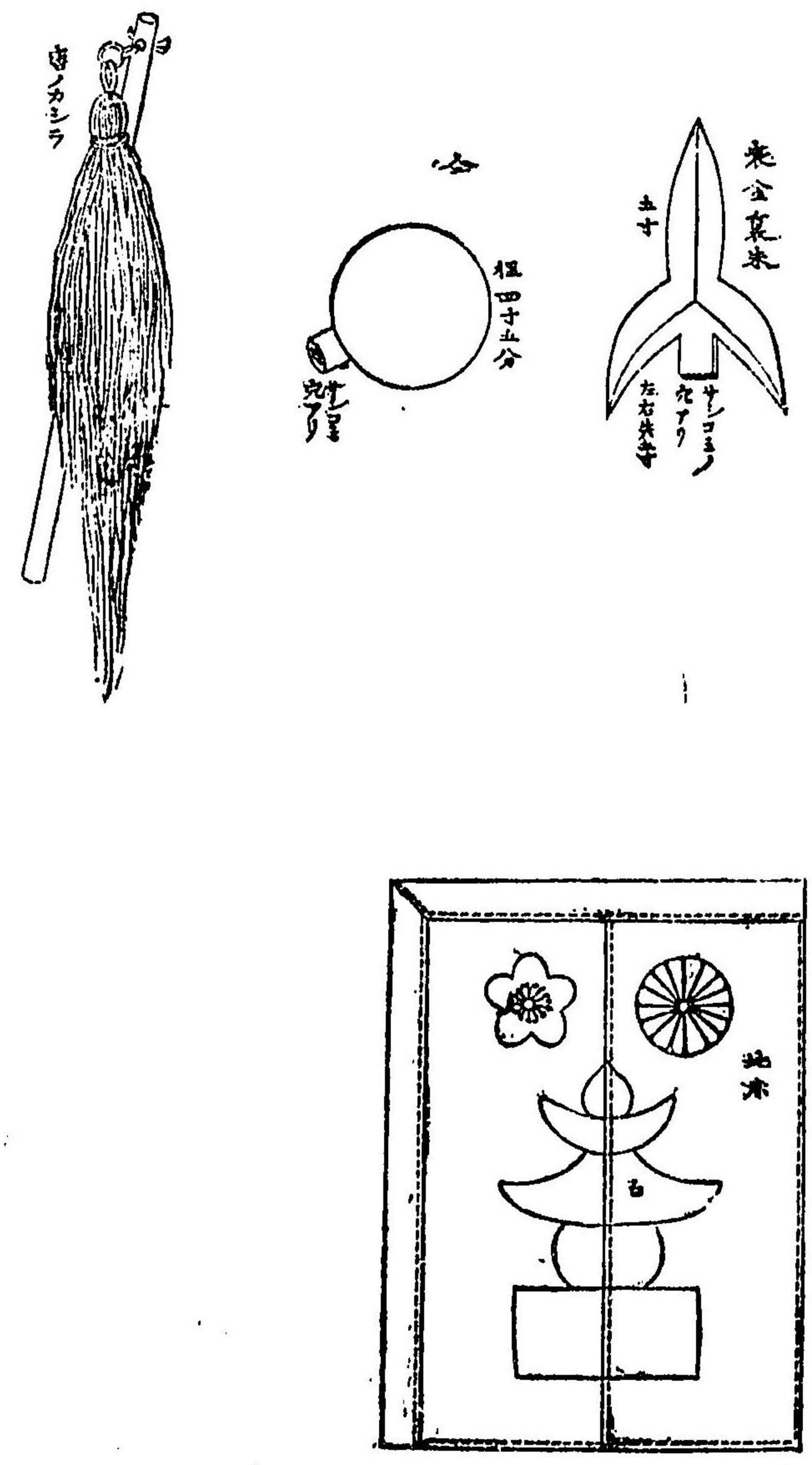
去廿二佐竹衆一手山表口敵陣へ相移候砌敵一人討捕候高名之至感悅候彌可走
 廻者也依如件

卯月廿七日

花押

設樂神三郎

四半指物袋乳緋精好紋白



新篇武藏風土記稿

多磨郡 卷十七之

卷十八

三十四

105
30

| | | | | |
|-------|---|---|---|---|
| 館書圖京東 | | | | |
| 八 | 二 | 〇 | 八 | 門 |
| 冊 | 號 | 架 | 函 | 類 |

新編武藏風土記稿卷之一百五目錄

多磨郡之十七

由井領

山人村

下一分方村

川村

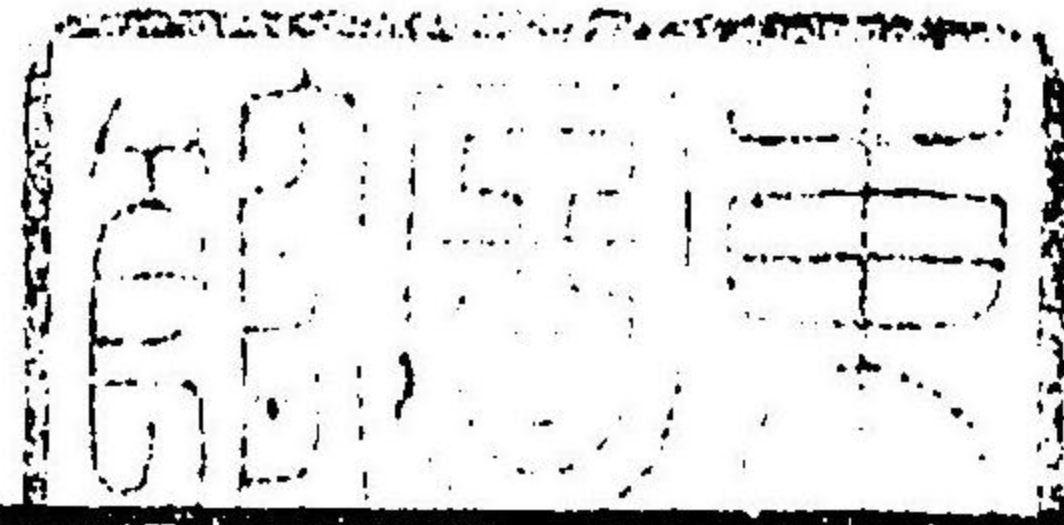
廣川村

上一分方村

二分方村

大樂寺村

小津村



新編武蔵風土記稿卷之一百五

多磨郡之十七

由井

山入村

山入村ハ郡ノ西ニアリ郷庄ノ唱ヲ失フ村名ノ起リハ傳ヘサレトモ地形ヲミルニ山

際ニ入ルニシ村ナルユヘカク名ツケシニヤ江戸日本橋ヨリ行程十四里許村ノ四境

東ノ寺方村ニ界ヒ南ハ小津村ノ峯ヲ限リ西ハ戸倉村ニ接シ北ハ川口村ノ峰ヲ界ト

ス東西二里許南北二十町ホト村ノ中ニ一スナノ水流アリ民家八十軒ヨリ流ヲサシ

ハサンテ左右ニ軒ヲツラヌカノ戸數ノ内十三烟ハ千人組ノ内ノモノナリ村内山林

多ク畑ユレニ次キ田ハ僅ニ谷際ニアリ旱魃ノ患アリ土性ハ眞土又赤土ニテ農耕ノ

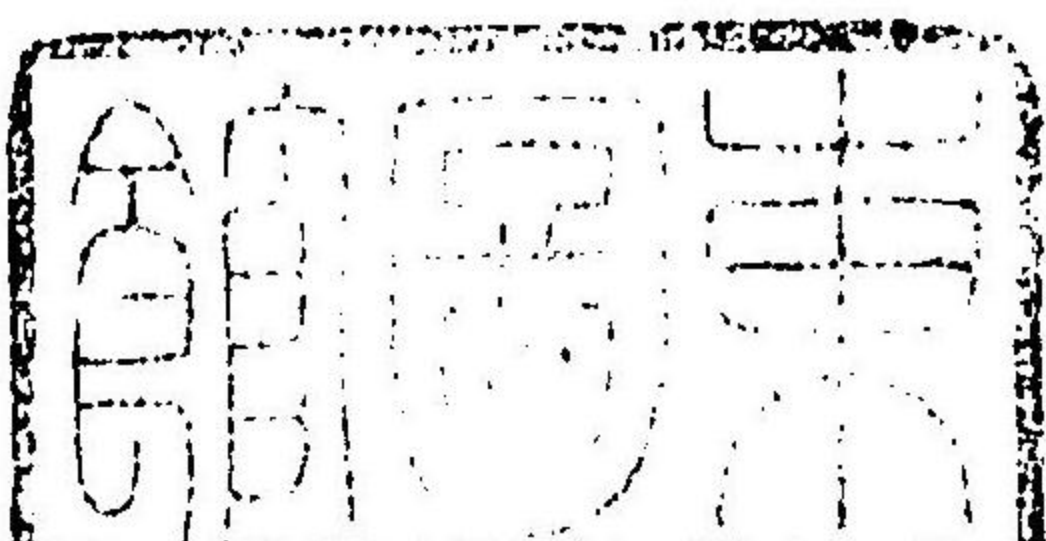
外ニハ炭ヲ燒キ蠶ヲ育ヒテ織モノヲ專トス土人ワキテ古質ニシテイナカビタリ僻

地不便ナレハ貧村ニシテラツカニ衣食ニ給スルノミ山林多キ村ナルユヘ猪鹿多ク

シテ五穀ノサマタケチナスト云秣場ニケ所一ハ小名御屋敷ニアリ一ツハ馬込ニア

リ御入國ノ後ハ御料所ニテ正保ノ頃ハ御代官高室喜三郎支配セシカ其後前田某川

村某ノ二人ニ賜リ今モ其子孫前田信濃守長榮川村外記等カ采地ナリ檢地ハ寛文七



年深谷喜右衛門改ム又内ニ古へ秩父ヨリ鎌倉へノ道ナリシト云傳フル小徑アリ下郷ノ内馬込萩園ト云ル所へカ、リテ南北セシ一ヌチノ路ナリ土人ノ説ニ今モ村内ノ字馬込馬繼ナト云所アルハ古驛ノ遺名ニテ馬ノユメ置シ所ト馬ヲツキ立シ所ノアトナリトイヘリ

高札場ニケ所一ツハ小名瀬東ニアリ

小名

瀬東 村南ノ方 南如シノ 中井 村ノ方ニ在 長久保 村ノ方ニ在 遠野 谷ノ方ニ在
鹿子澤 村ノ南 栗原 村ノ上ノ郷ニ分ト云 繩切 村ノ東ノ方ニ在 萩園 村ノ東ノ方ニ在
御屋舖 土人云天正年中北條陸奥守氏照元八王子ノ城ヲアタリシトキ 馬込 村ノ中央ノ内ニ番場ト云所モアリ 調馬 村ノ説ニ辨セリ又コ 馬繼 村ノ西ノ方ニ出セリ以

山川

無名ノ川ナリ水源ハ雲村西ノ方ナル谷間ヨリ田ノ清水ニ入ル川幅二三間許常川下流ハ寺方村ニテ案下川小津川ト合シ楢原村ニテ清川ニ入ル川幅二三間許常所々ハ水流ナシ雨ヲルル小石多シ

水利

用水 谷間ノ水ヲ以テ用水トス故ニ旱ヲ患フ

寺院

養福寺 除地畑三石一斗小名馬込ニアリ 禪宗臨濟派同郡戸倉村光嚴寺末向戸山ト四方東向ナリ
大光寺 除地四石二斗六升六合小名鹿子澤ニアリ 新義真言宗同郡寺方村寶生寺末向異ナリ
明福寺 除地九斗三升餘同シ 邊ニアリ 新義真言宗寺方村寶生寺末向四方南向ナリ
乾長寺 境内山林一萬六千坪小名萩園ニアリ 禪宗曹洞派下恩方村心源院末獨坐山ト云本堂十一間ニ七間南向獨坐山ト云大字又普門閣等ノ額アリ 境内ハ山ト云アリ 故ニ七峯七谷ト呼ハレトコ 衆寮 本堂ノ西ノ方ニ在 辨天堂 本堂ノ西ノ方ニ在 鐘樓 山乾長禪寺第五世中興松雲叟代時元祿四年辛未十月朔日

地藏堂 年貢地小名馬繼ノ内ニアリ 三間半ニ在 持ナリ

地藏堂 年貢地小名瀬東ノ内ニアリ 二間ニ在 持ナリ

上一分方村

上一分方村ハ郡ノ西南ニアリ郷庄ノ唱ヲ傳ヘス或云諸國ニ一分方二分方ナト云地名マ、アリコレハ昔ノ一郷ナリシ地後世戸數加ハリ閑地ヒラケテ大村トナリシトソレテ四五分ニワカチ一分方二分方ナト云地名オコレナリト今按ニ隣村二分方シ村ニ由井野ト云ルソコハクノ原野アリオモフニコノ邊ハ領名ノ本郷由比郷ノキ地ニシテ後世土地モカク別ニヒラケシトキ村ヲワカチ一分方二分方ナト、名ツケヨリ由井ノ唱ハ廢シタレトカノ原野ニワツカ古ノ地名ノコリシナルカ又按ニ下一分方村西蓮寺ニ藏セル北條氏ヨリ賜ヒシ弘治三年ノ文書ニ八日市場西蓮寺トアリ又寺方村寶生寺ニナケル天正十八年禁制ノ文書ニモ八日市場トアリコノ頃ハ今ノ上下一分方ヲ合シテ八日市場ト唱ヘシト見ユコレハ今モ村ノ地ツ、キニ元八王子ノ内小名八日市ト云所アレハソノ名ノコ、マテ及ヒシナルヘシサレハ今ノ名ニナリタレハ天正後ノコトナルヘシト云恐ラクハ地名度々改リテ後世又中古ノ唱ニ復セシナラン寛文中コノ處檢地アリシヨリ上下二村ニ分レタリトソ江戸日本橋ヨリ行程十四里許東ハ下一分方村西南ハ大樂寺村ニテ西ヨリ北ハ淺川ヲ隔テ寺方川口ノ二村ニ境ヘリ東西十町南北五町民戸四十六軒土性ハ眞土野土打交リ水田多ク

陸田少シ御入國以來御料所ニテ正保二年ヨリ高室喜三郎支配シソレヨリ高室四郎兵衛大久保平兵衛設樂勘左衛門窪島市郎兵衛江川太郎左衛門平岡三郎右衛門等邊替リテ寛永ノコロニ至リ藤澤大學ニ賜リ今ニ其子孫要人知行セリ

高札場 村ノ西南

小名

和田 村ノ西 大柳 北

寺院

長覺寺 除地二段一畝十歩小名大柳ヨアリ新義真言宗寺方村寶生寺ノ末大柳山眞光院ト號ス開山開基等ノコトヲ傳ヘス本堂五間半ニ四間半本堂大日ヲ安置ス

下一分方村

下一分方村ハ郡ノ中央ニアリコ、モ郷庄ノ唱ナシスヘテノコトハ己ニ上一分方ニ出セリ江戸日本橋ヨリ行程十三里許東ハ八王子本郷村ニ接シ淺川ノ河原ヲ境トス東ヨリ南ヘワタリテハ横川村南ハ大樂寺西ハ上一分方村西ヨリ北マテハ淺川ノ河原ニテ向ヒハ犬目村檜原村中野村ニ交レリ東西二十町餘南北八町餘地形ハ平地ニテ山林ナシ土性ハ眞土ナリ水田陸田等分ニシテ民戸百六十軒小名諏訪宿ノ邊ニ連

住セリコノ村モ御入國ノ後ハ御料所ニテ正保ノコロハ高室喜三郎支配セリソレヨ
リコノカタ御代官ノ遷替ハ上一分方村ニ同シ寶永ノコロニ至リ長澤某ニ賜ハリ今
モ其子孫直次郎資信カ知行所ナリ檢地ハ寛文中アリシト云

高札場小名諏訪
宿コアリ

小名

四ツ谷村ノ北ヨリナリコロノ中ニ穢多町或ハ茶筌村 諏訪宿村ノ南ヨリナリコロ
シテ元八王子ノ内小名八幡宿ヨリ平地續キナレハ古ハ八
日市場ナト唱ヘシトイヘトモサタカナルコトナシト云

山川

淺川村ノ西上一分方村ヨリ流イリ村ノサカイテフル
コト十五町ハカリコシテ東ノ方本郷村ヘソシ

水利

堀川村ノ東界ヲ流ル村内コカハルコト三町許ニ
流トモニ水田ニヒキテ用水ノ助トナセリ

神社

鵜森神社 御朱印社領十石ヲ賜フ社領ノ地ヲ往昔ヨリ鵜森庄ト云ヒシト社傳ニ見
テ鵜森明神ト號スルコトハ往昔コノ邊スヘテ沼地ニテ小川ノ流アリケルニ鵜森
ノ世ヨリコトナル此神社ノ鎮座アリシハコトモ古キコトハ社傳ニ見タルコト
比住吉明神ヲ勸請セシトモイヒ傳ヘリ棟札ニ天延年中コトハ社傳ニ見タルコト

テノモ其外天福年中ニ再造シ又世下リテ天正ニ再建ヒシ棟札アリ夫ヨリ前天平
年中柿本朝臣都ヨリコノ地ニ來リ住ミ人丸ノ係ヲ安置シケルトモ云是ヲノ説ハ
舊キ社ナルヘシ棟札ニ改テ從ノセタリ

大願主 三田源五廣綱
祭神住吉
奉再建立鵜森社一字天下泰平武運長久所
神主 紀吉春敬白
天延四年丙子六月

願主 北條時頼朝臣
天下泰平
奉再建住吉宮寶祚遠長武運長久攸
神主 鵜森 連
國土安穩

維時天福元年癸巳九月吉日

五穀成就 北條陸奥守氏照
奉再建立鶴森神社住吉宮天下泰平武運長久所
萬民豐樂 命臣再建之

于時天正十年壬午九月十九日
神主鶴森小女官 藤原吉住
工飛驒國住 竹田左仲

按右右ノスル陳札ハ當國ニ見ルニ古キモノト云ヘシタレト三國系圖
ナラヒコ嵯峨源氏ノ系圖等ヲ見ルニ三田源五廣綱ト云モノナシ天延ノ比ハ渡邊
源五綱カ世ニアリシコトナルヘシ此人笑田源五トモイヒ初當國笑田ノ住人ナ
ルコトハ勿論ナレハ此神社ヲ再建セシトイハハ故アルコト似タリ當國笑田ノ住人
カヒカ祖先ナルモシルヘカラスサレト證トスヘキ者無 末社 天滿宮アリ本社ノ左
方ノ小祠 北向ナリ

春日明神社 除地六畝十二歩神主小川豊後社地ノ西ニ居レリ本社六尺四方南向
其中九月十九日ハ昔當社ヲ勸請セシ月日ナリトイヘト年代ハ傳ヘス
諏訪明神社 除地免三千坪御供免畑八畝十二歩小名諏訪宿ニアリ社傳ニ當社ハ下

訪大明神ヲコ、ニ崇メ祀レリ元和九年當所ノ御代官高室金共衛ノ子息坂ニ罹リ
療養ノ後ナカリシニ當社ニ祈リテ病癒忽念タレハ奇異ノ思ヒヲナシ當社ヲ再
興セリ後貞享元年火災ニヨリテ舊記及ヒ諸所ヨリ社納 本社五尺四方銅瓦葺南
ノ品ヲ失ヒタリトサアラシニハ舊キヨリノ鎮座ナリ 幣殿五間ニ三間ハカ
半祭神健御名方美命例祭七月廿六七日ノ兩日ヲモテ行ヘリ
鳥居二基一ハ大門並ノ入口ニアリ 末社 山王權現 火玉明神 水玉明神 鷲明
神 天滿宮 稻荷明神 秋葉權現 大國王宮 社ノ左右ニ小祠ニアリ 神主 狹谷地
入口鳥居ノ内 西傍ニ住セリ

寺院
相即寺 小名四ツ谷ニアリ淨土宗瀧山大善寺ノ末田中山ト號スモトハ東源山ト號
ヲ草創セリト云テハ忍譽ト云天文廿一年四月十九日寂ス本堂八間四方本尊彌陀
坐像長三尺當寺ノ過去帳ハ開關ノトキヨリノモナリト云テハ古色ナリサレハ
文字モ讀得カキトコノ法論ヲ記シタリ軍配ノ考證トモナルヘキ者ナレハ
子城ニ於テ討死セシ人々ノ法論ヲ記シタリ軍配ノ考證トモナルヘキ者ナレハ
セリ

半澤覺源律師法名久譽林體
文左衛門道順平子氏
一庵主月山宗圓法眼
同内妙性大姊

三窪助兵秀悅淨安

同子秋感

同内妙性大姊

松本豊後一類

窪淨真同内妙慶同内妙安

今藤出羽守

馬場對馬淨感

同内妙讚同娘

橫路與三郎

増島幸淨專同内

高橋雅樂道榮

同與八永信

中島豊前良岑榮久同娘

安田善古淨光

高幡十古道泉

長野伊豫守同内

薄打道正

濱中十道讚

同新五淨善

綾野奎頭淨香

鈴木佐道香

同彦八淨念

同庄左道善

水野藤左淨品

同源七淨讚

渡邊伊賀淨珍

同十左淨源

同人兵道夢

小林土佐西淨運

志野帶刀淨信

新編正統曆二言和

新編正統曆二言和

齋藤三右淨信

高橋與三母妙智

左藤對馬守淨玄

小野入道淨光

島崎二郎道香

同兵庫道圓

内田河内月山淨雲

十日市二郎右淨西順智

吉村三右道圓

銀八良右淨林

目黒與十宗念

同惣九道圓

同與兵道善

谷邊玄蕃

姫正秋

向井喜三道林

大澤老母妙源

河井二良道本

同智道西

山田久右道善

持丸彦五淨蓮

算和泉宗仙

青木但馬淨雲

山田主計淨光

佐藤淨信

鈴木出雲守

大竹隼人淨信

山郷被助右道善

大隅ちやち西月

櫻井式部道清

同彦七道心

新野五郎道源

富澤下道三

カ
ル 中村道圓

青木與三淨蓮

與右衛門淨西

黒谷小左淨香

大河三右道本

同善光

嶺岩淨永安右源六道心

同市右道善

駿河織部内弟道圓

東主坐二親道善妙善

平尾藤右道薰

日留間帶刀母妙幸

同關内妙安

同帶刀子二人

同内妙祐同被官小八道清

同太郎父道西

安都

馬場隼人光信宗念

熊澤土佐淨惑

同子宗信

張田道賢

朝倉示觀英玖

大澤蔵助母妙善

井上次兵被官孫左道西

おはらひ四郎兵道正

岡崎淨圓道西 中嶋五耳下八

石上新右道喜

目黒下甚左道秋同子宗忍

長野讚岐宗圓

同内山彌左道清

同番匠又兵道香同内妙貞

酒井二良淨感

孫伊勢秀悅

同智僧宗圓

中島下源右道心

新兵衛内妙慶

吉河善淨專

同與兵道光

道因

笛彦兵衛清範

同齊五郎道隨

同岩井下女妙樂

同丹四道香

觀新淨音

谷被官四郎左道順

同半兵道正

同新右道西

鐘樓五尺四方鐘ノ大サ 地蔵堂門ナ入テ左コノ外本堂ノ正面コ銅ノ彌陀アリ坐像コ
 ナ臺座共ニ長五尺許堂ヲ携ヘス俗ニ彌佛ト云モノナリ

西蓮寺コ川山モ同ノ邊ニ御朱印寺額十一石ニ斗餘新義真言宗寺方村寶生寺末
 ストイハハ是ニ載ス八王子落城ノ時住僧祐覺カシコニ茂死スト賜ヒ文書一通ヲ
 下ニ出セリ

寺中之棟別之事指置畢不可有相違者也仍如件

弘治三年十一月廿七日

八日市場西蓮寺

前村ノ村モト八日市ト唱ヘシコトハコノ文書コテモルヘシ其事ノ詳ナルコトハ
 ナ鐘樓本堂ノ前コアリ五尺四方 山王社小祠境内ノ辨天堂九尺四方弘法ノ作
 ナ鐘樓ナリ鐘ノ大サ二尺四寸

ヲ入リ一町許ヲ歴テ東ノ方ニ 聖天堂 辨天ノ前コアリ九尺四方ノスリ
池アリコノ堂ハソコニテリ 寶積院 除地下畑一段二畝十二歩是モ四ツ谷コアリ新義具言宗西蓮寺ノ末開山開
寶積院 基詳ナラス本堂六間半ニ四間本尊不動坐像ニテ長一尺八寸ハカリ慈覺
大師ノ作ナ
ルチ安セリ

圓乘院 除地畑六畝十二歩コレモ西蓮寺ノ末佛法山淺間寺ト號ス
開山開基ヲ傳ヘス本堂四間ニ二間半本尊觀音ヲ安置セリ

二分方村

二分方村ハ郡ノ西南ニアリ郷庄ノ唱ヲ傳ヘス村名ノ起リハ巳ニ一分方ノ惣説ニ出
シタレハ參考スヘシ江戸日本橋ヨリ行程十四里許東ハ大樂寺村ニ隣リ西ヨリ北ニ
ワタリテハ淺川ヲ境トシテ寺方村ニ接シ南ハ川村及元八王子村ニ境ヒ東西凡十二
町南北五町ニアマレリ南方八王子ヨリ寺方マテ峯續キニテ山林ナレトモ村民ノ居
宅ニ續ケル林ナリ榮シテ云ハ、村内ハスヘテ平地ナリ土性ハ眞土砂利交レリ陸田
多ク水田ハ少シ民戸七十六軒許處々ニ散居セリ按ニ村内ニ由井野ノ小名ノユレリ
サレハ昔ハ由井郷ニテ大村ナリシニヤサレト今ヨリハ考フヘカラス正保ノ頃ハ御
代官所ニテ高室喜三郎支配所ナリシカソレヨリ高室四郎左衛門高室四郎兵衛大久
保平兵衛設樂勘左衛門窪島市郎兵衛細田伊左衛門町野惣左衛門等遷替シテ寶永三
年ニ至リテ前田某ニ賜フ今モソノ子孫前田繁之助長皓カシルトコロナリ檢地ハ寬

文七年深谷喜右衛門アラタメリト云

高礼場 小名由井野ニアリ

小名

由井野 村ノ西南ノ山際ナリカハル小名モノコリタレハコノ 神戸 西北ノ限ノ
麓ヲイ 柳澤 村ノ南 藤木 南ヨリ

神社

山王宮 除地社地二十間ニ二十間小名神戶コアリ上屋二間ニ三間本社ハ僅カニ三
ヲ傳ヘス當所ノ御供免ト號シテ一段許ノ除地大樂寺村ノ内ニコアリ鎮座ノ年歴
階五十級ヲ上リテ島居有村民ノ持 末社 稻荷 岩龍 地神 第六天合社 境内
ニ祀レリ

寺院

報恩寺 除地二段四畝由井山ト號ス新義具言宗寺方村寶生寺ノ末今ハコノ寺住僧
ヲ安 觀音堂 境内四方
無量院 除地六畝新義具言宗萬年山ト號ス山田村廣園寺ノ末起立ハ延徳二年五月
道光禪定門ト云コレハ此村ノ民六右衛門ト云モノニテ菅沼氏トセリ其子孫喜
右衛門今モ村ニ居レハ舊家ノ祭ニ出セリ本堂四間半ニ三間南ナリ本尊觀音ヲ
安 觀音堂 境内ニコアリ二間ニ三間觀音ハ作シレヌ又坐像
ス 藥師佛ヲ安ス長一尺除春日ノ作ナリトイフ

圓光院 除地一段二畝淨土宗一分方村相即寺ノ末コ、モ開山關
澤水寺 年貢地小名柳澤ニテ普化宗青梅村鈴法寺ノ末今無住
舊家

百姓九兵衛 村ノ里正ニテ舊ヨリコ、住ル關山ヲ氏トス記録ナケレハ由來ハ傳
云ル人ノ起立ナリシトイヘハ舊家ナルコトシ
ルヘシ關山氏ノ事蹟モ舊記ナケレハ詳ナク
百姓喜右衛門 先祖ハ六右衛門ト云延徳年中ニ村内ヘ小菴ヲ造リシニイッノ頃カ
テウシナイタレトナレリ今ノ無量院コレナリカカルコトモアレハコ、モ舊記
ナルコトハ論スヘキナシ

川村

川村ハ郡ノ西ニアリ郷庄ノ唱ヲ失フ村名ノ起リハ傳サレトモ村ノ西ヨリ東ニ至リ
テ一帶ノ水流アリコノ故ニ名ツケシニヤ江戸日本橋ヨリ行程十四里許村ノ四境東
ハ二分方村ニ隣リ南ハ元八王子村ノ峰ヲ界トス西ハ下恩方村ニ及ニ北ハ寺方村ニ
ツ、ク東西十五六町南北七八町民家三十五軒コノ内千人組ノモノ四人アリスヘテ
村内ニ散居ス土地過半ハ山丘ニテ御林或ハ百姓居所ノメクリニ林アリ田少ク畑多
シ田ハ谷間ニテ用水ノ便アシケレハ早ヲ患フ土性ハ眞土ナリ猪鹿耕作ノ害アル故
ニ村民是ヲ防ントシテ鉄炮ヲ備フト云又秣場村ノ西北北澤邊ノヨリ櫻澤ニ及フ故

ニ櫻澤トモ云フ山間ノ地ナリ農業ノ外蠶織ヲ餘業トス黒太織ノ帶地ヲ多ク織ルコ
レヲ染ルニ柵ノ葉ヲモテアスコノ村ハワケテ僻地ノ小村ナリサレトモ人物質朴ニシ
テモトヨリ訴訟爭論ノコト曾テナクハナハタ穩ナル村ナリト云檢地ハ寛文七年深
谷喜右衛門改メタリ御入國ヨリコノカタ御料所ニテ正保ノ比ハ御代官高室喜三郎
支配所トナリ夫ヨリ遷替アリ今ハ小野田三郎右衛門信利御代官所ナリ

高札場 村ノ東

小名

橋通 村ノ東 大澤 村ノ西ノ
上元谷 村ノ北ノ 藤右衛門谷 村ノ南
北澤 村ノ西北
大繩 中央
琵琶ヶ谷 村ノ南ノ

水利

用水 村内大澤北澤ノ谷際ヨリ出ツ小渠ヲ堀サレトモ自ラナカレトナリ所ヨリ
ソ堀ニ落合モノアリミナ用水トナル村内コ
ノ小流ニ架セル小橋アレトモ屬シテナレトモ

神社

第六天社 村ノ東ニアリ小社南向村内十七軒ノ鎮守ナリ例祭九月廿九日
石神社 村ノ西ニアリ是ヲオヤグツノ社トモ云小社前ニ小島居アリ例祭九月廿

次郎右衛門屋鋪ツ
ハキ林ノ内ニアリ

山王社 見拾地村ノ西北澤ニ
アリ小祠東向村民ノ持

寺院

金藏院 除地三段八畝二十歩小名西大澤ニアリ新義真言宗同郡寺方村寶生寺末大
堂四間ニ五
間南向ナリ

阿彌陀堂 見拾地村ノ東ニアリ三間四方彌陀ハ木ノ立
像長四尺ハカリ下一分方村相即寺ノ持ナリ

大樂寺村

大樂寺村ハ郡ノ中央ニアリ江戸日本橋マテ行程十四里許民戸六十軒村ノ四隣東ハ
横川村ニ接シ南ヨリ西ニ至テハ淺川ヲ堺トシテ二分方村ニ限リ東ヨリ南ニカ、リ
テハ元八王子村ニ隣リ東ヨリ北ハ上一分方村ニ界フ東西ヘ凡十五六町南北ヘハ廣
狹アレトモ大抵五町ホトノ所ヲ廣シトス土地平ニシテ山林ナシ土性ハ眞土野土等
ニテ陸田多ク水田少シ土地ニ應セシ産物ナシ男女農業ノ外餘業ナシコノ村御入國
ノ後ハ御料所ニテ正保ノ比ハ高室喜三郎カ御代官所ナリ夫ヨリ後ノ支配ハ二分方
村ニ辨シタレハコ、ニ畧ス寶永三年建部某ニ賜リ今ニソノ子孫六右衛門知行セリ

檢地ハイマタ考ヘス

高札場村ノ東ノ入
口ニアリ

小名

千本木 南ニヨリ
シ所ナリ

叶谷 東ノ方
ヲ云

關口 元八王子ノ
界ニアリ

神戸 西ノ方
ヲ云

山川

淺川 西ノ方二分方村ヨリ流入村サカヒテフルコト
三十間許ニシテ北ノ方上一分方村ヘシ、ケリ

寺院

金谷寺 除地三段五畝小名叶谷ニアリ新義真言宗同郡寺方村寶生寺末叶谷山王
院ト號ス山號ヲ水帳ニハ野ト記ス開山關基ノ事詳ナラス本堂五間半ニ

本尊藥師ヲ安ナリ 仁王門 比造立セシト云 藥師堂 本堂ノ北ノ方ニアリ三間半ニ
像ニテ長一尺二寸許行基ノ作ナリト云 傍ニ立ノ由口碑ニ傳テ安ス 是ハ中古新ニ造リ
テ安セリト云相傳フ此堂ハイトフルト云 傍ニ立ノ由口碑ニ傳テ安ス 是ハ中古新ニ造リ
ス今ノ堂モ天正以前ノ者ナリト云 天正十八年元八王子城實ノ時此堂ニテ

上杉勢ノ兵糧ヲカシキシトモ云 天正十八年元八王子城實ノ時此堂ニテ
堂 藥師堂ノ方ナリニ 辨天社 小祠ナリ傍ノ東ノ
アリ九尺四方ナリ

大樂寺 除地二段四畝新義真言宗下一分方村西蓮寺末藥王山玉藏院ト號ス本堂五
間ニ三間本尊藥師木ノ坐像ニテ長八寸ハカリ行基ノ作ナリト云村名ノ五
リテ起ル所ノ寺號ナレハ古ハ大寺ニテ長八寸ハカリ行基ノ作ナリト云村名ノ五
ハウヲカッヘンモアラハ今ハ甚小院ニテ廢セサルハカリナリ

長圓寺 除地三段五畝淨土宗瀧山大善寺ノ末照念山ト號ス開山ハ本寺ノ瀧山大善
寺ノ中興開山讚譽上人ナリ起立ノ年月ハ詳ナラスサレトモ讚譽ハ慶長十

年ニ寂セシ人ト云ハ推テシルヘシ本堂五間ニ六間本
尊彌陀ハ信州善光寺ノ如來四十八體ノ内ナリト云
十王堂二間半
法泉寺 除地四段十六畝臨濟宗山田村廣園寺末神戶山ト號ス本堂八間ニ五間本尊
釋迦ハ高野山願行上人ノ作ナリ開山ノ詳ナラス開基ハ開山土佐ト云モ
ノコテ天文十五年起立セリ此土佐カ子孫ハ今隣村二分方村ノ里正關山ヲ氏トス
ル九兵衛ナリ天文ノ比ヨリコハニ住メテ舊家ナレトモ古記ヲ失フテ事實詳ナラ
ス村ノ水帳ニハ法泉庵ト記セ
リ近キ比寺號ニ改シナルヘシ

舊蹟

陣屋蹟 小名千本木ニアリ元祿以前八王子邊ニ御代官十八人住メ其比ノ陣屋跡ト
云此所ノ支配ハ高室四郎左衛門ナレハ其人ノ陣屋ナルヘシ今ハ百姓地ト
ナレ

乙骨太郎左衛門屋舖 小名叶谷ニアリコノハ舊蹟ト云モアヲサレト陣屋ノ因ニ
實其家ノ譜ニアルヘ
ケレハ零セルナリ

横川村

横川村ハ郡ノ中央ニアリ郷庄ノ唱ヲ失ヘリ江戸日本橋ヨリ行程十三里村ノ四境東
ハ八王子ノ内島ノ坊宿本郷村等ニトナリ淺川ヲ境トス南ハ下長房村ノ山上ヲカキ
リ西ハ元八王子村川村ノ二村ナリ北ハ大樂寺下一分方ノ兩村ニ及フ村ノ廣サ東西
ハ八町五十間南北ハ四町三十間村内スヘテ平地ニシテ水田ハ少ク陸田ハ多シ土性
ハ眞土ナリ民家九十軒所々ニ散住ス農ノ暇ニ蠶織ヲ專トス秣場村内ヨリ四五里ナ
隔テ、小津村山入村ニアリ延寶三年ヨリ代永錢ヲオサム檢地ハ寛文七年深谷喜右
衛門ナリ又村民定五郎カ所持ノ水帳ニ元和五年武州山之根横川郷御地詰帳ト題シ
テ村高ハ貫高ニテ田畑屋舖合四十四貫四百三十二文コノ收納モノ一貫六百五十七
目綿四十九束一丸上漆二十三束中漆十八束三丸下漆ト見ユコレヲ以テ見レハ貢モ
ノニ漆ナトアリシコトシラル今ハナシコノ時ノ檢地誰ナルコトハ傳ヘス御入國ノ
後ハ御料所ナリ正保二年ヨリ承應三年マテハ御代官高室喜三郎支配セシカ夫ヨリ
高室四郎兵衛大久保平兵衛設樂勘左衛門窪島市郎兵衛江川太郎左衛門平岡三郎右
衛門ナトカワルカワル支配シタリレカ寶永二年ヨリ同五年マテ松平美濃守御預地
トナリ又寶永三年二月藤澤大學カ先祖ニ賜リ正徳二年大學弟ヘ分地シテ今藤澤官
内ト大學兩人ノ采地ナリ

小名

高札場 二ヶ所 西北ハ小名塚戸ニアリ一ツハ
高札場ニケ所 西北ハ大樂寺村ヘ行道ニ在

- 龍原村ノ西ノ 五段田 是モ西ノ 六所 西ノ方ヘ
- ノ邊ニ 下原 中央 柳ヶ谷 中ホト 上内手 北ノ方
- ニア 八割 東ノ方 原 西ノ方ナリ 谷戸 西ヨリ 樋口 北ノ方
- 左京内手 塚 塚戸 西ヨリ 坂下 南ヨリ 塚場 南ノ方

山川

山城川 水源ハ元八王子古城蹟ヨリ出ツ故ニ此名アルナラフ村ノ西字蒲原五段田
 五六間ナリ常ニ水少シ
 城之越川 水源ハ元八王子村ノ内ニテ清水落合ヒテ一スナノ流トナリ村内小名五
 ナシ未流ハ下ノ一分方ヨリ華川ト云ハル流ト云小流ニテ常ニハ水
 浅川 マタ本郷村ヘ流レ入ル河原ノ幅一町半ハカリ早スレハ水涸ハツルコトマシ
 リア

水利

用水 前ニ云川々ヲヒキ
 水車ニケ所ハ字清水ト云所ニ在

橋梁

橋ニケ所川一ツハ小名瀧原ニアリ山城川ニ架ス一ツハ上内手ニアリ城之越

神社

神明社 社地百五十坪村ノ西ノ方ニアリ小祠ニテ上屋一間半ニテ間南向ナリ例祭
 ノ立像長五寸注連引ハ元八王子
 村西明寺ニ其事ニテ預ルト云

御嶽社 社地千二百坪小名下原ニアリ山ノ半腹ニテ登リ一町許小祠ナリ上屋一間
 寺ナリ
 八割稻荷社 社地一段一畝小名八割ニテ初午注連引ハ八王子間ニテ坊宿ノ修驗者嶋ノ
 坊ナリ
 山玉社 社地四十坪外ニ除地中田六畝五歩小名八割ノ下ニ

神明社 社地一段村ノ東南ノ隅ニテ注連引ハ小祠ナリ上屋二間ニテ注連引ハコノ嶋ノ坊ナリ
 地神社 社地六十坪小名原ノ把ニテ注連引ハ小祠ナリ上屋一間半ニテ間前ニテ島
 八幡社 社地五十坪小名上内手ノ東ニテ注連引ハ小祠ニテ上屋アリ村持

寺院

洞生寺 除地二段六畝十一歩秣場山ノ半腹ニテアリ新義興言宗同郡下一分方村西邊
 傳フ本尊不動木ノ立像長一尺三寸許リ行基ノ作ナリ本堂三間半ニテ六間南向ナリ
 又正觀音アリ木ノ立像長一尺許リ惠心ノ作ナリ本堂三間半ニテ六間南向ナリ
 内第十四番ナリト云今ノ山號ニ改メテハコノ寺ノ山號モ利主
 山ト云ヒテ後ニ今ノ山號ニ改メテハコノ寺ノ山號モ利主
 阿彌陀堂 境内四百坪小名瀧原ニテ尺許リ下二分方村相即寺ノ堂ナリ彌陀云
 舊家

百姓定五郎富澤氏ナリ先祖ハ主計ト云北條氏没落ノ時八王子ノ城ニテ討死ス法
リ今ノ定五郎
ニ至ルト云

人物

山本源次照重世々鍛冶ヲ業トス除地一
町一段三畝十四歩ヲ賜ル

山本重郎右衛門照廣是モ鍛冶ヲ業トス
除地六畝ヲモテリ

加藤六郎兵衛錫物ヲ業トス除地
六畝二歩ヲモテリ

加藤甚右衛門錫物ヲ業トス除
地八畝十二歩

加藤重兵衛錫物ヲ業トス除
地七畝十八歩

小津村

小津村ハ郡ノ中央ニアリ郷庄ノ唱ヲ失ヘリ村名ノ起リハ詳ナラス江戸日本橋ヨリ
行程十四里許村ノ四境東南ハ下恩方村ニテ西モ又同シ北ハ山入村ニ及ヘリ東西三
十町餘リ南北ハ六七町程村ノ中央ニ一條ノ河アリ民家ハ六十三軒ミナコノ河ヲ夾
ミテ散居スコノ内千人組ノモノ七人住リ地形ハ山ヲ負フテ村落アリコトニ幽邃ノ
地ニシテ四隣ミナ山ヲ以テ隔ツ戸々豊饒ニシテ風俗自ラ温潤ナリ隣村山入ナト、
ハ人氣大ニ異ナリ農耕ノ外男子ハ炭ヲ焼ナリ以テ專トシ又鉦ノ柄ヲキリ出スコト最

多シ女子ハ蠶桑織物ヲ業トス村内過半山林ニシテ猪鹿狸雉兎ノ類多シ猪鹿兎ハ
耕作ノ害ヲナスユヘコレヲ防ンタメ村民モユルサレテ鉄炮ヲタクハヘタク土地ハ
スヘテ陸田ニシテソレサヘワツカノ畝數ナリ土性ハ眞土ニシテ地ニ應タル草木ハ
楢桐川桐桑榎茅葎葛藤等ナリカ、ル僻地ナレハ村民山林ノ利ヲ專トス檢地ハ寛
文七年四月坪井次右衛門ナリ今ハ前田信濃守長祭川村外記二人カ采地ナリソノ賜
ハリタル年代ハ土地ニハ傳ヘス秣場村ノ西小名入山ニアリ

高札場小名中
津ニアリ

小名

原方村ノ西 中小津村ノ中央

山川

白澤村ノ東

官方村ノ東

入山村ノ西

小津川水源ハ村内谷間ヨリ涌出テハ村ノ中央ヲ流ル石川ナリ常ニ氷ナシ霖雨ス
ルトキハ水流ルソレトモソレサヘ涸ルハコト速ナリ川幅二三間下流ハ寺方
村ニテ案下川山入川ト合ス此外小渠二三
條アレトモ川ト云ヘキ程ナラテハ零セリ

橋梁

橋二ヶ所一ハ小名宮前ニアリ一ハ白澤ニア
リ共ニ小津川ニ架ス丸木橋ナリ

神社

熊野社 除地一段三畝二步村ノ東ニアリ村ノ鎮守小祠ナリ上屋二間ニ三間半拜殿
熊野社二間ニ一畝半前ニ鳥居ヲツツ例祭六月十五日ニシテ獅子舞アリ村民ノ持

山神社 除地五畝三歩村ノ西ニアリ
山神社小祠ニテ長向ナリ百姓持
神明社 除地三畝廿六歩是モ西ノ方ニアリ小社ニテ長向ナリ前ニ
神明社小鳥居ヲツツ毎年六月十五日神酒ヲツツコレモ百姓持

寺院

寶珠寺 除地一段三畝十三歩村ノ中央ニアリ禪宗曹洞派同郡下恩方村心源院末金
寶珠寺寶山ト號ス開山隨翁舜悅ナリ寂年ヲ傳ヘス本尊釋迦木ノ坐像長六寸作詳

法雲寺 除地三畝七歩村ノ中央ニアリ禪宗曹洞派下恩方村心源院末慈眼山
法雲寺ト號ス開山玉田天正十四年四月廿六日示寂ス開基法雲院甲巖勝信天正十

信義 三月十一日卒ト云ニテ其俗稱何ト云フ人ニヤ傳ヘス按ニ此人ハ武田太郎
信義トテ四郎勝頼ノ子ニテ年十六歳ノ時父ト共ニ甲州野田ニテ討死セシナリ本

尊彌陀 木ノ坐像長八寸作ツマヒラ
尊彌陀木ノ坐像長八寸作ツマヒラ
月心院 除地一段五畝七歩村ノ中央ニアリ禪宗曹洞派本寺ハ法雲寺ニ同シ開山天
月心院珠琳達元和二年八月十一日寂ス本尊藥師木ノ坐像長五寸運慶ノ作ナリ本

堂ハ五間ニ六間半 藥師堂 本堂ノ側ニアリ長二尺五寸運慶ノ作
堂ハ五間ニ六間半 藥師堂 本堂ノ側ニアリ長二尺五寸運慶ノ作
福泉寺 除地一段五畝二歩村ノ東ノ方ニアリ新義真言宗寺方村寶生寺末稻荷山ト號ス
福泉寺ト號ス起立ノ年代開山ノ僧詳ナラス本尊不動木ノ立像長一尺五寸本堂三

彌陀堂 本堂ノ側ニアリ二間四方東向ノ堂
彌陀堂ナリ彌陀ハ木ノ立像ニテ長一尺
地藏堂 本尊ハ木ノ坐像長二尺村内法雲寺ノ持ナリ
地藏堂本尊ハ木ノ坐像長二尺村内法雲寺ノ持ナリ

新編武藏風土記稿卷之一百五終

新編武藏風土記稿卷之一百六目錄

多磨郡之十八

小官領

高幡村 附持添森田

平村

大谷村

宇津木村

瀧山村

八日市村

中野村

程久保村

平山村

石川村

粟之洲村

平村

左入村

新編武藏風土記稿卷之一百六
多磨郡之十八

小官領

小官領ハ郡ノ中程ヨリ西ノ方ニテ國界ニアリ其四境ナイハ、東ハ拜島領ト日野領トニ界ヒ南ハ由井領ニ接シ西ハ相州津久井縣及ヒ甲州都留郡ニ限り又西ヨリ北ハ三田領ノ數村ニ鄰レリ其廣狹ノ凡ナイハ、東西ハ十里ニ餘リ南北二里ニ餘レリコノ小官領ニ屬スル村數スヘテ五十九村アリ領名ノ起ルトコロ土人ノ傳ヘニソノカミ領内草花村小官明神ハコノ邊ノ村民等崇敬シテ惣鎮守トナセシカハ其村々ヲハナヘテ小官領ト號スルヨシイヘトモ是モ附會ノ妄說ナルヘシ東鑑建久六年ノ條下ニ右大將家東大寺供養ノ供奉人ノ中ニ小官五郎左衛門トイヘル人アリ又嘉禎四年ノ條ニ賴經將軍上洛供奉人ノ中ニモ小官左衛門次耶直家ナト云人アリコレヲノ人ハ古ヘ此地ニ住セシナランカ應永ノ頃ノ文書ニモ小官ノ内某々トカキシルセルモノ見エタレハ古キ地名ナルコト知ラル寬正ノコロ上杉上野介憲明トイヘル人此地ニ住シテ氏ヲ小官トアラタメ世々上野介ヲモテ通稱シケルカ子孫ノモノ天文ノ末ニ至リ北條氏ノタメニ終ニソノ家ヲ失ヒタリカ、ル由歴アレハ竟ニ領名トハナ

レリ

高幡村 付持添新田

高幡村ハ或ハ日野領ニ屬ストモイフ得恒郷ト號セリ按ニ和名抄郷名ニ都筑郡高幡郷アリ古ハ此邊モ都筑郡ニ屬セシニヤ今地理ヲ見ルニ村內金剛寺ノ峰ヨリ程ナク都筑ノ岡ヘ續キタレハイカニモカノ郡ニ屬セシナルヘクオモハル況郡界ノ變革ハアマタアルコト前ニモホ、辨セシコトクナルヤ江戸日本橋ヲ距ルコト十里餘郡ノ東南ノ方ニアリ家數三十軒所々ニ散住ス其地ハ程久保村ノ北ヨリ淺川ノ河原マテノ間八町ハカリノ廣サナリ東西モ亦十町ニアマレリ東ノ方三澤村ハ由井領ニシテ西北ノ隣平上田宮新井ノ諸村ハ皆日野領ナリカクノ如ク四方ミナ他ノ領ニ間リテタ、程久保ト當村ノミ小宮領ナリ水田ハ多ク東ノ方ニアリテ大低七分ハ水田三分ハ陸田ト山林トナリ土性ハ眞土ナリト云當村開闢ノフルキコトハ古刹ナト今ニ殘レルニテモ想ヒヤルヘシ御入國ノ後ハ御料所ニテ正保ノ頃ハ福村長右衛門カ御代官所ト金剛寺領入會ノ村ナルヨシ田園ノ簿ニミエタリ檢地ハ寛文七年長右衛門タ、セリ今ハ松平龜五郎カ知行ナリ

又高幡新田ハ當村ヨリ十町許ヲ隔テ、豐田村ノ北ノ方ニアリ日野本郷新田ノ續キ

ナリ古ハ高倉野ト號シテ原野ナリシカ享保年中開墾シテ同キ十九年寛播磨守正舖カ檢地ヲウケコレヨリ新田トナレリスヘテ陸田ニシテ野及ヒ林モアリ

高札場

村內里正ガ宅

地ノ前コアリ

小名

後知方ナリ

別旅村ノ北東ニアリコノ地名ノ起リハ村內

神社

若宮明神社

除地七畝十歩畑二畝二十歩小名別旅ニアリ小祠ナリ金剛寺不動緣起

剛寺持

ルヘシ金

寺院

不動堂

向拜付ノ堂ニ間半ニ間唐破風ヲ設ク本尊ノ不動ハ弘法大師ノ作ニ

化身ノ人ノ作ナリト云ソレヲイカニト云ニ何レノ年ニカアリケシ異僧來テ

ノ不動ニ二童子ナリト云ソレヲイカニト云ニ何レノ年ニカアリケシ異僧來テ

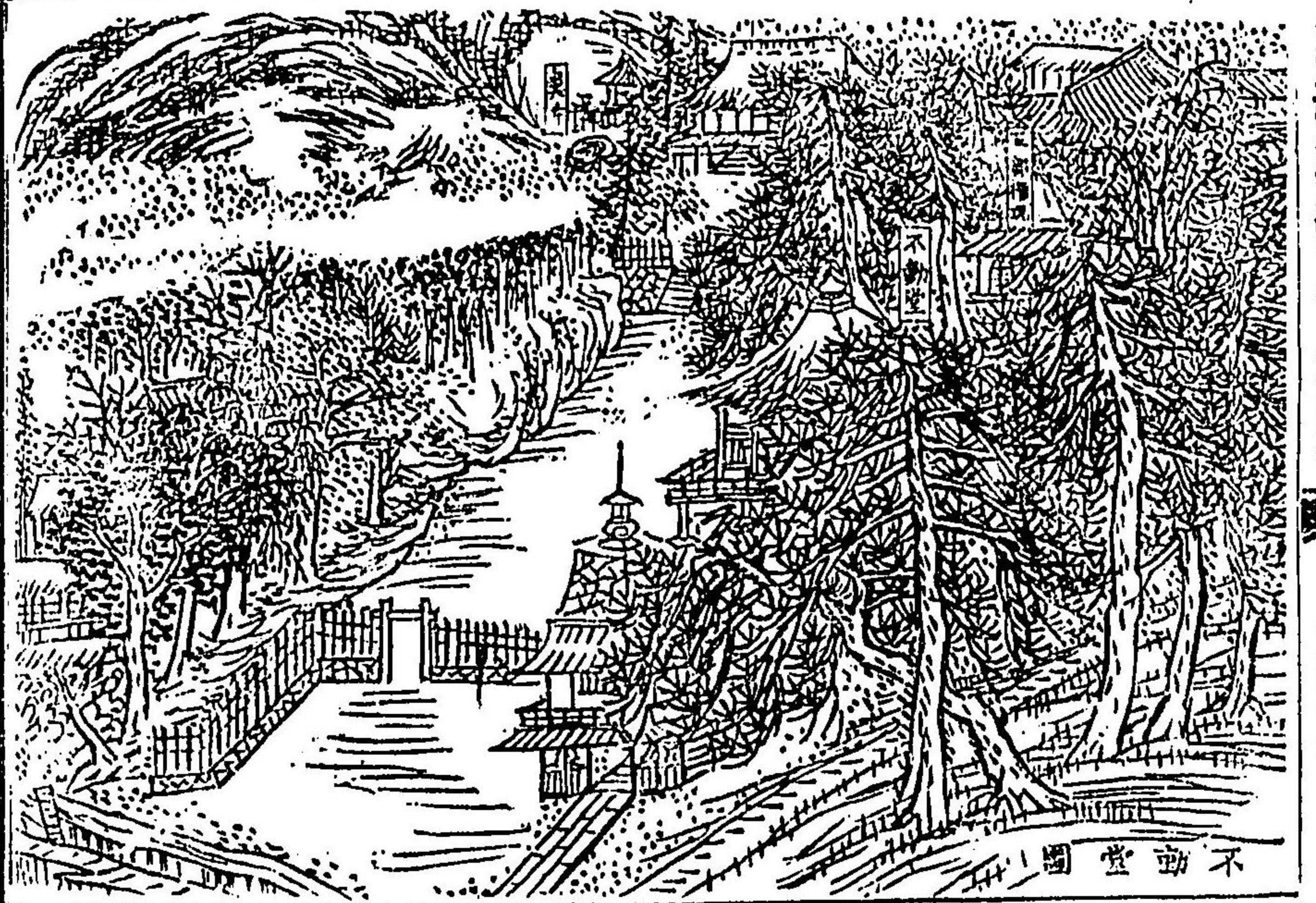
ヤカテ一室ニ入テ戸サシカカクシ出サレケリト云ソレヲイカニト云ニ何レノ年ニカアリケシ異僧來テ

其地ヲ別旅ト號シテ願テ社ヲ建テ別旅明神ト號シテ抑此堂ノ村內ノ鎮守トシテ

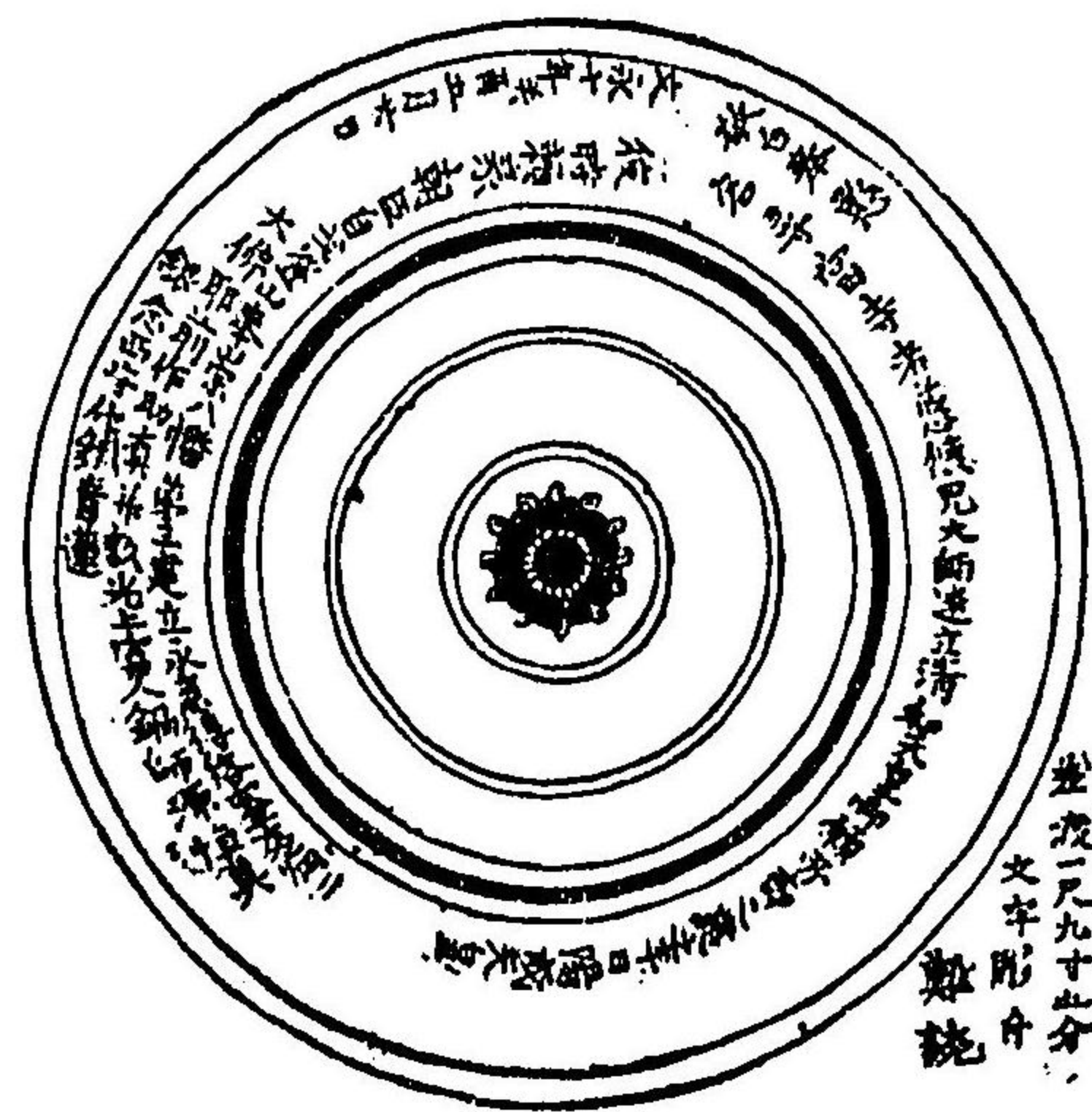
ノ地ヘ稻荷ヲ祀リテ願テ社ヲ建テ別旅明神ト號シテ抑此堂ノ村內ノ鎮守トシテ

ハ古キ堂ナルヲ建テ願テ社ヲ建テ別旅明神ト號シテ抑此堂ノ村內ノ鎮守トシテ

ハ古キ堂ナルヲ建テ願テ社ヲ建テ別旅明神ト號シテ抑此堂ノ村內ノ鎮守トシテ



御再建アリコノ時口創臣コノ地ニ下
向アリテ八幡ニ崇メ祀リ第三ノ建立ハ
文永十年ニシテ美作介某大極那ヲリシ
ト云コトマテモ詳ナリコノ後應永年中
ニ至リテ沙門乘海カ堂宇
再興ノ勸進帳アリ其文ニ



建永一八九十七年
文字形
勸進帳

勸進沙門乘海敬白

請特賴法界檀越恩施。誘有緣無邊道俗。修造武州多西郡得恒鄉常
住金剛寺不動堂。祈抑官繁昌武威成朝野平安之大願狀。

原以夫大聖濟度之方使者。以上求我爲最。教令忿怒之誓約。目下化
衆生爲證矣。抑當于武藏野沙焉之坤儀。比于富士山鬚鬚之天象。有
一靈峯。號高幡山。今常住金剛寺是也。本尊則大聖不動明王靈像。揮
大智利劍。摧伏三世魔障。靜謐四夷逆亂。提大悲繩索。接縛煩惱罣賊。
引入難解之佛道。若稽奇岩聳峙壇上。峨峨青山自成。瑟瑟之磐石洪
河湧流砌下。蕩蕩碧浪。鎮湛如來之智水。尊地相摩之依所。行願成就
之靈場也。此練若者則大寶以前之草創。年號不次之勝躑也。時代雖
經年。靈驗盛而于今。尊像誠高大也。誓願亦深廣也。背兌面震之坐。類
表東關鎮護之瑞相。右南左北之勢。寧非夷狄降伏當體乎。此尊寄恃
雖有其數。先流汗事。近代現證者岩殿山御合戰。河越沒落。小山御退
治。若犬滅亡。奧州御發向。每度流汗。上將武畧勇猛之護持。坂東鎮衛
無雙之効驗。國中皆驚怖。世以所知也。爾間勝光院殿依御靈夢之所

感割菜邑所有御寄附也一人有慶兆民賴之云云天下御崇敬既以如此卒土盡浴其風哉然去建武二年之比有一人沙門歎精舍之風損顛沛引下平地奔營修興造畢已成不知行方退失偏可謂冥慮矣爰沙門某因瑞夢之告發覺悟之願移根本之遺蹟欲修復伽藍或建立高峰岩嶮之岫或安置幽谷深谿堅之曲頗匪前後與聖意樂自由之所致殆緣元來本尊隨宜利物之功德是以經云如說是大明王無其所屈但在往衆生心想之中因旃欲勵土木之功無投一材力不如勸誘十方檀施持遂一字造切庶貴賤道俗投寸鉄尺木之輕材合願力播一紙半鵝之勘施與善緣莅大聖明王悲愍甚深之願海誰不掉生生而加護之船筏遊阿嚧二童奉仕供給之覺臺各應折平等如一宇花萼矣乃至法界平等利益仍勸進旨趣如件

應永廿二年二月日

沙門乘海敬白

高幡不動堂造營勸進帳分倍之臺岐律師依展轉所望草案畢此草案領掌未定之時分正月廿六日夜夢四方大山皆磐石也此山頂上

登越見次夜又索印結給等身程不動直奉拜相續兩夜依感見靈夢成奇異思急廿八日警進了

コノ文ニコレハ大寶以前己ニ草創アリセナリサレハ弘法大師ヨリ前ニモ何人カ庵室ナト結ビシテ後ニ大師コノ本尊ヲ作リテ安置セシメテ後古刹口ノ刻文ノコトヲ慈覺大師ノ中興セシメテナラントカクテ下ニ辨別セリ茶湯石堂ノ後ニアリテ信用スヘカラスナホ別當寺ノクタリノ下ニ辨別セリ茶湯石堂ノ後ニアリテ煎ト呼フ喪服ノモノ百日至レハ當所へ來リ茶湯料ヲ納メ別當所ニシテ茶ヲ石ト持來テ此石ニ灌ク自然石ニシテ上ノ方細ク下ニ到テ太シ高ク二尺七寸程古碑三基日右ノ方ニ側ニ妙左ニ德行口アリ一字存セリ一ハ應永三十年十月廿四刻セ五郎權現祠守ナリ祭神ハ八幡稻荷丹生高野青龍權現ノ五座ナリ仁王門堂ノ前十間許隔テアリ四間別當金剛寺朱印地ノ内ナレハワキテ定レモ御ニ二間半力士ノ像作レシ末ナリ高幡村ト號ス寺領三十石ヲ賜ハル御朱印ノ文ニ橋樹郡ノ内三十三石并境内山林不入ノ由ヲ載ス故ニ今モ境内及ヒ寺領ノ内ノミハ橋樹郡ト號セリ寺僧ノ傳ヘニイフ初メ御朱印ヲ賜ハラフコトヲ請奉リシキ故アツテ橋樹郡マテ出テ願ヒアケシユヘ御朱印ノ筆者同郡ノ寺トオモヒカト書セシナリト左モアルヘキヤ乘海法印カ應永年中ニ書セシハス今ハ慈覺大師チ年中ノ起立ナリト云サレト其比ハ何人ノヒラキシコトヲイハス今ハ慈覺大師チ開山トセリ中興開山義海上人ハ建武二年三月總門仁王門ニナラヒテ本堂寂セリコレヨリ現住マテ二十六世ニ及フト云鐘樓本堂ノ前ニアリ門ノ正面ニアタレリ其間三十四五間ヲヘタツ十二間半鐘樓本堂ノ前ニアリニ九間ナリ本尊不動作レシ木ノ坐像ナリ長四尺五寸

奉鑄直武州橋樹郡德恒鄉高幡山常住金剛寺椎鐘一口

夫本尊明王誓願者外現極惡忿怒之貌拂四魔三障之外難內極忍

辱慈悲之惡念。哀愍衆生之心。於見聞之輩。任蓋消息之。抑此靈場者。傳聞謂大寶年草創。歲久鎮座此處。阿嚕二童子者化身僧造之。見舊記。背兌面震之像。鎮護國家之梵刹也。故鑄改洪鐘。脩晨昏禪誦之。起止。蒲牢逸韻。上徹天宮。不及他界。驚無明煩惱長眠。開淨音提心之覺。估矣。往昔林氏吉勝。雖鑄造。押移星霜。顛沛同氏正清。有志雖及數年。无力送日。造時發旨。至時哉。喜同心之輩。有力施主。今既成。伏願者奉爲大檀那。御武運長久。家臣安穩。愬而爲四海泰平。五穀成就。萬民豐樂。別爲伽藍安全。與望依法矣。頌云。

高幡金剛蒲牢音驚煩惱眠脫若響應遠近中官商君臣豐樂四海穩。

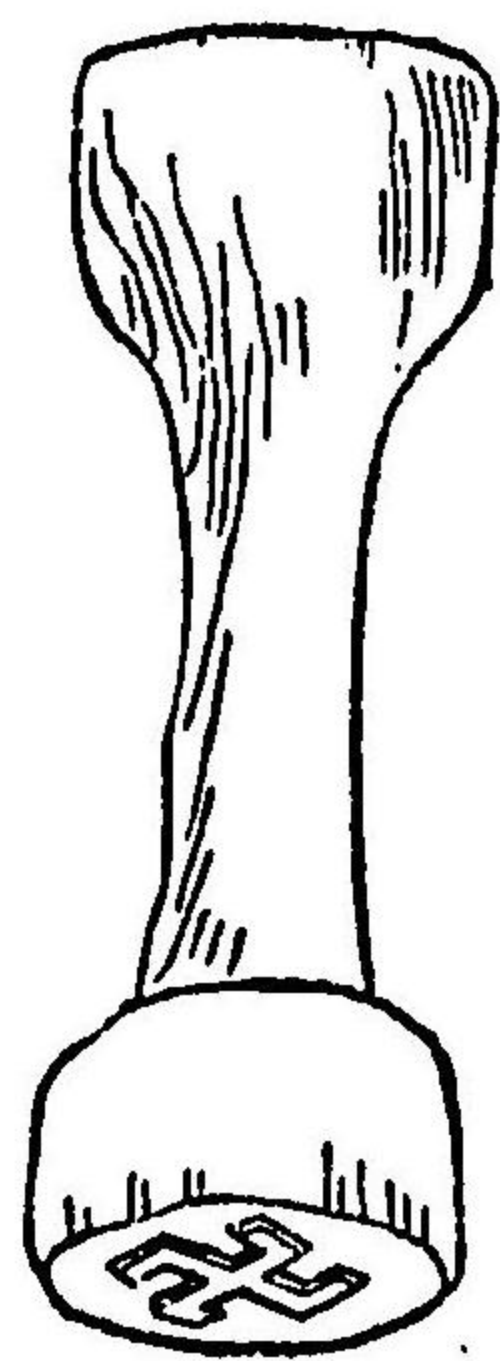
時貨享三丙寅年霜月四日

三澤施主 大工横川 加藤三郎右衛門宗次

又右衛門吉光

開眼導師法印權大僧都周海上人

寺寶 武者所平山左衛門尉季重太刀一腰 無銘ニシテ白鞘ナリサレトツノ鞘モイ



分蘗刀造表裏中乃ノ中ホ 寶印 木印ナ
トニ不勳ノ二字ヲ彫ル 寶印 木印ナ
餘材ヲ以テ造リシ印ナリト云傳フ其國
左ノコトシ大低圖ノコトシ片面ニ不勳
ノ種字アリ片面ニ云字ヲ刻キ今モ公
ヘ奉ル符ニ押スト云木ハ何ト云コトヲ
シリカタケレト白檀ノ如キモノナリ
塔中長幅寺 惣門ノ左ニコアリ四

程久保村

程久保村ハ高幡村ノ南ニアリコレモ古ハ得恒郷ニ屬セシナラントイヘリ江戸日本橋ヨリ行程十里餘人家二十五軒東ハ三澤村ニテ南ハ由木領堀之内村ナリ西ハ平山村北ハ平高幡ノ二村ナリ東西ハ一里餘南北ハ二十町許スヘテ十分ノ八ハ山林ニシテ出畑ハワツカニ十分ノ二ニスキス農耕ノ暇ニ炭ヲ燒テ生産トスルモノ多シ一村スヘテ私領所ナリ當村昔ヨリ諸役免許ナリ相傳フ昔山林ニ屬ノ巢アリシトキツノ番ヲ勤メシニヨリ諸役ヲユルサレシト

高札場 村ノ中程

小名

上分 曾継市之丞カ知 下分 中根主税 知行ス

神社

神明社 除地八畝村ノ鎮守 別當正副寺 社地ニ住ス新義具官宗三澤村醫王寺末開
年ニ三間本尊處 空藏ヲ安置ス

寺院

地藏堂 年貢地六十坪下分ニアリ四
地蔵堂 間ニ三間三澤村醫王寺持

舊家

百姓倉之助 田倉ヲ氏トス先祖ハ八王子北條氏ノ家人ナリシカ天正十八年落城ノ
後當村ニ來住セリ近キ比マテ古書及短刀ヲ藏セシカト夫モイツカ失
ヒタリト云又別ニ古記録アリ先祖ヨリ一覽ヲ禁メタリトテ他見テ免サスモト
ヨリ山家ノ農夫ニテ文字ノコトモシラサレハ家ノ由緒ヲモリキマヘスト云

平村

平村ハ今小官領ニ屬スレト或ハ日野領ナリトモ云ヘリ郷庄ノ唱ヲ失フ村名ノ起リ
ハ正シキ證據モアラサレト村内小名コントウト云所ニ平齊綱ト云シ人ノ墳ナリト
テ文祿八年トシルセシ碑アリコノ人古クヨリ當村ヲ領セシニヨリテ平村ノ名ハ起
リシニヤサレトコレ等ノコトハ土人曾テ語りモ傳ヘサレハ實ニ然ルヤシルヘカラ
ス江戸日本橋ヨリ行程十里餘村ノ四境東ハ高幡村ニ續キ南ハ程久保村ニ及ヒ西ハ
平山村ニ隣リ北ハ淺川ニ限リテ川ノ向ヒハ由井領ノ内豐田日野領ノ内川邊堀之内
上田ノ三村ナリ東西二十二町アマリ南北十町許民家八十二軒所々ニ散住ス村ノ地
形南ノ方ハ皆山ツ、キニテ高低ノ地ナリ土性ハ眞土ニテ水田多ク陸田少シコノ餘
山林及ヒ秣場アリ檢地ハ寛文七年隣村高幡ト同シク福村長右衛門タ、セリト云ヘ
ハコノ頃當村モ長右衛門カ御代官所ナリシトミユ今ハ松平龜五郎カ知行所トナレ
リ

高札場 村ノ中央

小名

木伐澤 村ノ西ノ方ニアリ高幡村不動ノ縁起ヨレハ昔平山武者所季重カ不動
堂ヲ再建セシトキコハニテ材ヲ伐トリシユヘ後其地ノ名トナレリトイ
ヘリ不動縁起コハ 臺山 村ノ中ホ、山際 東ノ方 井上 北ノ方淺川ノ河原ヘ出
木切澤 村トアリ 臺山 村トニアリ 山際 東ノ方 井上 北ノ方淺川ノ河原ヘ出
名高キ井アリ近郷三井ト云 コンドウ谷 戸高幡村ノ
テ名アル井ノ一ナリト云

神社

熊野社 社地十坪村ノ西南ノ方山上ニアリ小祠ナリ永祿ノ比シルモノ
平山ト平村トノ間ニ熊野堂山ト云アリコノトコロノコトナルヘシ

牛頭天王社 社地十五坪村ノ東ノ方ヨリ御寄附アリ祠以上ノ二社へ 別當壽福寺 境内百
坐頭天王ノ傍ニアリコレモ永祿ノコノモ平水山ト號ス開山開基詳ナハチ當寺
ノコトナルヘ新義眞言宗高橋村金剛寺末平水山ト號ス開山開基詳ナハチ當寺
大日本ノ坐像長一尺三寸本堂九間ニ六 藥師堂 本堂ノ前ニアリ九尺四方ノ堂ナ
間半南向ニシテ境内ハ神領ノ内ナリ

墳墓

塚 小名コソトウ谷戸百姓又左衛門カ屋敷ノ内コアリ大サ三間四方許上ニ青石ノ
碑アリ文永八年辛未中冬日トアリ土人云平資綱ト云ヘルモノノ碑ナリト資綱
ハ此所ニ住メ人ナリトハイヘト俗稱ハ傳ヘス里民或ハ平コソトフ資綱ト云レハ
イヘト文字モ詳ナラス又コノ俗稱ハ傳ヘス里民或ハ平コソトフ資綱ト云レハ
文字磨滅シテ讀ヘカラスコノ餘百姓五郎兵衛ト云モノハヤシキ内ニ應永
三十一年永享ナト彫碑アリサレト何モノノ墳ナルコトハ知ヘカラス

舊家

百姓太左衛門 平ナ氏トス世々名主ヲモツトメ在名ヲ稱スレハイカモ由アル家
云此太左衛門カ家ヨリ庄五郎ナルモノ先年千人組井出庄左衛門カ出カ子トナリ
古郷ニ歸リ幾許モナク死ケレハソノ妻ハ薙髮シテ了譽ト稱シ今コノ家ニ寄寓セ
ル所ノ文書數通ヲ傳ヘシソノ内ニ通ハ享保年間上村ノ今川家ニ仕ヘ日ノ左
衛門カ由緒ノ爲ニ讓與フコノ其村舊家ノ條ニ載タレハ合セミルヘ丁譽カ今
通左ノ如ク

今川治部大輔義元文書八通

駿河國富士上方之内稻葉給并被官百姓居屋敷等事

右今度當口從最前依馳走之患爲新給恩如前々所宛行也彌可勵勤勞之狀如件

天文十二癸卯年四月十四日

治部大輔花押

井出左近大郎殿

如去卯年之印判取刷百姓等引付可相計其外見合走廻今勤勞之輩可申合彌可抽
戰功之狀如件

天文十三甲辰年閏十一月二日

治部大輔花押

井出尾張守殿

駿河國富士上方大官司領之内自先規相拘分一圓爾令領掌畢不可有相違但大官
之社役等者可勤之并大官之中奉行職是又可任先例者彌可抽勞功之狀如件

天文十三甲辰二月六日

治部大輔在判
井出尾張守在

- 一曲金當所務之內半分之事
 - 一一色之事
 - 一富士上方之內大橋佐野兵庫助分之事
 - 一後藤大炊助分之事
 - 一大窪北原長貫之事
 - 一大官屋敷半分停止諸役事
 - 一水沼代官分此內社役如年來相勤其外內德分可所務事
- 右任祖父尾張守護領掌畢但井出左衛門次郎諸事令納得陣參奉公可勤之若左衛門二郎於有不勤之子細者左衛門二郎知行分一圓可相計者也仍如件
- 天文十八年十二月十三日

治部大輔在判
井出善三郎在

駿河國富士上方大官司領之內從先規相拘分一圓百令領掌訖不可有相違但大官之社役等者可勤之并大官々中奉行職是又可任先例者彌可抽勞功之狀如件

天文貳拾壹壬寅年二月十七日
治部大輔在判
井出善三郎在

駿河國富士上方內井出甚右衛門尉知行稻葉給并被官百姓居屋敷等之事
右甚右衛門尉女子松千代爾就令契約爲一期彼地代之證判相副如前々一圓可讓渡之旨領掌向後不可有相違同道者坊之事如年來可相拘之但貳貫五百文宛之儀者爲造營分每年大官代官江可相渡其上或實子出來或自餘之寶親類縁類等雖企競望甚右衛門讓狀明鏡之上者一切不可及許容若彼契約旨於令違變者甚右衛門尉借置錢米速令沙汰知行松千代女へ可還附彼知行內官分神事諸役等如前々不可令怠慢至無沙汰者官分可令改易守此旨彌可令奉公之狀如件

天文貳拾三甲寅四月廿四日
治部大輔在判

井出惣左衛門尉子
千代壽丞

駿河國富士上方内稻葉給并被官百姓居屋敷等井出甚右衛門尉遺跡之事
右依無男子女子松千代仁千代壽申合讓與之旨證文明鏡之條永領掌畢然而為陰
居分貳拾貫地雖令割分既堯吉死去之上者彼貳拾貫地共一圓可令知行之并道者
坊之事可為如年來但自道者坊内貳貫五百文宛之儀者為造營分每年大官代官在
可相渡知行之内官分神事諸役等如前々不可令怠慢至于無沙汰者官分可令改易
遺跡之儀於自今以後兄弟親類縁類等雖企競望一切不可許容者也仍如件

弘治二年五月廿六日

治部大輔在判

井出千代壽丞

去々年信州江富士下方之人數為甲州之合力差遣之處就井出甚右衛門尉煩一官
出羽守ニ相斷令歸陣彼煩終不平愈令死去之上廣瀬三右衛門尉并土橋彦三郎為
訴人構虛病致歸陣之旨訴出之條雙方遂裁斷之處一官出羽守為證文之間尋之令
糺明之上相煩旨無紛由返答殊依其煩令死去之條甚右衛門遺蹟所付道理也然者
知行之事者遺跡千代壽仁永無相違領掌了若重於及其沙汰者任通法可加下知社
役之事者如年來以名代可勤之者也仍如件

弘治參年六月廿二日

治部大輔在判

井出惣左衛門尉丞

今川氏真文書 三通

- 一勾金當所務之内半分之事
- 一一色之事
- 一富士上方之内大橋佐野兵庫助分之事
- 一後藤大炊助分之事
- 一大窪北原長貫之事
- 一大官屋敷半分停止諸役事
- 一水沼代官分此内社役如年來相勤候其外内德分可所務之事
- 一富士上方職奉行如前々可申付事

右就善三郎東西陣番借錢借米過分引負依遣退困窮惣左衛門尉娘伊勢千代仁善三郎子千熊令契約知行以下相渡之由任善三郎證文之旨永領掌了縱親類同心被官人以下雖令難遊一向不可及許容若干熊伊勢千代令離別者借錢借米過分仁令辨償其上善三郎存生之間加扶持之上者知行等可爲伊勢千代計次同心等之事千熊手前就相離者知行切符等召放別人於入替可申付候守此旨陣番奉公不可有怠慢者也仍如件

永祿四辛酉年閏三月十日

氏眞花押

井出千熊

駿河國井出善三郎當知行分之事

右任先判形旨領掌畢然者勾金一色兩所有子細雖令改易今度錯龍之割則而於大宮城令奉公之條彼兩所爲新恩所今還附也并富士上方屋敷分停諸役如前々不可有相違自今以後同名親類橫妨之輩一切不可許容守此旨彌可勵奉公者也仍如件
永祿十二己巳年六月九日

氏眞花押

井出伊賀守

去廿九日武田信玄富士城へ被取詰之處於南口最前總合無比類走廻之段太以神妙之至也守此旨彌可抽戰忠狀仍如件

永祿十二年七月五日

氏眞花押

井出伊賀守

平山村

平山村ハ高倉庄ニ屬セリ或ハ舟木田庄トモ唱フレトコノ庄名ハ近郷ニモキコヘサル地名ナレハタシカナヲス領ハ今小官ニ隸スレヨ日野領ナリトモイヘリ村名ノ起リハ昔平山武者所季重カ住セシ地ナルヨリ平山村トハ名付シナラントイヘリ季重カコトハ村内日奉明神及大福寺ノ條ニ出シタレハ合セミルヘシ江口日本橋ヨリノ行程十里餘村ノ四境東ハ平村ニナラヒ南ハ山積キニテ由木領ノ内堀之内村ナリ西ハ由井領ノ内大和田北野ノ二村及柚木領ノ内長沼村ニ接シ北ハ由井領ノ内豊田村

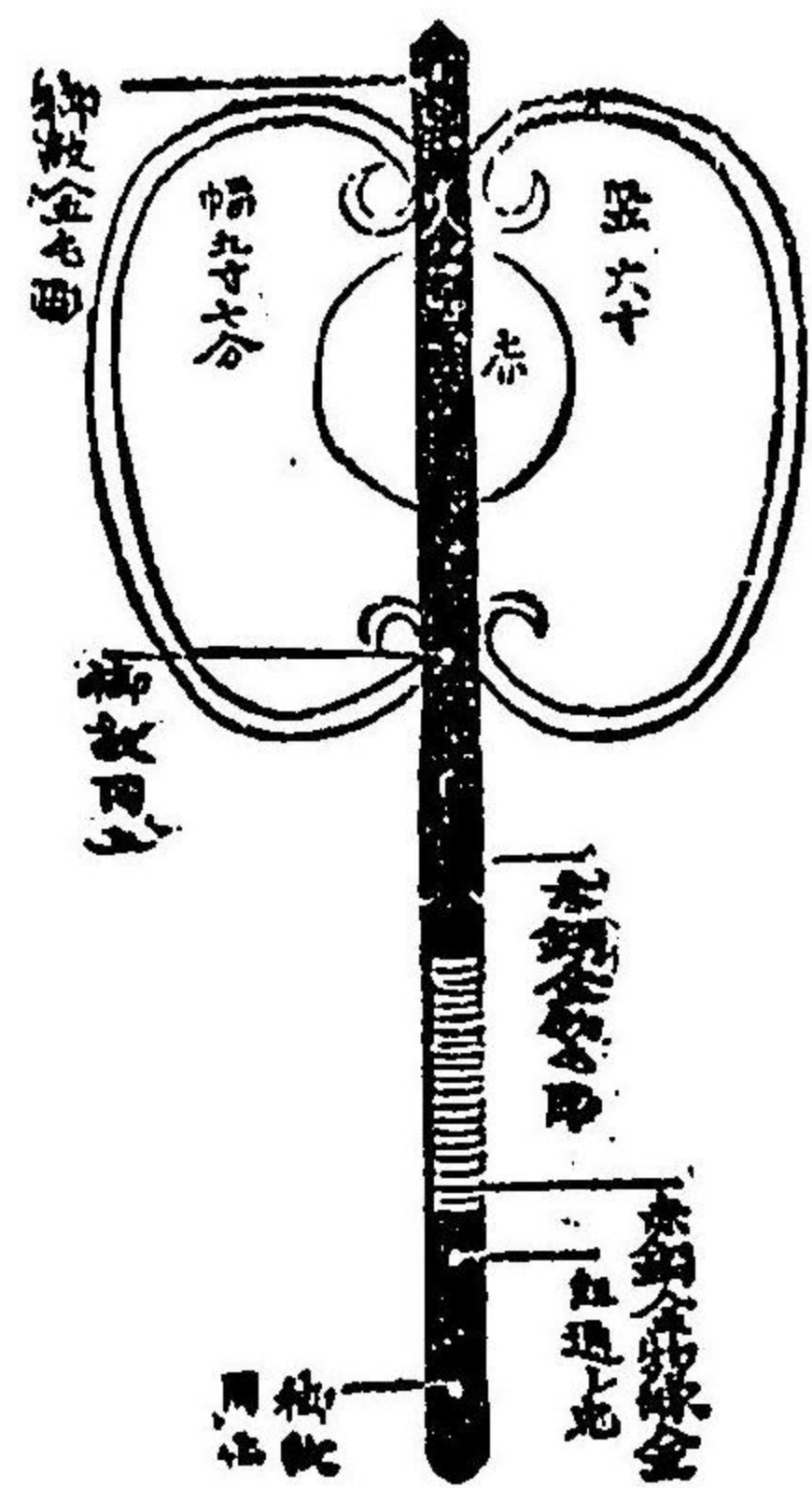
日野領ノ内日野本郷新田ニ及ヘリ東西一里南北十町許土性ハ眞土野土相半シ水田少ク陸田多シ山丘所々ニアリテ地頭林及百姓ノ林ソコハクナリ散在野ト呼テ纏ハカリノ秣場モアリ民家百二十軒村ノ南ノ方ナル山丘ニヨリテ散住ス當村古ノコトハスヘテ傳ヘス御入國ノ後ハ御料ノ地ナリシナルヘシ正保ノ比ハ高室喜三郎カ御代官所及ヒ中山助六郎桑島孫六カ知行入會ノ村ナル由モノニミエタリ其後新懸之地出來シカハ享保年中齋藤喜六郎檢地シテ租税ノ數ヲ定メ御代官養笠之助支配セシカ寛延二年遠藤備中守ニ賜フ今モカノ三人ノ子孫中山勘解由某桑島孫六某遠藤備中守某知行セリ

高札場ニアリ

小名

大上方ノ西ノ宿ノ上邊大福寺ノ屋敷寺ノ傍モ大福久保山屋敷ノツ、中村トナホ下村東ノ方大出口村ノ中央小出口大出口ノツ井ノ上村ノ中山ニ傍タル所ナリコハ古キ井アリ常コ中組大和田村堺ニ在下和田モ淺井筒ヨリ水溢レリ近郷三井ノ一ナリト云同川ノ向ヒノ方ニアリ

山川



三世不可得
至道菴主
禘

淺川村ノ西北ノ方大和田村長沼村ノ邊チハテ東ノ方平豊田村ノ堺ニ達ス河原ハ幅一町アマリ平氷ハ六間ヨリ八間程ノ川幅ナリコノ川ヨリ架セル柴橋二ヶ所アリ年々十月ヨリ作リテ往來ス一ハ中央ニ在

神社

八幡社村ノ前ニあり若宮八幡ト號ス小社ノ由メ給ヘリ御軍配團扇及ヒ御旗ナリ日ナリハ昔ヨリ一巻ノ書ニシルシテ傳タリ由メ後年丙丁ノ爲ニ鳥有セリト又東照宮ヨリ御願書アリコレハ深ク社内ヨリサオキテ御軍配御旗ノ圖上ノコトヲユルサメオキテ御軍配御旗ノ圖上ノコトシ御軍配兩面金地ニ表サ各二寸六分日ノ丸裏ノ方銀ノ圓月大サ各二寸六分縁ハ赤銅ニ唐草ノ毛彫リ眞紅打紐キレ損シテ一尺許リ殘レリ御旗ハ長四尺六寸許幅一尺三寸八分上ノ方ハキレテナ今アル所ノ文字ハ南光坊天海僧正ノ書ナリ御寄附アリ朱印社領八石七斗ハ村内ニ御寄附アリ傍ニ住セリ
二基社武内宿禰カ奉納セシモノナリト

イヘト安藤ナルコトハ論ヲマタスシテアリ元龜四年八月十五日天正十年三月天
田原北條家ヨリ賜ル禁制ノ書札ノ寫シテアリ元龜四年八月十五日天正十年三月天
正十五年八月五日以上三通アリ然レ
日奉明神社村ノ南ノ方山上ニ有七小祠平山武者所重カ靈ヲ祀レト云近村引田
主日奉之朝臣平山右衛門大夫也トアリ是ニヨレハ當村モ昔カノ人頭セシ所ニシ
テ村名モ平山ヲ唱フレハ後世季重ヲハ祀リタルナラン例祭ハ三月六日ナリ則チ
季重カ没セシ
日ナリト云

寺院

大福寺 境内見捨地十間ニ廿間餘小名屋敷ニアリ禪宗曹洞派由木村永林寺ノ末山
ト號ス卒年ハ詳コセサレト季重ハ鎌倉朝時代ノ人ナリト云本堂八間
トシラ本尊千手觀音立像ニ
ニ四間本尊千手觀音立像ニ
客殿ノ傍ニ三間アリ日奉地蔵ト稱ス堂ハ二間半四方地蔵ハ本堂ノ傍ニ在
コノ堂ヲ建シトイヘリ是モ日奉地蔵ト稱スレハ失フ
宗印寺 除地五畝禪宗曹洞派由木村永林寺ノ末山開基ハ中山助六郎照
永十二年正月廿六日寂ス至リテ起立以來ツカノ庵ニシテ未タ寺號モ唱ヘナリ
長三尺ハカリ客殿
五間ニ七間ナリ
德善院 除地一段十四歩村ノ東ニヨリケアリ新義真首宗高幡村金剛寺ノ末開山及
起立ノ年歴ヲ傳ヘス本尊大日坐像ニテ長一尺五寸許客殿七間ニ五間ナリ

彌陀堂 境内ニアリ二間半四方彌陀 藥師堂 村ノ中程コアリ藥師ハ坐像長六寸許
持寺

舊蹟

館跡 淺川ノ北岸ナル丘ニヨリテアリ何人ノ館跡ナルヤ定カナラサレト土人ハ平
又コノノ續キ小名大淵ト云所ニ柴山アリテ野狐ノ巢穴アリ其邊ヨリ近キ年土
人等圓鏡數枚ヲ掘得タリト云今モ二枚ヲ持傳ヘタレハ季重カ住セシト云ハシ
ラシオキテイッレ古キ世ノ人ノ住居跡ナルコトハ論ナカルヘシト云ハシト云ハシ
ノ際ニ古墳數多アリ其所ヨリモ古瓦出シタルコトハ論ナカルヘシト云ハシト云ハシ
明器ノ類ヲ掘出セシナルヘシ又塚チアハキテ陸田トナセシト云ハシト云ハシ
村ノ鎮守八幡ノ社内ニ納メ置タルニ何レノ者ニカ奪ヒ去レシト云ハシト云ハシ
此古墳ハ全ク當所ニ住セシ人ヲ葬シタルニシテ是等及ヒ隣村引田村ノ日吉社
ニアル天正十七年ノ繪馬ニ當領主日奉朝臣右衛門大夫云ト記セルニ合セオモ
ヘハ天正ノ比マテ平山季重カ子孫ニテ住セシト見エタリサレト土人ハ
季重カ館跡ナルヘシト云ノミコテイッレカ證跡ナキ時ハ強テ定メ難シ

大谷村

大谷村ハモト中野村ノ内ナルヨシ百姓十右衛門カ所藏ノ天正十九年四月ノ水帳ニ
シルシタリ則中野村ノ北ノ丘ニツ、キタル村ナリ江戸日本橋ヨリ十一里スヘテコ
ノ邊ハ土人谷間ニ住居スル地ナレハコノ村名アリト云東ハ石川村ニ續キ谷地川ヲ
堺トス北ハ宇津木村ニテコノ堺モ谷地川ノ流ナリ南ハ大和田村ノ陸田ニツ、キテ
往還ヲ界トセリ東西二十町餘南北二十五町程民家ハ四十二軒谷間ニ散住ス水田ハ

隣村石川村ノ地ツ、キニアリイツレモ谷間ノ泥田ニテ薄土ナリ天水ヲ待テ耕ス水田ハ十分ノ四ニシテ六分ハ畑及ヒ山林丘陵ナリ天正十九年ノ檢地帳ニハ小島又十郎都筑清大夫中村助五郎等カ交名ヲ注セリコノ後延寶四年近山友閑内藤六右衛門等再ヒ檢地セリ今御料所ハ小野田三郎右衛門カ御代官所ニシテソノ餘ハ荻原頼母窪田忠兵衛松平河内守前田八郎左衛門等知行セリ

高札場小名後大谷ニアリ

小名

原大谷南ヘヨリタ 後大谷北ノ方ナリ

神社

兩輪宮除地三畝原大谷山林ノ内ニアリ龍谷寺ノ後ナリ社ハ三尺四方ノ宮作コテ

持寺

山王社除地十坪是モ原大谷ノ内ニアリ小社ナリ前ニ鳥居ヲツ同寺ノ持

春日社除地一畝五坪

子權現社除地五十坪是モ原大谷ノ丘上ニアリ同寺持

寺院

龍谷寺除地三畝曹洞宗ニテ龍山少林寺ノ末ナリ兩輪山ト號ス開山ハ小林寺第四世僧鑑庭盛悦ナリ本堂ハ七間ニ五間ニシテ南向ナリ本尊ハ釋迦立像長一

報恩寺境内十五坪外除地一段二十歩石川村ノ界谷地川ノ邊ニアリ新義具言宗宇津木村龍光寺門徒妙見山ト號ス開山ヲ周全法印ト云時代詳ナラス天正十九年水帳ニ寶恩寺トアリソレヨリ先ニ開ケシコト知ルヘ本尊不動ノ坐像長サ一尺五寸近キコロ回祿ニアヒテ本堂以下焼失セリソツカニ五間ニ三間ノ庫裡アリ

藥師堂三間ニ二間百姓地ニアリ本尊長一尺五寸ホトソノ餘十二神ノ像ヲ安置ス

石川村

石川村ハ谷地庄ニ屬セリ家數百二十軒野上ニ散住ス西ハ宇津木村ニ接シ北ヨリ東マテハ粟之洲村ノ堺ヨリ日野本郷ノ原野ニツラナレリ南ノ方モ同原野ヲ限トス東西三十町餘南北十町ホト原野多ク野林アリ畠ハ三分ニテ泥田ハ一分ナリ天水ヲ待テ耕ス水旱ノ患多シコ、モ御料ハ小野田三郎右衛門カ支配所ニシテ荻原頼母窪田忠兵衛前田八郎左衛門中川吉五郎等カ知行所ナリ江戸日本橋マテ十一里持添新田高倉野ニアリ是モ小野田三郎右衛門支配セリ

小名

高札場二ヶ所日向ニアリ

日向北ニ寄タル 官田村ノ中ハ 向ヒ谷地川ノ、藤ノ木村ノ方宇津木
田西津木村ノ 御嶽下北ノ山際

山川
谷地川 宇津木村ヨリ流レ來リ氷源ハ戸吹村ノ内谷地谷ト云所ヨリ出ルユヘコ
川ナリ村内ヘカハルコト十五六町
末ハ粟ノ洲村ニ入テ多磨川ヘ沃ク

板橋 三ヶ所アリ谷地川ニ架ス一ハ東寄一ハ中ホト一ハ宇
板橋津木村ニヨリテアリイツレモ長五六間幅四五尺アリ

産物
石川絲 四季トモコ女功トシテ八王子ノ市ニヒサシ細絲ノ上品ナリ
申柿

神社
御嶽社 御朱印ノ内社地百五十坪當村ノ鎮守ナリ社領七石ノ御朱印ヲ賜フ社ハ山
別當西蓮寺 境内五十坪御朱印ノ内社地ヨリ一町餘ヲ隔テ南ニアリ新義眞言宗宇
不動坐像長二尺餘客殿九間ニ六間 藥師堂 本堂ノ西ノ側ニシテ長一尺五寸ナリ
半門ハ客殿ノ下面ニテ南向ナリ

寺院

觀音堂 水田ノ間ニ三間
彌勒堂 北ノ山際ニ四間
地藏堂 小名藤ノ木ニ二間半
大日堂 西ノ方ニ五間
觀音堂 川ノ南向ニ五間ナリ

墳墓

古碑 谷地川ノ邊百姓兵左衛門カ宅ノカマヘコアリ彼カ家コテ年來家ノ下ニ物ナ
碑面ニ文正元丙戌年ト云六字ノヨリ讀ヘクシテ其餘ハ磨滅セリ

古蹟

牧蹟 今何レノ地ト云コト傳ヘス右馬式ニ當國石川牧ヨリ年々官馬二十四匹ヲ貢
ナル證アルコトハタシカ

宇津木村

宇津木村ハ谷地ノ庄ニ屬セリ江戸日本橋ヨリ十一里ノ行程ナリ家數五十二軒東ハ
石川粟ノ洲ノ二村ニ接シ南ハ大谷村ニ隣リ西ハ龍山尾崎村ニ接シ往還ヲ界トシテ

左入村ニ隣ル北ハ平村ニテ峰ヲ限トセリ東西二十町許南北十町程陸田多クシテ水田ハ十分ノ三ニ過ス土性ハ眞土ナリ又山林モアリ寛文九年近山與左衛門檢地ス今前田信濃守川村外記細井佐次衛門等カ知行ナリ

高札場 小名中村青木ノ

小名

中村 村ノ中 青木 東ノ方石川ノ界ナリ 久保山 コレモ東ノ方粟洲村ノ界ナリ 大室 川ヨリ南ナリ

山川

谷地川 西ノ方左入村ノ界ヨリ此村へ入ル

橋梁

橋 谷地川ニ架ス尾崎村往還ニ一ケ所大谷村往還ニ一ケ所アリイツレモ長五六間幅四五尺板橋ナリ

神社

埼玉權現社 除地二段四畝小名中村コアリ村ノ鎮守トス本社三尺四方覆屋一間半色ヲ加フ勤調ノ年代ハ傳ヘサレトモ神前ニ掛ル所ノ厨口ハ應永二年ノ銘アリ知ラル年々九月十九日湯立テ興行ス社前ニ鳥居アリ柱間七尺兩邊造ナリ龍光寺持若宮八幡宮 除地二十五坪小名大室コアリ龍光寺ノ持

姫宮 八幡宮 除地二十五坪小名青木コアリ相傳フ古此所ニ青木氏ノ八幡トシカ其其池ハ今モ百姓地面ノ内ニ存セリ小名青木ト號スルモソノ故ナリト云龍光寺持

第六天社 社地三坪小名久保山コアリ

神明宮 除地二坪小名同寺ナリ

寺院

龍光寺 除地千百坪新義真言宗山城國醍醐無量壽院末増寶山密嚴院ト號ス寺開二長二尺五寸坐像ナリ本堂十三間ニ九間未申ニ向ヘリ中門柱間八尺 鐘樓 六尺五寸鐘ノ徑二尺五寸銘文アリ

武州多磨郡宇津木村

增寶山龍光寺洪鐘一口

飲惟蒲牢者爲寺院之嚴故小僧數年離願微力而無餘財肆有妙林禪尼施小財有餘壽悅依之勸誘近里緇素而積功累德而今既成就誠功德無邊乎作銘曰
允梵鐘允韻有頂奈洛聞蘭若爲莊嚴猶寺界趣止愠

龍光寺住大阿闍梨法印智永

元祿九丙子歲十二月吉祥日

武州澗原住

大工 加藤市郎右衛門尉吉次

彌陀堂

三間四方 青龍權現社 境内ノ鎮守ナリ三尺四方 古碑一基 文和二年十一月廿

及蓮華等ヲ彫ル

休全寺

龍光寺ノ門徒ナリ青木山ト號ス近キ頃回祿ニアヒ本尊過去帳マテ悉ク鳥有トナリ剩ソノ時僧徒マテモ死セシト云其後イマタ再造コ及ハス

塚

一里塚 村南ノ堺ニシテ尾崎ヲウケシ地ニアリ永祿天正ノ頃ノ古街道ニ標セシ塚ナリトイヒ傳フコノ所八王子ヨリ南ノ方子安村里俗鎗打塚ト呼フ塚アリコレモ古ノ一里塚ナリトイフ又北ノ方ハ多磨川ヲ隔テ宮澤村ニ塚アリコレノ道ナヘテ村山所澤ヘ通セリトソコレイニシテハノ川越ノ遺ナリトイヘリ

粟之洲村

粟之洲村ハ郡ノ東ニテ江戸日本橋ヨリ行程十一里ナリ家數五十一軒東 日野本郷宿ニ隣リ南ハ石川村ニテ西ハ平村ナリ北ハ大神筑地宮澤ノ三村ニ隣リ多磨川ヲ界トセリ東西二十町ホト南北十五町ハカリ水田ハワツカニ四分ノ一ニシテ陸田其三ニアタレリ原野山林モアリ土性ハ眞土ナリコノ村小村ナレトモ戸數多ク耕商ノ利潤アリテ頗ルニキハヘリ古ヨリ御料私領ウナマシヨテ御料ハ今小野田三郎右衛門支配セリ私領ハ安藤次右衛門カ知行ナント賜ハリシ年代ヲシラス

高札場ニケ所 村ノ東西

小名

下河原 多磨川ヘヨリ 四ツ谷 南ヘヨリ

山川

谷地川 石川村ノ界ヨリ流レ來リ東ノ方四五町ハカリナカレテ多磨川ヘシ

多磨川 本郷ニ遠ス當村ニカハルコト凡八町餘

水利

日野本郷用水 村ノ用水村内ニ二條アリ其一ハ平村ヨリ多磨川ヲ引來ルモノ此村ヨリ二條トモ日野ヘカハルコトモ日野ヘカ

神社

山王宮 除地三十坪村ノ林丘ニアリ所ノ鎮守ナリ本社三尺五寸覆屋二間ニ二間半東向ナリ前ニ鳥居ヲ立又石階二十四級アリ勸請ノ年代ヲ傳ヘス

寺院

東福寺 除地四十二坪天台宗高槻村圓通寺ノ末寺ナリ如意山ト號ス開山開基詳ナラス本堂五間ニ四間半本尊彌陀ヲ安置ス坐像コシテ一尺アマリナリ

藥師堂 境内ニアリ三間ニ二間寺號ヲ以テ考ルコトモ古ノ本尊ナルヘシ

觀音堂 築地ノ渡ヘユク往還ノ傍ニアリ四間四面俗コトモ吹菩薩ト號スソノ來由ヲシラス十一面觀音也

古塚

七塚 觀音堂ノ傍ナル山林ノ中ニアリ同シ
形ノ塚七ツアリツノ由來ヲ傳ヘス

龍山村

龍山村ハ龍山郷谷地庄ニ属ス龍山ト云地名ハ此邊ノ總名ニテユトニフルキ唱ナル
ユヘ北條陸奥守カ當所ノ居城ヲモ龍山ノ城トイヒシナリ氏照居城ノ比ハコ、ノ村
名ヲハ八幡宿トイヒントソ然ルニ氏照居城ヲ慈根寺ヘウツセシトキヨリ八幡宿ヲ
モカノ地ヘウツセシニヨリ其後イツトナク總名龍山ヲモテ村名トセシトイヘリ家
數スヘテ二十四軒村ノ四境ハ飛地多キヲ以モツトモワカチカダシ其大低ハ東ノ方
八日市村ニ隣リ南ハ梅坪村ニテ西ハ丹木村ナリ北ハ多磨川ヲ限トヌ東西四町ホト
南北五町許村ノ地半ハ山林ニテ田畑ハ各四分ノ一ニ過ス當所ハ上杉家ノ家老大石
源左衛門定久カ家ニテ先祖ヨリ領セシヲ後ニ北條氏康カ次男氏照ヲ養子トシテ讓
リアタヘケリ天正十八年氏照滅亡ノ後御入國アリテ遙ノ後川村某ニ賜ハリ今ソノ
子孫富五郎知行セリ

小名

龍山郷 或ハ八幡宿ト呼フコ
尾崎村 飛地ナリ家數十軒アリ其地ハ本村ヨリ
六七町隔テ東ノ方梅坪左入ノ二村ヲコヘ

テ山ノ尾崎アリ故ニ此名アリ南北ハ五町程東西三町ホトナリ水田少クシテ陸
田多ク山林ハ少シ南ノ方ハ中野村ヲ西ハ日光道中ノ往還ニ限リ北ハ宇津木
村ニテ北ヨリ東ヘ 星谷 谷野村ト梅坪村ノ間ニアリコ
ハ大谷コトナレリ 丹木村飛地別ニ小名
二軒アリ

寺院

少林寺 境内三萬九千九百坪餘古城ノツハキコアリ曹洞宗下村田村高乘寺末金龍
少林寺ト號ス寺額二十五石ノ御朱印ヲ賜フ開基北條陸奥守氏照天正十八年七
月十一日卒騰嫩桂殿和尙ヲ開山トシテ弘治元年ノ
秋起立ストイフ今モ開山記ト云モノアリ其畧ニ云

享祿三年八月望而産於相州小田原城藤氏某甲家焉於總世氏朝
度時天文九年四月佛誕日也聖山祝和尙爲弟子弘治元年到武州
龍山之城太守氏照平公探勝地於居城東南之隅稱龍池有池其傍
設草庵而居焉名號少室而后亦改造建立於梵宇號曰金龍山少林
寺殊裁用靈松爲山門之境今猶存諺稱北條七千株之松云云慶長
十四己酉年正月廿日遷化世壽七十歲也

コノ開山記ハ寶永年中回祿ノトキ灰塵中ニアリテ僅ニ存セシ古書ヲアツメテ先
住ノ録ヲ置シモノナリシニヒニ和尙ノ父ナル人ノ假名モ傳ヘヌタ、寺僧ノ口碑
ニ傳ヘタル所コトナレハ和尙 山門迹 寶永年中マテハ山門アリシカ回祿ニアヒテ
ハ氏照乳母ノ子ナリト云フ 後再建ニ及ハヌ大門前杉並木アリ長百二十
餘間 本堂カ回祿ノ後ハ再造ニ及ハヌ本尊釋迦作レレスト 鐘樓 コレモ寶永年
中燒失シテ今

ハタ、鐘ノミ存セリ鐘徑二尺五寸 禪堂五間ニ 衆寮七間ニ 開山堂迹コレモ
 元祿四年ニ鑄造セシ由ヲ刻セリ 秋葉社多磨川境ノ山上ニアリ境内 龍池境内西ノ山際ニ
 中ニ燒亡ス開山ノ事 實ハ巳ニ前ニ辨セリ 子權現社境内西ノ山上ニアリ社地十坪ハ 寺寶 水晶念珠
 ノ池ノ傍ニ本堂チ ツクリトイフ 一聯 天正十八年陸奥 金襴袈裟一 下ノ三品並ニ寄附セリ 茶碗 唐物 茶臼一
 鞍轡共一具 永ノ回祿ニ鳥有トナリ今存スルモノハ織コソノ災チマヌカレンシモノ
 云ト

平村

此村ハ土俗ニ山ノ根ノ平村ト唱フコレハ郡中南ノ方ニモ同地名アルユヘ其稱ヲ別
 シカ爲メナリソノ地ハ郡ノ東方ニアリ江戸日本橋ヨリ十里餘ノ行程チヘタテリ家
 數十五軒東ヨリ南ハ粟之洲石川ノ二村ニ接シ南ヨリ西ハ宇津木八日市横山ノ三村
 ナリスヘテ西ヨリ東ハ山林ニテ峰チ界トセリ西北ハ昨日大神ノ二村ニ隣リ多磨川
 チ界トス北ヨリ東ハ宮澤村ニテコレモ多磨川チ限トセリ東西四百十間餘南北ハ二
 百間餘或ハ百間餘ノ所モアリ村東ヨリ西ヘカケテハスヘテ山林ニシテ龍山ノ古城
 跡ヘツ、ケリ人家ノメクリニ睦田アリ水田ハ陸田ヨリ少クシテ多磨川ノ邊ニアリ
 當村ノ舊家七郎兵衛カ先祖天正十八年東照官ノ御案内ツカマツリシニヨリ村内永

ク年貢諸役チ除カレンシカト子孫ニ至リテ冥加チ思ヒ貢稅ハカリハ奉ルヘキヨシ願
 ニヨリテミツキチ收メラレシトソ正保年中ハ設樂權兵衛カ御代官所ナリシカ度々
 遷替アリテ後安永七年飯塚伊兵衛支配所ナリシトキ前田信濃守ヘ賜ハリ今ニソノ
 子孫信濃守長榮カ知行所ナリ

新田畑天明六年ヨリ明ル七年マテ村内ノ芝地チ開墾シテ凡三町餘ノ地チ新田トナ
 シ寛永五年ヨリ貢稅チ出ストナリシトイヘリ

高札場

小名

- 峰 宇津木村ノ 西玉 今淵ノ名 歳ノ峰坂 村ノ中 割滑 岡チヒキ 穴澤 村ノ東
- 澤口 居村ヘ入 井戸窪 居村ノ 官ノ前 日光大權現

山川

多磨川 村西ヨリ北東ノ

渡津

古渡 多磨川ニアリ昔北條氏照カ領セシ此ハコノ所小田原ヨリ川越ヘノ往還ニカ
 チ以テ考フル 左モ有ヘシ

水利

日野本郷堀ノ内ヨリ多磨川ノ水ヲ引ク堀幅二間半コ
堀堀幅一間コレハ當村新田ノ名主七郎兵衛カイトナ
水車居村ヨリ三町許隔テ東ノ方ノ河原ヨリ三間ノ屋作ニ
産物

結村内諸役ナキニヨリ御用ヲ勤メサレトモ昔ヨリアマタヒ川ヨソヒタル田地
リ運上トシテ永樂錢ヲ奉レリ
耕作ノ暇漁獵ヲ産業トセリ其利ニヨリタル田地

神社

西玉權現日光大權現社 社地五十坪村ノ中央ナル山ノ半腹ノトアリ村ノ鎮守トス昔
今モ大ナル淵コヲ長サ三十間許幅十間ホトカケ入タリコノ所テ呼テ西玉淵トイ
ヘリ社ハ三尺四方ニシテ上屋葺ナリ大サ一間ニ九尺鎮座ノ年テ詳テ西玉淵トイ
權現ノ祭神ハ大己貴命コヲ祭禮ハ年々九月十五日コナリ日光大權現ハ金錢ヲ昔東照體
トス祭禮ハ年々四月十七日神樂ヲ廣前ニ奏セリ抑コノ神體トスル金錢ハ昔東照體
宮此地ヲ御巡行ノ時名主七郎兵衛カ先祖地理ヲ嚮導シ奉リ功ケルト賜ハリ
ケル御恩澤ヲ慕ヒ奉リコレヲアカマツリテ東照宮ヲ遙拜シ奉リケルト賜ハリ
元和八年東照宮御七年ノ御祭祀ノトキナリ其時ノ棟札
アリナテ下文舊家ノ條ト并セ見ルヘ村内大藏院持

棟札

聖立天中天 遷宮導師 增寶山龍光寺現住
加陵頻伽聲 權大僧都法印秀觀

奉建立日光大權現賜寶宮殿一字勸請所

哀愍衆生者

我等今敬禮

武州山之根平村願主

小野八郎左衛門殿其現
系子 小野傳太郎源義原

于時元和八年壬戌四月十七日當

東照宮七回忌奉遷官奉祈旨趣者

德川御正統御代々御武運長久

御治世萬萬歲奉祝者予家子孫繁昌而永

御恩德奉仰者也

寺院

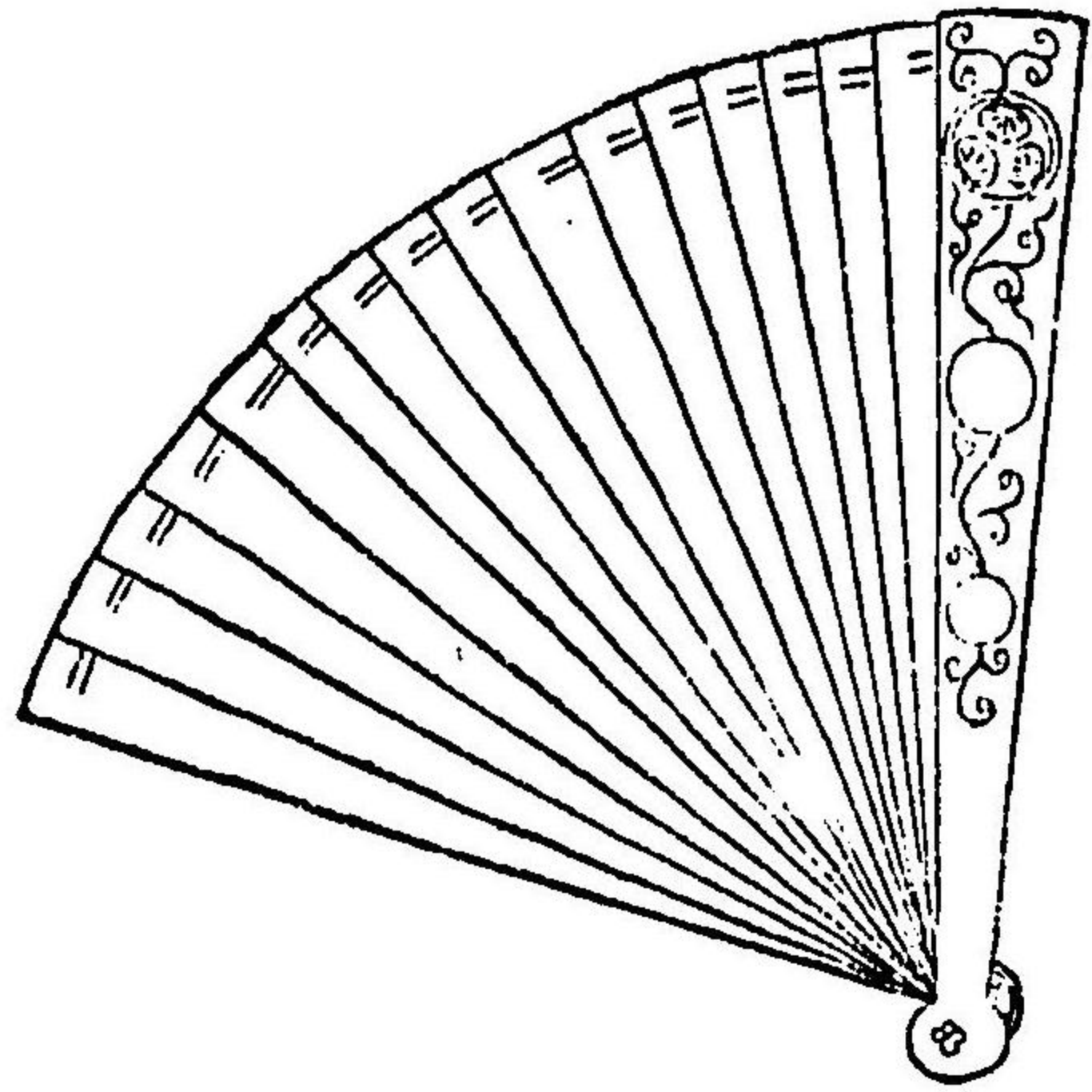
大藏院 除地凡三段内境内十五坪西玉神社ノ山ノ麓ニ開山榮秀元和新義眞旨宗字津木村
コノ法印ハ昔ノ名主小野大藏カ三男コノ假名ヲ以テ大五郎賀之ト云リ後ニ父カ菩提
ノタメ難變シテ當寺ヲ開關セリ則父ノ假名ヲ以テ大五郎賀之ト云リ後ニ父カ菩提
テ三年月七日寂ス本堂ハ西向ニ 古碑三基六日トアリ一基ハ八月日康永二年六月廿
テ五年間ニ七間本尊交殊ヲ安ス

三町十界合識トアリ孰レモ上
 ノ方ニ遊座ニ梵字ヲ鑄レリ
 大日堂村ノ東ノ方ニアリ岩城氏ノ人ノ建立トノミイヒ傳ヘテツノ年代等ヲ失ヘ
 リ昔ハ才藏坊トイヘル坊ノ持ナ
 リシカ今ハ大藏院ノ持トナレリ

舊家

名主七郎兵衛上野國勢田郡田部井ノ野氏ナリ

田部系一軸ヲ繼ス是ヲ聞スルニ遠祖ハ
 甲斐國八代郡小野坂郷小野亮ト號ス明應四
 年北條氏茂之屬シ豆州日向郷ニ於テ五
 百貫ノ地ヲ宛行ハレ武相兩州ノ間ニテ
 數度合戦ス永正十一年三月十一日鎌倉
 ニテ討死ス法名泰岳其安ト諡ス即鎌倉
 壽福寺ニ葬リ今尙石碑アリト云其子孫
 相ツカシテ北條家ニ歴仕シト三世傳太郎
 真道カ時ヨリ北條所ニ居住シ氏照カ目代
 ナセシコ天正十八年六月廿三日八王
 子城攻メ時カノ城下ニ討死ス法名道光
 ト諡セリ同ノ子傳太郎其現後八郎左衛
 門ト改名ス同年秋關東御打入所々御巡
 覽八王子城趾上覽後川越へ御通行之御節
 多磨川瀬踏ノ間傳太郎宅へ御小休アテ
 セラレ家系ナト御尋アツテ後多磨川御
 渡船コノ邊橋導シ奉リソノ節金鏡及ヒ一
 テ供奉ナセシコ御暇ノ節金鏡及ヒ一
 不入ノ旨奉書ヲ賜ハリ廿七日夜失火ノ災
 時寛永十二年十二月廿七日夜失火ノ災



ノカハリテ奉書ヲ始メ持傳ヘシ武器感狀等ノ類悉ク烏有セシマ、同十三年上地
 主ノ役ヲ願ヒ奉リ百姓收納ニ命セラレ諸役免許セラレテ是ヨリ民間ニ下リ世々名
 實ノ文字裏ニ十福ノ二字アリ即今日光ノ大權現ト崇メ奉レルモノ是ナリ又槍一
 本アリコレモ東照宮ヨリ賜リ今日御紋大サ上ノ方徑一寸一分中同一寸下同九分
 尺二寸上ノ幅一寸二分餘下同一寸御紋大サ上ノ方徑一寸一分中同一寸下同九分
 御紋地白木ノ皮上繪白絹糸ナリ唐草一尺三寸五分
 數二十五枚白縷糸ニテ繫ケリヨリ一尺三寸五分

八日市村

八日市村ハ谷地庄ニテ郷名ヲ傳ヘス古ハ當村及ヒ横山村ヲ通シテ谷地村ト呼ヒ其
 中當村ヲハ上谷地村ト云ヒ横山村ヲハ下谷地村ト呼ヒソ今按ニ正保年中ノ地
 圖及ヒソノ頃ノ郷帳ニハ谷地村トノミシルシテ上下ノ二村ニ分タス元祿十五年改
 定ノ圖ニハ谷地村或ハ横山村共云トアリテ其並ヒニ谷地村ノ枝郷永宿村ト云テシ
 ルセリ然レハ土人古ヘ上下谷地ノ二村ナリシト傳フルハ其年代ハシルヘカワサレ
 ト元祿ノ頃横山ト唱ヘシ方上谷地ニテ永宿ト云モノ下谷地ナルコト論ナカルヘシ
 モシ然ラハ當村古ハ谷地村ト云元祿ノ比ハ永宿村ト唱ヘシテ後又今ノ如ク改メシ
 トミエタリ其地ハ江戸日本橋ヨリ行程十一里ニアマレリ村ノ四境東ハ佐入村ニ交
 リ南ハ谷地川ヲヘタテ、梅坪村ニ及ヒ西ハ丹木村ナリ北ハ作目村ノ峰通りニ界ヘ
 リ東西八町アマリ南北四町餘民家スヘテ五十四軒又當村ノ飛地ニケ所アリ一ハ宇

津木村ノ内ニアリ一ハ丹木村ノ内ニアリ丹木ニハ民家二軒宇津木ノ方ニハ十五戸散住セリ村ノ地形北ハ龍山古城蹟ニツ、キタル山ニテ民家ハ山キハニ聚リ住セリ南西ハ田園ウナツ、ケリ水田少ク陸田多シ又山林モアリアソノ中地頭林ハ日光道ノ左右ニアリコノ外丹木村金藏寺ノ西ノ方ニモ松ノ林アリ檢地ハ寛文中ニアリシテ始トシテ其後元祿五年大久保勘太夫改メント云ヘリ當村御入國ノ後ハ御料所ナリシヤ今ハ波多野奎之助カ知ル所ナリ其賜ハリタル年代ハ傳ヘス

小名

高札場三ヶ所山一ハ村ノ東ノ方ニアリ一ハ横山ニアリ

山川

横山 東ノ方 峰 是ハ宇津木村ノ内ニアリ本村ヨリ五六町許モ隔タレリ

神社

谷地川 西ノ方丹木瀧山ニ村ヨリ流レ來リ村内ヲ經ルコト三町許ニテ佐入村ニ達ス

神明社 除地五十五間圍リ村ノ北方ナル山キハニアリ小祠ナリ村民ノモテ

舊蹟

半頭天王社 除地百二十坪小名横山ノ北山キハニアリ西向ノ小祠ナリ村民ノ持

左入村

中山勘解由左衛門屋舖跡ノ小名中山谷戸ト云所ニアリコレハ當村ト少林寺ニ同シ元祿十五年ノ地圖ヲ見ルニ左入村古ハ龍山村トモ云ト肥セリ然レハ昔ハ當村マテヲ通シテ龍山村ト稱セシナルヘシ村ノ四境東ハ宇津木村ニ堺ヒ日光道ヲ限トス北モ八日市村作目村トニトナリ峰ニ界アリ東西二町餘南北十八町許水田ハ十分ノ二ニシテシカモ天水場ナリ陸田ハ八分ニ居レリ又山林モアリ西山兵橋カ知行スル所ナリ

高札場 村ノ中央

小名

馬場谷戸 西ノ方中野村ノ界コアル谷合ナリコハモ民家七軒有 中丸 南ノ方ナリ民家六軒アリ

山川

谷地川 西ノ方八日市村ヨリ入村内ヲ流ルハコト一町餘コシテ東ノ方宇津木村ニ入

神社

山神社 社地百五十坪北ノ方山中ニアリ小祠コシテ南ニ向フ村持

寮

藥師堂 四間ニ二間半山神祠ノ傍ニアリ藥師ハ銅像長一尺五寸ホト村持因云此
破却セラレタリコノ藥師堂モモトハ其境内ニカ何ノ比カ住僧邪法ヲ修セシヨリ
廢セシメテ今ハ寮トナリワツカコ地頭免除ノ地ヲ附シテ材持ト成ナリ

舊蹟

西山十右衛門屋敷跡 宇津木村ノ界日光街道ノ傍ニアリ今其迹ソツカニ空地アリ
マハラサルトキコ
ハニ居住セシト云

中野村

中野村ハ郡ノ巽ニアリ郷庄ノ唱ナシ江戸日本橋ヨリ行程十里餘村ノ四境東ハ大和
田村ニテ南ハ淺川ニ限リ其向ヒハ元横山本郷ノ二村ニ接シ西ハ檜原村北ハ谷野左
入ノ二村ニ界ヒ良ノ方ニ大谷村スコシカ、レリ東西二十五町南北九町アマリ村内
平衍ニシテ北ノ方ナル村界ニ少ク山アリ土性ハ眞土野土相半シ陸田水田等分ナリ
民家八十六軒村内ニ散住ス村内ニ一條ノ道アリ八王子ヨリ日光ヘノ街道ナリ路幅
二間許又古街道一條アリ南ヨリ北ヘ達ス古ノ日光街道ナリトイヘリ今ハワツカニ
農夫耕種ノ便トナレリ里人コレヲ道者街道ト呼ヘリ土地ニ宜シキハ栗榎桑ナト多
クアリ又淺川ヨリハ鮎鯉ヲ出ス檢地ハ寶文七年福村長右衛門ニシテ其後私領所ト
ナレリ今大澤修理大夫基休知行所ナリ

高札場 村ノ中程

小名

上中野 村ノ西 清水 同シツハ 下中野 村ノ中央ナリ或ハ根
安土 村ノ東 原中野 村ノ良ノ 中島 同上ニ 山王社 コレモ中

山川

系原山 村ノ西ノ方ニアリ長四五町許幅一町登リ一町ホトノ山ナリ山上ニ松樹及
其跡ヲ
詳ニセス

淺川 村ノ南邊ヲ流ル川幅十間許水源ハ上恩方村ノ谷々ヨリ湧
出テ數村ヲヘテ當村ニ入り東ノカタ大和田村ニタツセリ

川口川 村ノ乾ノ方檜原村ノ方ヨリ來リ屈曲シ
テ流レ末ハ淺川ニ合ス川幅四間許ナリ

水利

用水 川口川ニ堰八九ヶ所ヲ設ケ
テ村内水田ノ用水トセリ

清水 村ノ中央子安明神ノ社地ヨリ湧出
ス流末ハ村ノ内ノ水田ニツケリ

菴ノ池 村ノ東ノ方小名安土ノ丘上ニアリ文字ヲ或ハ名綱トモ書リ語リ傳ヘヨ昔
リテ織ニ池ノ形ノ殘レリ是ヨリ湧出
スル水サモ水田ノ用水ニツケルナリ

橋梁

橋三ヶ所一ハ村ノ東南ノ方ニテ日光道ノ橋ナリ一ハ是モ日光道ノ内ニアリ一ハ川ニアリ毎年十月ヨリ明ル三月マテ往來タ便セリ

原野

兜原村ノ良ノ方ニテアリ土人云天正年中八王子城賣ノ時前田利家カ軍兵

神社

子安明神社見捨地凡二百坪許村ノ東方ニアリ本社ニ覆屋アリ二間半四方拜殿三鳥居アリ社ハ丘上ナレハ石階三十二級ナリ
例祭年々九月廿九日喜福寺ノ持村ノ鎮守ナリ
藏權現社見捨地凡二百坪許村ノ東方ニアリ社ニテ南向ナリ祭神詳ナラス
名綱三郎某ナル者住セリ地ナリト云アリ薺字ヲアリ小社ニテ南向ナリ祭神詳ナラス
和二年七月日ト彫テアリ

神明社見捨地凡五百坪許村ノ東方伊勢森ト云所
山王社見捨地凡五百坪許村ノ東方喜福寺ト云所
熊野社見捨地凡五百坪許村ノ東方喜福寺ト云所
小室權現社見捨地凡七坪許村ノ東方喜福寺ト云所

寺院

天満宮見捨地凡百坪許村ノ鎮守ナリ東ノ邊ニアリ本社ニ覆屋アリ南向
神明社々々九月廿九日社地杉樹多シ是モ村ノ鎮守ナリ
末社 四字 右ニアリ

喜福寺慶永元年寂セリト月日ハ傳ヘス慶安年中御朱印ヲ附セラレ寺領八石
不動ノ坐像長一尺八寸ナルヲ安置ス
鐘樓客殿ノ左ニ事寶永五年ニ鑄タル鐘ニテ銘 觀音堂 客殿ノ長ノ方ニテ立像長一尺一寸ナルヲ安置ス
早慈ニモ水洞ノ病ナルモハ登ルコトハ以テ洗ハハ頓ニ愈ルトイフナル
羅堂鳥居アリ此堂ハ近キコトマテ民登リテ山ノ頂ニアリ小堂ニテ南向ナリ前ニ
了頼庵見捨地凡百五十坪許上中野村ノ北方ニテ坐像長三尺アマリ起立ノ年
代ハ詳ナラス

厭求菴見捨地凡六十坪許村ノ中程小名原中野ニテ坐像長一尺五寸許千人組同心山田緒下ノ菴
カ先祖内藏助義長ノ起立スルニ
休西菴村ノ中央ヨリ東ノ方ニテ坐像長二寸許
ノ坐像長一尺三寸許土人
藥師堂萬ノ堂ナリ藥師ハ木

105
20

新編武藏風土記稿卷之一百六終

新編武藏風土記稿卷之一百六終

